取扱説明書

（ファクス / インターネットFAX 編）

フルカラーデジタル複合機

品番 DP-C262/C262F
DP-C322/C322F

WORKIO™

このたびは、パナソニック フルカラーデジタル複合機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■特に『取扱説明書（基本編）』の「安全上のご注意」は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、大切に保管し、必要なときにお読みください。

● イラストはオプションを装着した例です。
詳しくは、『取扱説明書（基本編）』を参照してください。

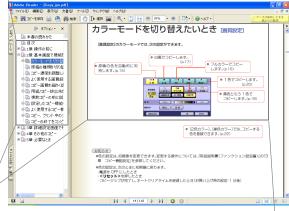
上手に使って上手に節電

本書の読みかた

ここでは、PDF のしおりの使いかた、参照ページの表示方法、本書の表記について説明します。

❑ しおりの使いかた

[+]をクリックすると、下の階層が表示されます。

タイトルをクリックすると、該当するページが表示されます。

❑ 参照ページの表示方法

ページ番号をクリックすると、該当するページが表示されます。

（上記画面の内容は、実際の取扱説明書と異なる場合があります。）

❑ 本書の表記について

● 本書では、本機の操作パネルの各キー、タッチパネルディスプレイ上のボタン、コンピューター画面上のボタンなどについて、下記のように表記しています。

< >	操作パネルの各キー（例：スタートキー→**<スタート>**）
[　]	タッチパネルディスプレイ上の各ボタン、コンピューター画面上のボタンなど（例：基本ボタン→[基本]）

● 本機のタッチパネルディスプレイ上のカタカナ文字は、半角と全角が一部混在していますが、本書では、説明文はすべて全角に統一して表記しています。

目次

1 章 操作の前に

2 章 ファクスの基本操作

3章 便利なファクス機能

4章 受信について

5 章 インターネット FAX を使う

6 章 通信予約ファイルを操作する

7 章 データを登録する

8 章 レポート / リストについて

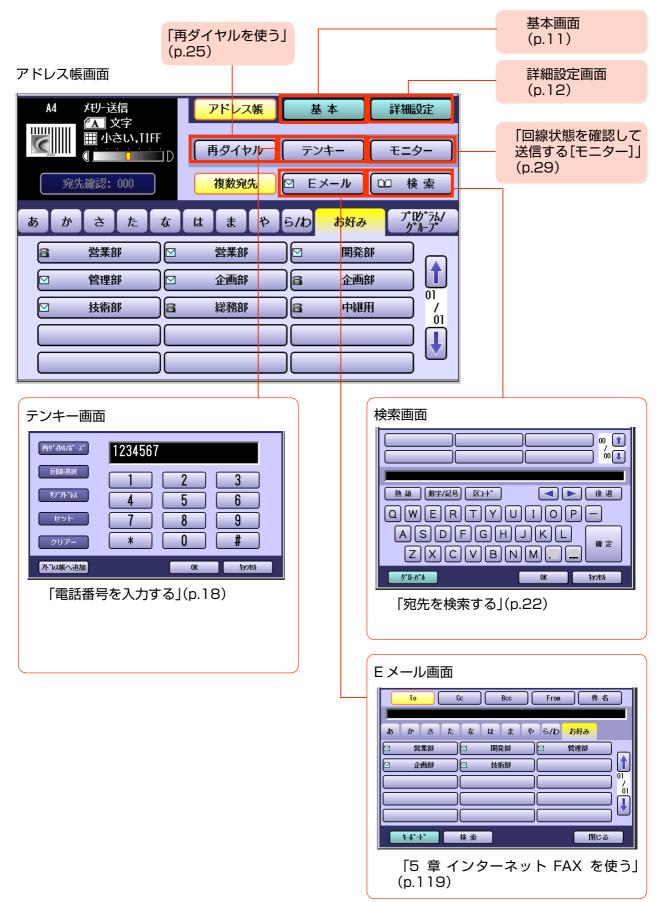
9 章 トラブルの対処方法

10章 付録

1 章
操作の前に

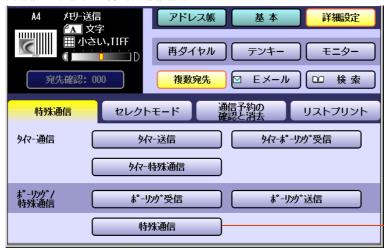
この章では、ファクス機能 / インターネットFAX機能のメニューマップ、および使用上のお願いを記載しています。

メニューマップ

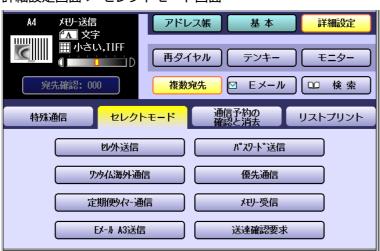
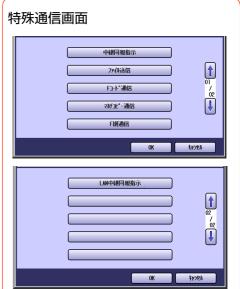
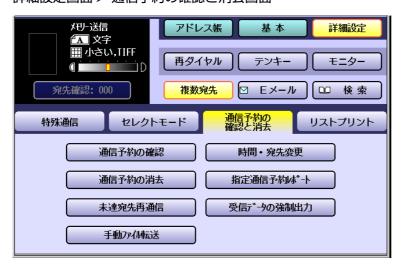
ファクス機能の画面に表示されるメニューと、本書の参照先は次のとおりです。

基本画面

- 画質設定 (p.31)
- ファイルタイプ / ファイル名 (p.150)
- 原稿サイズ (p.34)
- 両面原稿 (p.36)
- 済スタンプ (p.38)
- メモリー送信 (p.40)
- ダイレクト送信 (p.42)
- 発信元印字 (p.45)
- 通信状況 (p.46)
- 終了通知 (p.157)
- E メール受信 (p.158)

<次ページへ続く>

詳細設定画面 > 特殊通信画面

- タイマー通信　タイマー送信 (p.58)
  - タイマーポーリング受信 (p.60)
  - タイマー特殊通信 (p.62)
- ポーリング / 特殊通信　ポーリング受信 (p.64)
  - ポーリング送信 (p.66)
  - 特殊通信　中継同報指示 (p.68)
    - ファイル送信 (p.72)
    - F コード通信 (p.78)
    - マルチコピー通信 (p.82)
    - F 網通信 (p.84)
    - LAN 中継同報指示 (p.164)

特殊通信画面

詳細設定画面 > セレクトモード画面

- セレクト送信 (p.85)
- パスワード送信 (p.87)
- ワンタイム海外通信 (p.91)
- 優先通信 (p.92)
- 定期便タイマー通信 (p.94)
- メモリー受信 (p.114)
- E メール A3 送信 (p.152)
- 送達確認要求 (p.154)

詳細設定画面 > 通信予約の確認と消去画面

- 通信予約の確認 (p.186)
- 時間･宛先変更 (p.188)
- 通信予約の消去 (p.190)
- 指定通信予約レポート (p.192)
- 未達宛先再通信 (p.194)
- 受信データの強制出力 (p.196)
- 手動ファイル転送 (p.197)

詳細設定画面 > リストプリント画面

- 通信管理レポート (p.244)
- アドレス帳リスト (p.254)
- グループダイヤルリスト (p.256)
- プログラムリスト (p.258)
- システム登録リスト (p.260)
- 自局情報リスト (p.262)

使用上のお願い

■回線 /LAN ケーブルなどの接続と設定

本機でファクスやインターネット FAX の送信／受信をするためには、電話回線や LAN ケーブルなどが接続され、必要な項目がファンクション設定で正しく設定されている必要があります。

『取扱説明書（セットアップ編）』を参照して、電話回線や LAN ケーブルを接続し、通信に必要な項目を設定してください。

お願い

ファンクション設定の項目が正しく設定されていない場合は、正常に通信できません。ご使用の環境に合わせ、正しく設定してください。

■使用上のお願い

キャッチホンサービスをご契約になっている場合

- ファクスの送信中／受信中に、他の方から着信すると、ファクス受信画像に線が入ったり、通信が中断することがあります。
  これは、ノイズによる影響で、キャッチホンや機器の異常ではありませんので、ご了承願います。
- キャッチホンサービスをご利用の場合、割り込み音の回数を 0 回に設定しておくと、ファクス通信中にキャッチホンが入っても異常なく通信できます。設定については、NTT にお問い合わせください。

各サービスについて

- 発信者番号通知、ダイヤルインサービスは、あらかじめ NTT との契約が必要です。
  これらのサービスの詳細については、NTT にお問い合わせください。
- NCC 回線をご利用の場合、NCC 各社でサービスの内容が異なります。発信者番号通知、ダイヤルインサービスの詳細ついては、ご契約の NCC にお問い合わせください。

■その他

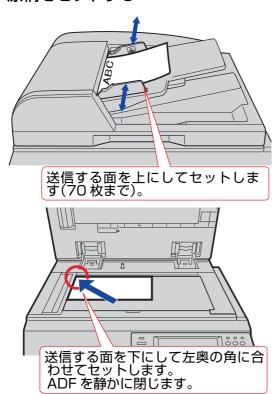
- この説明書では、従来の一般加入回線での G3 通信、および LAN システムを使ったインターネット FAX の各機能について説明しています。
- ネットワークと接続し、インターネット機能を使うためには、ソフトウェア、および LAN 伝送路用品が別途必要です。

2章
ファクスの基本操作

この章では、基本的なファクス送信の操作について説明しています。

ファクス送信の流れ

ファクス送信をするときの基本的な操作の流れは、次のとおりです。

1. 原稿をセットする

- 詳しくは、『取扱説明書(基本編)』の「原稿セットのしかた(ファクス / インターネット FAX のとき)」を参照してください。
- メモリー残量が少ない場合は、メモリー送信できない場合があります。このような場合も、ダイレクト送信を使うと送信できます。「メモリーに蓄積せずに送信する[ダイレクト送信]」(p.42)を参照してください。

2. <ファクス>を押す

基本画面の設定をする場合は、[基本]を押して設定する

メモリー使用量

- 「画質を設定する[画質設定]」(p.31)
- 「原稿サイズを設定する[原稿サイズ]」(p.34)
- 「両面原稿を送信する[両面原稿]」(p.36)
- 「済スタンプを解除する[済スタンプ]」(p.38)
- 「メモリーに蓄積して送信する[メモリー送信]」(p.40)
- 「メモリーに蓄積せずに送信する[ダイレクト送信]」(p.42)
- 「通信を中止する」(p.44)
- 「通信状況を確認する[通信状況]」(p.46)

3. 宛先を設定する

❑ テンキーで相手の電話番号を入力する

❑ アドレス帳を使う

- 詳しくは、「宛先を指定する」(p.18)を参照してください。

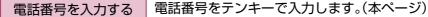
4. <スタート>を押す

原稿の読み取りが開始され、受付番号と共にメモリーに蓄積されます。
読み取りが完了すると、ファクス送信が開始されます。

お知らせ

- 送信を中止したいときは、「通信を中止する」(p.44)を参照してください。
- 原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、セットした原稿が最終原稿かどうかを確認する画面が表示されます。画面のメッセージに従って操作してください。
- 相手先が話し中などで送信できなかった場合は、通信結果レポートが排出されます。詳しくは、「通信結果レポート」(p.250)を参照してください。

宛先を指定する

宛先の設定には、次の方法があります。

- **電話番号を入力する**　電話番号をテンキーで入力します。（本ページ）
- **アドレス帳を使う**　あらかじめ登録しておいたアドレス帳を使います。（p.20）
  - アドレス帳の検索タブを使う
  - [お好み]から探す
  - グループダイヤルを使う
- **宛先を検索する**　アドレス帳または LDAP サーバーから検索します。（p.22）
  - アドレス帳から検索する (ローカル検索)
  - LDAP サーバーを使って検索する (LDAP 検索)
- **再ダイヤルを使う**　最後にダイヤルした電話番号に、再度ダイヤルします。（p.25）

■電話番号を入力する

テンキーで電話番号を入力する場合は、次の手順で操作します。

1. 原稿をセットする

- 詳しくは、『取扱説明書（基本編）』の「原稿セットのしかた（ファクス / インターネット FAX のとき）」を参照してください。

2. <ファクス>を押す

3. 操作パネルのテンキーで電話番号を入力する

自動的に、テンキー画面 が表示されます。

- 電話番号は、52 桁まで入力できます。
- 誤って入力した場合は、画面内の[クリアー]、または操作パネルの**<クリアー>**、を押すと、1 文字ずつ削除できます。
- 電話番号は、テンキー画面、操作パネルのテンキー、どちらからでも入力できます。
- 複数の宛先を設定する場合は、電話番号を入力して、[セット]を押します。
  最後の電話番号を入力したら、[OK]を押します。
  （このとき、[セット]は押さないでください。）
- [宛先確認：＃＃＃]を押すと、設定した宛先を確認できます。「宛先を確認する」（p.148）を参照してください。
- テンキー画面は、タッチパネルディスプレイの[テンキー]を押して表示することもできます。

❑ テンキー画面

再ﾀﾞｲﾔﾙ/ﾎﾟｰｽﾞ	1 回押すたびに、ポーズ(ダイヤル間隔)を入力できます。画面には－が表示されます。
回線選択	オプションの G3 増設ユニット(DA-FG322)、または G4 通信ユニット(DA-FG323)を装着している場合に使います。 送信する回線を選択します。
ｻﾌﾞｱﾄﾞﾚｽ	オプションの G4 通信ユニット(DA-FG323)を装着している場合に使います。 サブアドレスを入力するときに押します。画面には S が表示されます。
セット	複数の宛先を設定したいときに押します。 ● 1 か所だけに送信する場合は、[セット]を押さないでください。
クリアー	入力した電話番号を 1 文字ずつ削除するときに押します。
[アドレス帳へ追加]	ここで入力した電話番号をアドレス帳に追加できます。[編集]を押し、アドレス帳の登録手順に従って登録してください。 アドレス帳の登録については、「アドレス帳に電話番号を登録する」(p.203)を参照してください。 ● [アドレス帳へ追加]を押して宛先を登録する場合、[お好み] には登録できません。

❑ [再ダイヤル / ポーズ]を使う

内線電話をお使いの場合は、外部発信番号を入力したあとに、[ポーズ]を押してから、相手の電話番号を入力します。

(例) 0 のあとに[再ダイヤル / ポーズ]を押して電話番号を入力した場合

❑ [＊]を使う

パルスダイヤル回線をお使いの場合は、[＊]を押すと、パルス信号をトーン信号に切り替えることができます。画面には、／が表示されます。

(例) 0 のあとに[＊]を押してトーンに切り替えた場合

❑ [＃]を使う

[＃]は、ファクス情報サービスを使う場合などに押します。

❑ [サブアドレス]を使う

このボタンは、オプションの G4 通信ユニット(DA-FG323)を装着している場合に使います。

電話番号を入力し、[回線選択]を押して[G4]を選択してから[サブアドレス]を押します。
画面にはSが表示され、それ以降の文字がサブアドレスとして扱われます。
詳しくは、「サブアドレスを設定する」(p.283)を参照してください。

(例)4のあとに[サブアドレス]を押し、サブアドレス 1234 を入力した場合

5551234S1234

4. <スタート>を押す

● 原稿の読み取りが開始され、受付番号と共にメモリーに蓄積されます。
読み取りが完了すると、ファクス送信が開始されます。

■アドレス帳を使う

❏ アドレス帳の検索タブを使う

アドレス帳の検索タブ([あ]～[ら/わ])を使って宛先を検索できます。

- アドレス帳は、あらかじめ登録が必要です。「アドレス帳に電話番号を登録する」(p.203)を参照してください。

1. **原稿をセットする**

- 詳しくは、『取扱説明書(基本編)』の「原稿セットのしかた(ファクス / インターネット FAX のとき)」を参照してください。

2. **<ファクス>を押す**

3. **検索タブ([あ]～[ら / わ])を選択する**

4. **送信したい宛先のボタンを押す**

- もう一度ボタンを押すと、選択を解除できます。
- 複数の宛先を設定する場合は、手順3～4の操作を繰り返します。
- [宛先確認: # # #]を押すと、設定した宛先を確認できます。「宛先を確認する」(p.148)を参照してください。

5. **<スタート>を押す**

- 原稿の読み取りが開始され、受付番号と共にメモリーに蓄積されます。
  読み取りが完了すると、ファクス送信が開始されます。

❏ [お好み]から探す

アドレス帳の[お好み]タブで宛先を設定できます。

- [お好み]タブには、アドレス帳登録時に[お好み]タブへの表示を設定した宛先だけが表示されます。
- アドレス帳は、あらかじめ登録が必要です。「アドレス帳に電話番号を登録する」(p.203)を参照してください。

1. **原稿をセットする**

- 詳しくは、『取扱説明書(基本編)』の「原稿セットのしかた(ファクス / インターネット FAX のとき)」を参照してください。

2. **<ファクス>を押す**

3. **お好み画面が表示されていない場合は、[お好み]を押す**

4. **送信したい宛先のボタンを押す**

- もう一度ボタンを押すと、選択を解除できます。
- 複数の宛先を設定する場合は、続けて他の宛先のボタンを押します。
- [宛先確認: # # #]を押すと、設定した宛先を確認できます。「宛先を確認する」(p.148)を参照してください。

5. **<スタート>を押す**

- 原稿の読み取りが開始され、受付番号と共にメモリーに蓄積されます。読み取りが完了すると、ファクス送信が開始されます。

❑ グループダイヤルを使う

グループダイヤルで複数の宛先に送信する場合は、次の手順で操作します。

● グループダイヤルは、あらかじめ登録が必要です。詳しくは、「グループダイヤルを登録する」（p.221）を参照してください。

1. **原稿をセットする**

● 詳しくは、『取扱説明書（基本編）』の「原稿セットのしかた（ファクス / インターネット FAX のとき）」を参照してください。

2. **<ファクス>を押す**

3. **［プログラム / グループ］を押す**

4. **送信したいグループ宛先のボタンを押す**

● もう一度ボタンを押すと、選択を解除できます。

5. **<スタート>を押す**

● 原稿の読み取りが開始され、受付番号と共にメモリーに蓄積されます。
読み取りが完了すると、ファクス送信が開始されます。

■宛先を検索する

❑ アドレス帳から検索する（ローカル検索）

アドレス帳に登録されている検索文字で検索して、宛先を指定できます。

1. 原稿をセットする

- 詳しくは、『取扱説明書（基本編）』の「原稿セットのしかた（ファクス / インターネット FAX のとき）」を参照してください。

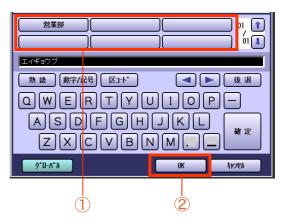
2. <ファクス>を押す

3. [検索] を押す

4. 検索したい文字を入力する

- アドレス帳に登録した検索文字を入力します。検索文字については、「アドレス帳に電話番号を登録する」（p.203）を参照してください。
- 文字入力のしかたは、『取扱説明書（基本編）』の「文字入力のしかた」を参照してください。

入力した文字に該当する宛先が表示されます。

5. 宛先を選択し、[OK] を押す

- ⇧ または ⇩ を押すと、表示された検索結果をスクロールできます。
- 宛先を複数選択することはできません。

6. <スタート>を押す

- 原稿の読み取りが開始され、受付番号と共にメモリーに蓄積されます。
読み取りが完了すると、ファクス送信が開始されます。

❑ LDAP サーバーを使って検索する（LDAP 検索）

LDAP 検索とは、ネットワーク上に設置されている LDAP サーバー上のアドレス帳から、電話番号やメールアドレスを検索する機能のことです。

お知らせ

- 本機が設置されている環境で、LDAP　検索を使えるかどうかについては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- LDAP 検索をするには、LDAP サーバーが設定されている必要があります。詳しくは、『取扱説明書（ファンクション設定編）』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。

1. 原稿をセットする

- 詳しくは、『取扱説明書（基本編）』の「原稿セットのしかた（ファクス / インターネット FAX のとき）」を参照してください。

2. ＜ファクス＞を押す

3. [検索] を押す

4. [グローバル] を押す

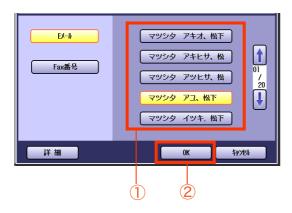
5. 検索したい文字を入力し、[検索] を押す

検索結果が表示されます。

お知らせ

- [ローカル] を押すと、アドレス帳検索画面に戻ります。
- 検索結果が 100 件以上ある場合は、再検索をたずねる画面が表示されます。
  - [はい] を押すと、再検索画面が表示されます。
  - [いいえ] を押すと、検索が中止されます。
- 検索中にエラーが発生した場合は、メッセージが表示されます。
- 検索した電話番号やメールアドレスをアドレス帳に登録したい場合は、[アドレス帳へ追加] を押します。表示された画面で、登録名を入力し、[OK] を押します。
- 検索を中止する場合は、検索中に [キャンセル] を押します。

＜次ページへ続く＞

6. 宛先を選択し、[OK]を押す

- 宛先を複数選択することはできません。
- [E メール]、または[Fax 番号]を押すと、電話番号とメールアドレスの表示を切り替えられます。
- ↑ または ↓ を押すと、表示された検索結果をスクロールできます。
- [詳細]を押すと、下記の画面が表示され、詳細を確認できます。[閉じる]を押すと、検索結果画面に戻ります。

7. [OK]を押す

8. <スタート>を押す

- 原稿の読み取りが開始され、受付番号と共にメモリーに蓄積されます。
  読み取りが完了すると、ファクス送信が開始されます。

■再ダイヤルを使う

直前にダイヤルした宛先にもう一度ダイヤルできます。

お知らせ

- 相手が話中の場合は、自動的に再ダイヤル待ちとなり、タッチパネルディスプレイ上部に「再ダイヤル待ち」のメッセージが表示されます。
  再ダイヤルの通信を中止するには、「再ダイヤル待ち」が表示されている状態で**<ストップ>**を押し、中止確認画面に従って通信を中止します。中止の操作については、「通信を中止する」(p.44)を参照してください。
- 再ダイヤル待ちの通信は、通信予約ファイルとは異なり、宛先や通信時刻の変更はできません。

1. **原稿をセットする**

- 詳しくは、『取扱説明書(基本編)』の「原稿セットのしかた(ファクス / インターネット FAXのとき)」を参照してください。

2. **<ファクス>を押す**

3. **[再ダイヤル]を押す**

4. **電話番号を確認し、[OK]を押す**

- [再ダイヤル / ポーズ]、[回線選択]、[サブアドレス]、[セット]、[*]、[#]については、「電話番号を入力する」(p.18)を参照してください。

5. **<スタート>を押す**

- 原稿の読み取りが開始され、受付番号と共にメモリーに蓄積されます。
  読み取りが完了すると、ファクス送信が開始されます。

■複数の宛先に送信したくないときは

本機では、テンキーでの電話番号入力やアドレス帳からの宛先指定で、同じ原稿を複数の宛先にファクス送信できます。

複数の宛先に送信したくない場合は、[複数宛先]を押すと、複数宛先の設定が解除され、1 宛先だけに送信するように設定されます。誤って複数の宛先へ送信する操作を防ぎたい場合に便利です。

お知らせ

●複数宛先は、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]>[117 複数宛先指定]で初期値を変更できます。
『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。

1. **[複数宛先]を押す**

[複数宛先]が青色に変わります。

■宛先を確認する

設定している宛先を確認できます。

また、ファンクション設定で宛先を確認してから**<スタート>**を押すように設定できます。このように設定している場合は、常に宛先確認の手順が必要となります。

❑ 宛先を確認する

1. [宛先確認:###]を押す

(###には、設定した宛先の数が表示されます。)

2. 確認したいタブを押す

- 宛先を追加したい場合は、次の操作をします。
  ① [OK]を押す
  ②宛先を追加する
- 宛先を削除したい場合は、次の操作をします。
  ①宛先を選択して [削除]を押す
  ②表示された画面で [はい]を押す
- [キーボード]で編集できるのは、E メールアドレスを直接入力した宛先だけです。

3. 確認が終わったら[OK]を押す

❑ 常に宛先確認が必要なとき

誤送信を防止するため、常に宛先確認をするように、ファンクション設定で設定できます。

このように設定されている場合は、宛先確認をせずに**<スタート>**を押すと、宛先確認の操作を促すメッセージが表示され、宛先確認をしないと送信できません。
この場合は、次の手順にしたがって操作してください。

お知らせ

- 宛先確認は、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]>[125 宛先確認]で設定できます。『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4章 ファクス/Eメール機能設定」を参照してください。

1. メッセージが表示されたら、[閉じる]を押す

2. [宛先確認:###]を押す

(###には、設定した宛先の数が表示されます。)

< 次ページへ続く >

3. **確認したいタブを押す**

- 宛先を追加したい場合は、次の操作をします。
  ①［OK］を押す
  ②宛先を追加する
  ③もう一度［宛先確認］を押す
- 宛先を削除したい場合は、次の操作をします。
  ①宛先を選択して［削除］を押す
  ②表示された画面で［はい］を押す

4. **確認が終わったら［OK］を押す**

5. **<スタート>を押す**

- 原稿の読み取りが開始され、受付番号と共にメモリーに蓄積されます。
  読み取りが完了すると、ファクス送信が開始されます。

回線状態を確認して送信する[モニター]

タッチパネルディスプレイの[モニター]を押すと、回線上の音を聞くことができます。
（この機能をオンフックダイヤルと呼びます。）

オンフックダイヤルを使って、相手側の回線状態を確認してからファクス送信をすることができます。

1. 原稿をセットする

- 原稿台ガラスを使って送信できる枚数は、1枚だけです。
- 詳しくは、『取扱説明書（基本編）』の「原稿セットのしかた（ファクス / インターネット FAX のとき）」を参照してください。

2. <ファクス>を押す

3. [モニター]を押す

モニター画面が表示され、「ツー」という回線音が聞こえます。

4. 相手の電話番号を入力する

ボタン	説明
△	押すたびにモニター音量が大きくなります。
▽	押すたびにモニター音量が小さくなります。
再ﾀﾞｲﾔﾙ/ﾎﾟｰｽﾞ	1 回押すと、直前にダイヤルした電話番号が表示されます。 2 回押すと、ポーズ（ダイヤル間隔）を挿入できます。

5. 「ピー、ヒョロロー‥」という音が聞こえたら、操作パネルの<スタート>を押す

送信が開始されます。

- 送信を中止したいときは、「通信を中止する」（p.44）を参照してください。

相手と電話機で話してから送信する[手動送信]

本機に外部電話機を接続している場合は、外部電話機で相手と話をしてからファクス送信できます。次の手順で操作してください。

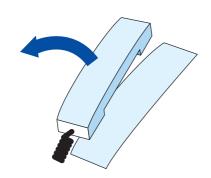
お知らせ

●外部電話機とは
本機の背面には、「外部電話」接続口があります。ここに一般の電話機を接続すると、1 本の電話回線をファクスと通話の両方に使うことができます。接続については、『取扱説明書(セットアップ編)』の「セットアップの概要」を参照してください。

1. 原稿をセットする

- 原稿台ガラスを使って送信できる枚数は、1枚だけです。
- 詳しくは、『取扱説明書(基本編)』の「原稿セットのしかた(ファクス / インターネット FAX のとき)」を参照してください。

2. 操作パネルの<ファクス>を押す

3. 外部電話機の受話器を持ち上げる

4. 外部電話機のダイヤルボタンを使って、相手の電話番号を入力する

5. 相手の方と話し、受信を依頼する

6. 「ピー、ヒョロロー･･」という音が聞こえたら、<スタート>を押し、受話器を戻す

- 送信が開始されます。
- 送信を中止したいときは、「通信を中止する」(p.44)を参照してください。

画質を設定する［画質設定］

画質設定では、原稿の種類、濃度、解像度（読み取る細かさ）を設定できます。

❑ 原稿種類

原稿の種類に応じて、原稿の読み取り方法を選択できます。

● 1 ページ中に文字と写真が混じっているときも、文書の中に文字のページと写真のページが混じっているときも、どちらの場合も［文字 / 写真］を選択してください。

文字だけの原稿

［文字］

文字と写真が混在した原稿

［文字 / 写真］

写真だけの原稿

［写真］

❑ 濃度

読み取る濃度を選択できます。

［うすく］

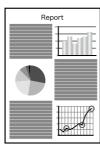
［こく］

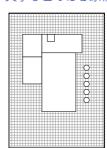
❑ 解像度

読み取る細かさ（解像度）を選択できます。

文字のサイズが大きめの原稿

［ふつう］

小さな文字や図などのある原稿

［小さい］

精細な図面や文字などのある原稿

［細密］または［ 600dpi］

お知らせ

●画質設定は、ファンクション設定の［ファクス /E メール機能設定］＞［04 キーオペレーター専用］＞［01 システムの登録］の ［03 画質デフォルト］、［01 濃度デフォルト］、［02 文字サイズ］で、それぞれ初期値を変更できます。
『取扱説明書（ファンクション設定編）』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。

＜次ページへ続く＞

1. **原稿をセットする**

- 詳しくは、『取扱説明書(基本編)』の「原稿セットのしかた(ファクス / インターネット FAX のとき)」を参照してください。

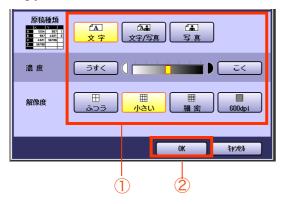
2. **<ファクス>を押す**

3. **[基本]を押す**

4. **[画質設定]を押す**

5. **原稿に合わせて画質を設定し、[OK]を押す**

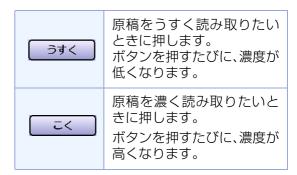
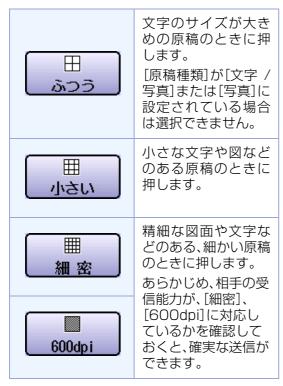
❑ 原稿種類

ボタン	説明
文 字	文字だけの原稿のときに押します。
文字/写真	文字と写真が混在した原稿のときに押します。
写 真	写真だけの原稿のときに押します。

- [文字]を選択して写真原稿を読み取ると、写真の中間色が再現されないため、受信側では黒く印刷されることがあります。

❑ 濃度

ボタン	説明
うすく	原稿をうすく読み取りたいときに押します。 ボタンを押すたびに、濃度が低くなります。
こく	原稿を濃く読み取りたいときに押します。 ボタンを押すたびに、濃度が高くなります。

❑ **解像度**

ふつう	文字のサイズが大きめの原稿のときに押します。 ［原稿種類］が［文字／写真］または［写真］に設定されている場合は選択できません。
小さい	小さな文字や図などのある原稿のときに押します。
細 密	精細な図面や文字などのある、細かい原稿のときに押します。 あらかじめ、相手の受信能力が、［細密］、［600dpi］に対応しているかを確認しておくと、確実な送信ができます。
600dpi	（同上）

- 細かく読み取るほど、送信する情報量が増え、通信時間が長くなります。
- ［細密］または［600 dpi］を設定してパーソナルファクスへ送信すると、通信能力の関係で正常に送られず、通信エラーとなることがあります。

6. **［アドレス帳］を押してアドレス帳画面を表示し、宛先を設定する**

- 「宛先を指定する」（p.18）を参照してください。

7. **<スタート>を押す**

- 原稿の読み取りが開始され、受付番号と共にメモリーに蓄積されます。
  読み取りが完了すると、ファクス送信が開始されます。

原稿サイズを設定する [原稿サイズ]

原稿台ガラスに原稿をセットすると、通常は自動的にサイズが検知されます。
自動検知できない場合や、自動検知したサイズが原稿と異なる場合などは、次の手順で原稿サイズを設定してください。

サイズが検知できない

原稿の画像が表示されない

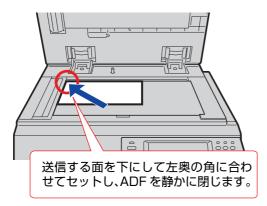
メモリー送信
文字
小さい, TIFF
宛先確認: 000
あ か さ た な

正しいサイズを検知できない
(例：A4 サイズをセットしたが、B4 と検知された)

検知されたサイズ

お願い

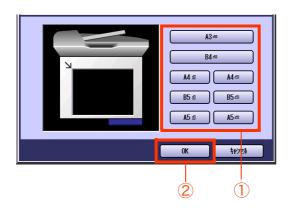
●この機能は、原稿台ガラスに原稿をセットした場合だけ使えます。

1. 原稿台ガラスに原稿をセットする

● 詳しくは、『取扱説明書(基本編)』の「原稿セットのしかた(ファクス / インターネット FAX のとき)」を参照してください。

2. <ファクス>を押す

3. [基本]を押す

4. [原稿サイズ]を押す

5. 原稿サイズを選択し、[OK]を押す

6. [画質設定]などの機能を設定する

- 「画質を設定する[画質設定]」(p.31)を参照してください。

7. [アドレス帳]を押してアドレス帳画面を表示し、宛先を設定する

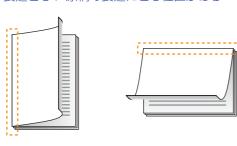
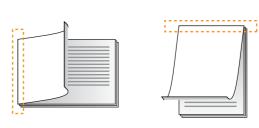
- 「宛先を指定する」(p.18)を参照してください。

8. <スタート>を押す

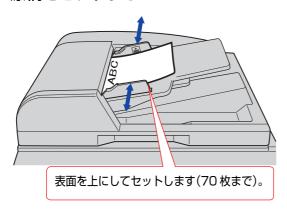
- 原稿の読み取りが開始され、受付番号と共にメモリーに蓄積されます。
  このとき、セットした原稿が最終かどうかを確認する画面が表示されます。画面のメッセージに従って操作してください。
  読み取りが完了すると、ファクス送信が開始されます。

両面原稿を送信する[両面原稿]

ADF を使って両面原稿を送信する場合に、原稿のとじ位置を設定して読み取ることができます。
両面原稿のとじ位置には、次の 2 種類があります。

長辺とじ：原稿の長辺にとじ位置がある

短辺とじ：原稿の短辺にとじ位置がある

お願い

- この機能は、ADF に原稿をセットした場合にだけ使えます。
- この機能は、ダイレクト送信を設定している場合は使えません。
- 両面原稿を設定した場合、済スタンプ機能は使えません。両面原稿を設定する前に済スタンプの解除が必要です。済スタンプの解除については、「済スタンプを解除する[済スタンプ]」(p.38)を参照してください。

1. 原稿をセットする

- 詳しくは、『取扱説明書(基本編)』の「原稿セットのしかた(ファクス / インターネット FAX のとき)」を参照してください。

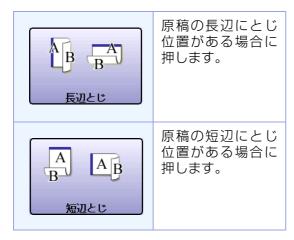
2. <ファクス>を押す

3. [基本]を押す

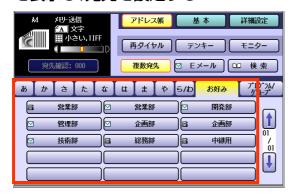
4. [済スタンプ]が設定されている場合は、[済スタンプ]を押し、済スタンプの設定を解除する

5. [両面原稿]を押す

6. 原稿のとじ位置を選択し、[OK]を押す

長辺とじ	原稿の長辺にとじ位置がある場合に押します。
短辺とじ	原稿の短辺にとじ位置がある場合に押します。

7. [画質設定]などの機能を設定する

- 「画質を設定する[画質設定]」(p.31)を参照してください。

8. [アドレス帳]を押してアドレス帳画面を表示し、宛先を設定する

- 「宛先を指定する」(p.18)を参照してください。

9. <スタート>を押す

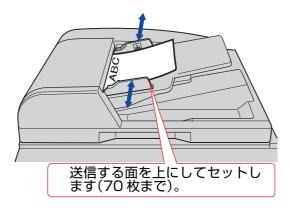
- 原稿の読み取りが開始され、受付番号と共にメモリーに蓄積されます。
  読み取りが完了すると、ファクス送信が開始されます。

済スタンプを解除する [済スタンプ]

ADF から読み取ったかどうか、または送信できたかどうかを確認するために、原稿に済スタンプを押すことができます。済スタンプを設定すると、原稿の後端に小さな済印がつきます。お買い上げ時は、済スタンプを押すように設定されています。
ここでは、済スタンプを解除して送信する操作について説明します。

お知らせ

- 済スタンプは、ADF から送信する場合にだけ押すことができます。
- お買い上げ時は、済スタンプを押して送信するように設定されています。ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]＞[04 キーオペレーター専用]＞[01 システムの登録]＞[04 済スタンプ]で、初期値を変更できます。『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。
- ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]＞[04 キーオペレーター専用]＞[01 システムの登録]＞[28 メモリー済スタンプ]で、メモリー送信で読み取った原稿には済スタンプを押さないように設定できます。設定については、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。

1. 原稿をセットする

- 詳しくは、『取扱説明書(基本編)』の「原稿セットのしかた(ファクス / インターネット FAX のとき)」を参照してください。

2. <ファクス>を押す

3. [基本]を押す

4. [済スタンプ]を押す

5. [画質設定]などの機能を設定する

- 「画質を設定する[画質設定]」(p.31)を参照してください。

6. [アドレス帳]を押してアドレス帳画面を表示し、宛先を設定する

- 「宛先を指定する」(p.18)を参照してください。

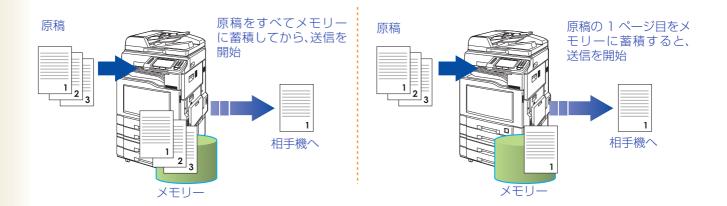
7. <スタート>を押す

- 原稿の読み取りが開始され、受付番号と共にメモリーに蓄積されます。
  読み取りが完了すると、ファクス送信が開始されます。

メモリーに蓄積して送信する[メモリー送信]

■メモリー送信とは

原稿を読み取るときに、メモリーに一度蓄積してから送信できます。メモリーに蓄積すると、ファクスの送信終了を待たずに、原稿を持ち帰ることができます。

- メモリー送信では、同じ原稿を何度も読み取ることなく、一度の操作で複数の宛先に送信できます。
- 本機でのファクス送信には、メモリー送信のほかに、原稿を読み取るときにメモリーに蓄積せず、読み取りと同時に送信を開始するダイレクト送信があります。

お知らせ

- お買い上げ時はメモリー送信するように設定されています。
- 設定された宛先が 1 つだけの場合、原稿の読み取り中にメモリーが一杯になると、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]>[82 クイックメモリー送信]の設定に応じて、次のように動作します。
  - ❑ **[あり]のとき**
    蓄積できたところまでが送信され、「メモリーが一杯になりました」のメッセージが表示されます。
  - ❑ **[なし]のとき**
    蓄積できたところまでが送信され、ダイレクト送信に切り替わります。
- 複数宛先への送信で、原稿の読み取り中にメモリーが一杯になったときは、蓄積できたところまでを送信するかどうかを確認するメッセージが表示されます。[はい]を押すと、送信が開始され、[いいえ]を押すと送信が中止されます。
- 1 ページ目でメモリーが一杯になった場合は、送信が中止されます。
- メモリー送信は、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]>[05 送信メモリー優先]で初期値を変更できます。『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。
- ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]>[82 クイックメモリー送信]で、1 ページ目の読み取りが終了すると送信を開始するように設定できます。この送信方法をクイックメモリー送信と呼びます。『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。

■メモリーに蓄積してから送信する

メモリー送信をするときは、次の手順で操作をしてください。
（ファンクション設定で、ダイレクト送信をするように設定を変更している場合）

1. **原稿をセットする**

● 詳しくは、『取扱説明書（基本編）』の「原稿セットのしかた（ファクス / インターネット FAXのとき）」を参照してください。

2. **<ファクス>を押す**

3. **[基本]を押す**

4. **[メモリー送信]を押す**

5. **[画質設定]などの機能を設定する**

● 「画質を設定する［画質設定］」（p.31）を参照してください。

6. **[アドレス帳]を押してアドレス帳画面を表示し、宛先を設定する**

● 「宛先を指定する」（p.18）を参照してください。

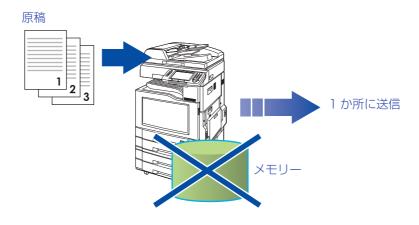
7. **<スタート>を押す**

● 原稿の読み取りが開始され、受付番号と共にメモリーに蓄積されます。
読み取りが完了すると、ファクス送信が開始されます。

● 送信を中止する操作については、「通信を中止する」（p.44）を参照してください。

メモリーに蓄積せずに送信する[ダイレクト送信]

原稿を読み取るときに、メモリーに蓄積せず、読み取りと同時に送信を開始することができます。
次のような場合に、ダイレクト送信を使うと便利です。

- ❑ **メモリーに蓄積されている、ほかの通信より優先してファクスを送信したい**
- ❑ **メモリーの空き容量が不足している**

お願い

- ●ダイレクト送信は、複数宛先への送信には使えません。
- ●メモリー送信をしている場合でも、原稿の読み取り中にメモリーが一杯になったときは、自動的にダイレクト送信に切り替わります。
- ●ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]＞[04 キーオペレーター専用]＞[01 システムの登録]＞[05 送信メモリー優先]で、初期値をメモリー送信からダイレクト送信に変更できます。『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。

1. 原稿をセットする

- ● 詳しくは、『取扱説明書(基本編)』の「原稿セットのしかた(ファクス / インターネット FAX のとき)」を参照してください。

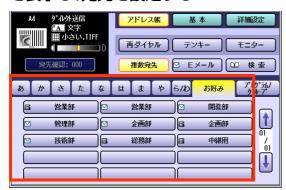
2. <ファクス>を押す

3. [基本]を押す

4. [ダイレクト送信]を押す

5. [画質設定]などの機能を設定する

- ● 「画質を設定する[画質設定]」(p.31)を参照してください。

6. **[アドレス帳]を押してアドレス帳画面を表示し、宛先を設定する**

- 「宛先を指定する」(p.18)を参照してください。

7. **<スタート>を押す**

- 読み取った原稿は、メモリーに蓄積されず、相手機と接続すると、送信が開始されます。
- 送信を中止する操作については、「通信を中止する」(p.44)を参照してください。

通信を中止する

通信を中止する場合は、次の手順で操作します。複数の宛先への通信する場合は、すべての宛先への通信が中止されます。

❑ メモリー送信の場合

1. **<ファクス>を押す**

2. **通信中に <ストップ>を押す**

3. **[はい]を押して送信を中止する**

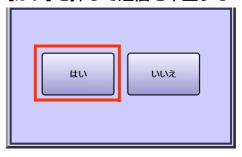
● 上の画面で、操作せずに5秒程度が経過すると、送信が継続されます。

4. **通信結果レポートを印刷する場合は[はい]を、印刷しない場合は[いいえ]を選択する**

● ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]＞[04 キーオペレーター専用]＞[01 システムの登録]＞[31 未送信ファイル保存]が[あり]に設定されている場合は、手順４の画面の前に、未達文書を保存するかどうかを確認する画面が表示されます。
保存する場合は、[はい]を選択します。
保存した未達文書を再送する操作については、「通信エラー文書を再送信する[未達宛先再通信]」(p.194)を参照してください。

❑ ダイレクト送信の場合

1. **通信中に <ストップ>を押す**

2. **[はい]を押して送信を中止する**

● 上の画面で、操作せずに5秒程度が経過すると、送信が継続されます。

3. **原稿を取り除く**

発信元印字を設定する [発信元印字]

送信情報に発信元印字をつけるかどうかを選択できます。発信元印字とは、送信文書の先端につけられる、日時、宛先、発信元、ページ数、受付番号のことです。

発信元印字をつけたくない場合（相手側から依頼された場合や、インターネット FAX 送信の場合など）は、選択を解除してください。

お知らせ

- お買い上げ時は、発信元印字をつけるように設定されています。
- 発信元印字は、ファンクション設定の［ファクス /E メール機能設定］＞［04 キーオペレーター専用］＞［01 システムの登録］＞［07 発信元印字］で［なし］に設定したり、発信元印字をつける位置を設定できます。『取扱説明書（ファンクション設定編）』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。お買い上げ時は、設定が［原稿内］となっているため、発信元印字が印刷される部分（原稿の先端から約 10mm）には原稿を印字できません。この部分へは原稿を書かないでください。
  設定を［原稿外］に設定することで、原稿の先端から約 3 mm を除いた部分までの印字ができるようになります。ただし、この場合は縮小率が高くなるため、送信した原稿より小さく印字されます。

1. 原稿をセットする

- 詳しくは、『取扱説明書（基本編）』の「原稿セットのしかた（ファクス / インターネット FAX のとき）」を参照してください。

2. <ファクス>を押す

3. ［基本］を押す

4. ［発信元印字］を押す

5. ［画質設定］などの機能を設定する

- 「画質を設定する［画質設定］」（p.31）を参照してください。

6. ［アドレス帳］を押してアドレス帳画面を表示し、宛先を設定する

- 「宛先を指定する」（p.18）を参照してください。

7. <スタート>を押す

- 原稿の読み取りが開始され、受付番号と共にメモリーに蓄積されます。
  読み取りが完了すると、ファクス送信が開始されます。
- 送信を中止する操作については、「通信を中止する」（p.44）を参照してください。

通信状況を確認する [通信状況]

通信中の宛先、ページ数、解像度などの通信状況を確認する場合は、次の手順で操作します。

1. ＜ファクス＞を押す

2. [基本]を押す

3. 通信中に[通信状況]を押す

4. 通信中の宛先、ページ数、解像度(文字サイズ)などの通信状態を確認する

- オプションの G3 増設ユニット(DA-FG322)、または G4 通信ユニット(DA-FG323)を装着している場合は、[回線]を押すと、通信状況を確認する回線を変更できます。

5. 確認が終了したら、[OK]を押す

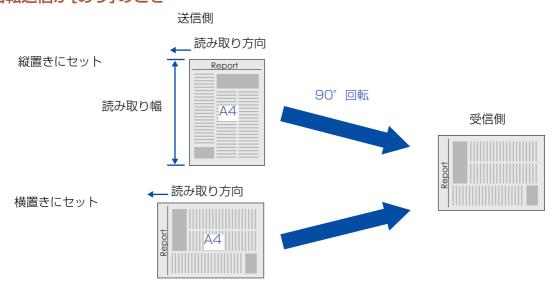
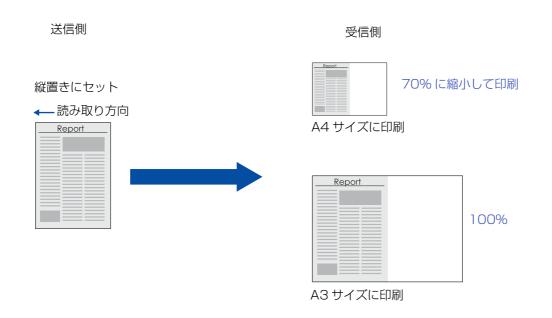
回転送信について

A4サイズの原稿を送信する場合に、原稿を縦置き(□方向:原稿の短辺が上にくる状態)にセットすると、受信側で縮小して印刷されたり、A3 サイズとして扱われることがあります。このようなトラブルを防止するために、本機には回転送信の機能が搭載されています。

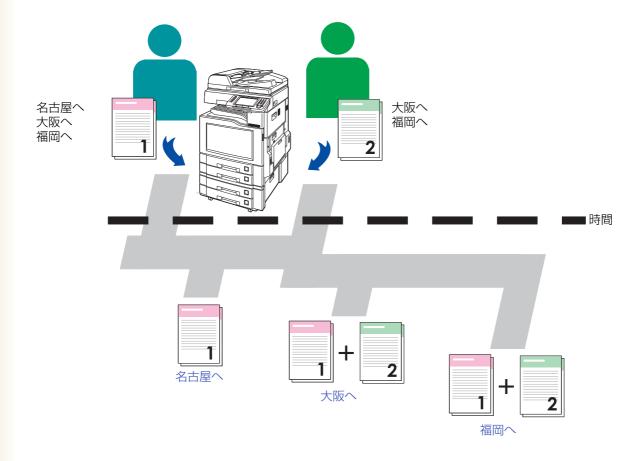
ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]>[78 回転送信]を[あり]に設定すると、原稿を縦置き(□方向)にしたときにも、自動的に 90° 回転し、横置きしたとき(□方向:原稿の長辺が上にくる状態)と同じように A4 サイズとして送信できます。

お知らせ

- ●お買い上げ時は、ファンクション設定の[78 回転送信]が[あり]に設定されています。
『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。
- ●回転送信は、メモリー送信の場合にだけ機能します。ダイレクト送信を設定した場合は、機能しません。

❑ 回転送信が[あり]のとき

❑ 回転送信が[なし]のとき

宛先別一括送信について

本機では、通信を開始するときに、宛先別に他の異なる通信ファイルがあるかどうかを検索します。
同じ宛先がある場合は、自動的に宛先別一括送信の機能がはたらき、一度のダイヤルで、複数のファイルが送信されます(4 ファイルまで)。

お知らせ
- 再ダイヤル待ち、送信中、タイマー予約された通信は宛先別一括送信されません。

プログラムダイヤルを呼び出す

プログラムダイヤルが登録されている場合は、プログラムボタンを押すだけで、一連の操作手順を呼び出すことができます。

定期的に発生する操作や、複雑な手順が必要な操作の場合は、プログラムダイヤルを利用すると、手順を簡素化するだけでなく、操作ミスも防止できて便利です。

プログラムダイヤルを呼び出す場合は、次の手順で操作します。

お知らせ

- プログラムボタンを使うには、あらかじめファンクション設定でプログラムダイヤルを登録しておく必要があります。詳しくは、「プログラムダイヤルを登録する」(p.219)を参照してください。
- プログラムボタンにどのような操作が登録されているかは、プログラムダイヤルのリストで確認できます。詳しくは、「プログラムダイヤルのリストを印刷する」(p.258)を参照してください。

1. 原稿をセットする

- 詳しくは、『取扱説明書(基本編)』の「原稿セットのしかた(ファクス / インターネット FAX のとき)」を参照してください。

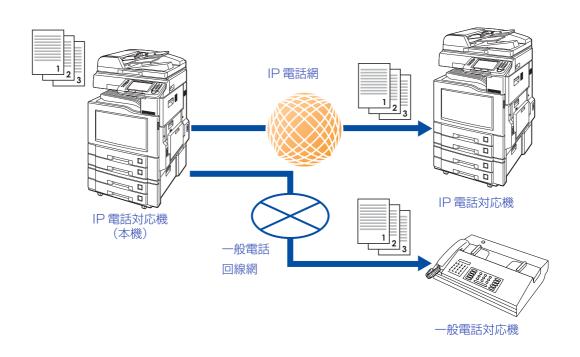
2. <ファクス>を押す

3. [プログラム / グループ]を押す

4. 呼び出したいプログラムダイヤルのボタンを押す

- プログラムダイヤルのボタンには、 マークや マークは表示されません。
- 通信が開始されます。

IP 電話サービスを使う

本機では、IP 電話サービスを利用してファクス通信できます。

■IP 電話サービス利用上の注意

● プロバイダが提供する IP 電話サービスのご契約が必要です。

ご利用になるプロバイダが、「IP 電話対応機器」に対応した IP 電話サービスを提供しているかどうか、事前にご確認ください。

● IP 電話サービスのサービス内容は、プロバイダごとに異なります。

- IP電話サービスのサービス内容・料金・提供条件・お申し込み方法などは、プロバイダにより異なります。各プロバイダにご確認ください。
- IP 電話サービスから発信できる番号は、各プロバイダにより異なります。
- 「IP 電話対応機器」をご利用のお客さま間でも、ご契約された IP 電話サービスが異なる場合は、IP 電話サービスとして通信できない場合があります。

● 一般電話回線を接続しない場合、110 番などにはつながりません。

- 110番、118番、119番の電話番号へは、一般電話回線から自動的に発信されます。このため、一般電話回線が正しく接続されていないとつながりません。
- ご契約された IP 電話サービスが携帯電話やフリーダイヤルなどへの通話をサービス対象外としている場合は、一般電話回線から発信してください。

● IP 電話サービスからの発信方法は、次表のとおりです。

<table>
<tr><th colspan="2">相手の電話番号</th><th>発信に利用するサービス</th></tr>
<tr><td>一般の電話番号</td><td>例　03-1234-5678
06-1234-5678</td><td>IP 電話サービスから発信できます。</td></tr>
<tr><td>050 番号(IP 電話)</td><td>例　050-XXXX-XXXX　＊</td><td>IP 電話サービスから発信できます。</td></tr>
<tr><td>0X0(050 以外)</td><td>例　携帯電話(090)
PHS(070)
国際電話(010)など</td><td rowspan="4">ご契約された IP 電話サービスのサービス内容により異なります。詳しくは各電話サービスのサービス内容をご確認ください。
【ダイヤルした番号が IP 電話サービス対象の場合】
IP 電話サービスから発信します。
【ダイヤルした番号が IP 電話サービス対象外の場合】
一般電話回線から発信してください。</td></tr>
<tr><td>00XY</td><td>例　0036 などで始まるダイヤル</td></tr>
<tr><td>0XY0
(市外局番以外)</td><td>例　0120、0570 などで始まるダイヤル</td></tr>
<tr><td>その他のダイヤル
(110、118、119 以外)</td><td>―</td></tr>
<tr><td>110、118、119</td><td>110、118、119 の緊急通話</td><td>一般電話回線から自動的に発信します。</td></tr>
</table>

＊「184 十電話番号」および「186 十電話番号」を含みます。

● IP 電話サービスから発信できない／発信したくないときは

- 一般電話回線から発信してください。
- ネットワーク障害など何らかのトラブルにより、IP 電話サービスがご利用いただけない場合は、一般電話回線から発信してください。

● 発信者番号通知についてご確認ください。

- IP 電話サービス間の通話の場合は、IP 電話サービスの電話番号が通知されます。(「184 十電話番号」をダイヤルすることで非通知にすることもできます。)
- 加入電話など、IP 電話サービス以外に発信する際の発信者番号通知については、ご契約された各プロバイダにご確認ください。

お知らせ

●IP 電話サービスについては、お使いの IP 電話対応機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。

●下記のような場合は、IP 電話の通話品質が低下したり、ファクス通信が困難な場合があります。

- ADSL 回線の接続状況によって十分な帯域が確保できない場合
- インターネットで十分な帯域が確保できない場合
- IP 電話対応機器に接続されているコンピューターで、ファイル転送やストリーミングサービスのような、大きな帯域を必要とするサービスを使用中の場合

■IP 電話サービスを使ってファクス送信する

「IP 電話対応機器」を設置している場合は、特別な操作をすることなく IP 電話サービスを使ってファクスを送信したり、電話をかけたりできます。

なお、インターネット網の不調などで IP 電話回線が通信不能になった場合は、次に説明するリルート機能とプレフィクス機能によって、自動的に一般電話回線に切り替えて通信できます。

❑ リルート機能

リルート機能とは、IP 電話回線が通信不能の場合に、自動的に一般電話回線に切り替えてダイヤルをし直す機能です。

この機能は、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]＞[04 キーオペレーター専用]＞[01 システムの登録]＞[123 リルート機能]が[あり]に設定されている場合に利用できます。

- 次ページの図の①～③のいずれかの送信方法で、自動的に通信回線を切り替えてダイヤルをし直し、ファクス送信されます。
- ①の方法で送信を開始し、送信できない場合は、②、③と送信方法が順次切り替わります。
- [123 リルート機能]が[あり]に設定されている場合は、アドレス帳に一般の電話番号と IP 電話の番号を両方登録できます。
- [123 リルート機能]が[あり]に登録されている場合、タッチパネルディスプレイには、「リルート設定中」が表示されます。

❑ プレフィクス機能

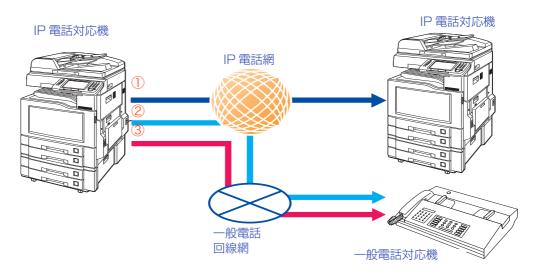
プレフィクス機能とは、IP 電話回線が通信不能の場合に、プレフィクス番号に続いてダイヤルした一般電話回線の番号で発信する機能です。

この機能は、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]＞[04 キーオペレーター専用]＞[01 システムの登録]＞[124 プレフィクス機能]で、プレフィクス番号を登録し、プレフィクス機能が[あり]に設定されている場合に利用できます。

- プレフィクス番号は、0 ～9、#、＊、ポーズ記号を組み合わせて、20 桁まで登録できます。
- [124 プレフィクス機能]が[あり]に設定されている場合、信号の流れは次ページの図の③となります。
- [124 プレフィクス機能]が[あり]に登録されている場合、タッチパネルディスプレイには、「プレフィクス設定中」が表示されます。

（付与できる番号例：N T T の例）

0000 : 「IP 電話対応機器」を使用しているときに、続けてダイヤルすると、相手先の電話番号に一般電話回線から発信します。

「0000」は N T T の例です。一般回線への切り替え番号は、ご契約の電話会社へご確認ください。

① IP 電話 → IP 電話		相手が IP 電話番号を持っている場合
② IP 電話 → 一般電話		相手が IP 電話番号を持っていない場合
③一般電話 → 一般電話		一般電話回線を指定する場合

❑ 送信の流れ

1. 送信方法①でファクスが送られます。
   - アドレス帳に一般電話の番号だけが登録されている場合は、利用できません。

2. 通信エラーによって送信方法①で送ることができない場合は、自動的に送信方法②でファクス送信されます。

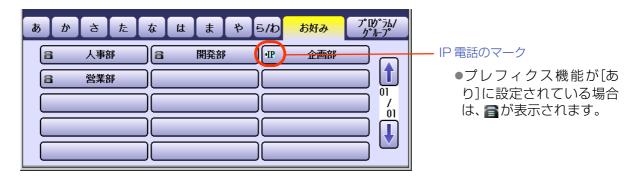
3. 通信エラーによって送信方法②でも送ることができない場合は、自動的に送信方法③でファクス送信されます。
   - アドレス帳に IP 電話の番号だけが登録されている場合は、利用できません。

お知らせ

●どの回線を使ってファクス送信されたかを、通信結果レポートで確認できます。「通信結果レポート」(p.250)、および「主なエラーコード」(p.268)を参照してください。

❑ アドレス帳の登録（リルート機能が設定されている場合）

ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]＞[04 キーオペレーター専用]＞[01 システムの登録]＞[123 リルート機能]が[あり]に設定されている場合は、アドレス帳に、一般の電話番号とIP電話の番号を両方登録できます。

このような宛先は、アドレス帳にIPのマークが表示されます。

アドレス帳に、一般の電話番号とIP電話の番号の両方を登録する場合は、次の手順で操作します。

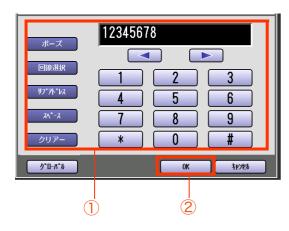
お知らせ

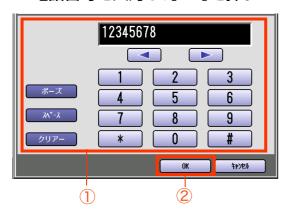
- ●登録したアドレス帳を変更する操作については、「アドレス帳を変更する」(p.215)を参照してください。
- ●登録したアドレス帳を削除する操作については、「アドレス帳を削除する」(p.216)を参照してください。

1. **<ファンクション>を押す**

2. **[ファクス /E メール機能設定] を押す**

3. **[00 アドレス帳登録] を押す**

4. **[01 アドレス帳登録（電話）] を押す**

5. **電話番号を入力し、[OK]を押す**

- [クリアー]を押すと、電話番号を 1 文字ずつ消去できます。
- 電話番号の入力については、「電話番号を入力する」(p.18)を参照してください。

6. **IP 電話番号を入力し、[OK]を押す**

- [クリアー]を押すと、IP 電話番号を 1 文字ずつ消去できます。

7. **宛先名を入力し、[OK]を押す**

- 宛先名は、20 文字まで入力できます。
- 文字入力のしかたは、『取扱説明書(基本編)』の「文字入力のしかた」を参照してください。

8. **ボタン名を入力し、[OK]を押す**

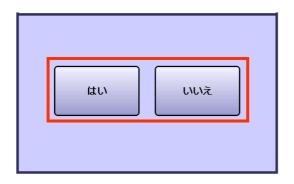
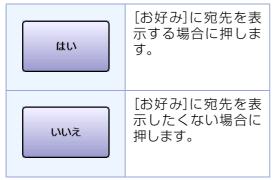
- ボタン名は、10 文字まで入力できます。

9. **検索文字を入力して、[OK]を押す**

- 検索文字は、10 文字まで入力できます。
- 検索文字は、アドレス帳で宛先を検索するときに使う文字です([あ]〜[ら/わ]の仕分けにも使われます)。宛先名のフリガナなどをカタカナで入力します。
- 英数字を入力すると、アドレス帳画面の「あ」行に表示されます。
ただし、英数字は検索文字としては使用できません。

<次ページへ続く>

10. [お好み]に表示するかどうかを選択する

はい	[お好み]に宛先を表示する場合に押します。
いいえ	[お好み]に宛先を表示したくない場合に押します。

- [お好み]に登録できる宛先は 15宛先です。すでに 15宛先登録されている場合、上の画面は表示されません。

11. [OK]を押す

- アドレス帳に特殊機能を設定する場合は、「通信機能を登録する」(p.206)を参照してください。
- アドレス帳に次の宛先を登録するときは、手順 5 の電話番号の入力から操作してください。
- 操作が終了したら、**<リセット>**を押して、設定を解除してください。

3章
便利なファクス機能

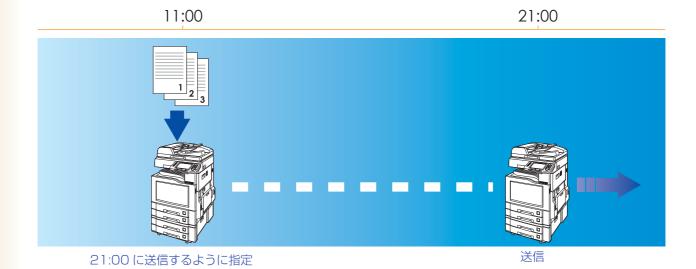
この章では、[詳細設定]を押して表示される、便利なファクス機能の概要と操作について説明しています。

時刻を指定して通信する

時刻を指定した通信には、タイマー送信、タイマーポーリング受信、タイマー特殊通信の 3 種類があります。

■時刻を指定して送信する[タイマー送信]

1 か所、または複数の宛先へ、24 時間後までの時刻を指定して送信できます。

読み取った原稿は、通信予約ファイルとしてメモリー内に蓄積され、あらかじめ設定しておいた時刻になると自動的に送信が開始されます。

お知らせ

- タイマー送信、タイマーポーリング受信、タイマー特殊通信を合わせ、50 通信まで設定できます。
- 時刻を指定して[特殊通信]の機能で通信したい場合は、[タイマー特殊通信]から操作してください。
- タイマー送信する時刻は、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]＞[04 キーオペレーター専用]＞[00 自局情報の登録]＞[04 定時刻タイマーの登録]で、初期値を設定できます。『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。

1. 原稿をセットする

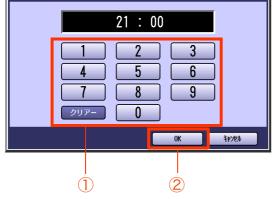
- 詳しくは、『取扱説明書(基本編)』の「原稿セットのしかた(ファクス / インターネット FAX のとき)」を参照してください。

2. <ファクス>を押す

3. [詳細設定]を押す

4. [タイマー送信]を押す

5. 送信時刻を設定し、[OK]を押す

① ②

- 時刻は、24 時制で入力します。
  (例) 21: 00
- 誤って入力した場合は、画面内の[クリアー]を押すと、1 文字ずつ削除できます。

6. [画質設定]などの機能を設定する

- 「画質を設定する[画質設定]」(p.31)を参照してください。

7. 宛先を設定する

- 「宛先を指定する」(p.18)を参照してください。

8. <スタート>を押す

原稿の読み取りが開始され、受付番号と共にメモリーに蓄積されます。

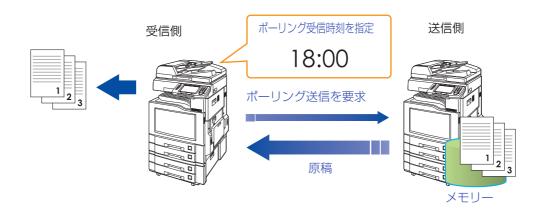
指定した時刻になると、送信が開始されます。

お知らせ

- ここで設定した送信時刻と宛先は変更できます。
  変更の操作については、「通信予約ファイルを変更する[時間・宛先変更]」(p.188)を参照してください。
- タイマー送信を中止したいときは、通信予約のファイルの削除が必要です。「通信予約ファイルを削除する[通信予約の消去]」(p.190)を参照してください。
- 相手先が話し中などで送信できなかった場合は、通信結果レポートが排出されます。
  詳しくは、「通信結果レポート」(p.250)を参照してください。

■時刻を指定して ポーリング受信する[タイマーポーリング受信]

24 時間後までの時刻を指定してポーリング受信できます。

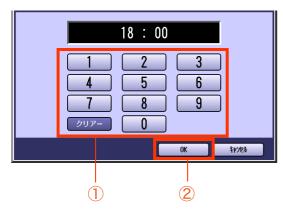
ポーリング受信とは、送信側のメモリーに蓄積された原稿(または原稿トレイにセットされた原稿)を、受信側から指示して送信させる機能です。機密保護のためパスワードを設定できます。通信料金は受信側の負担となります。

お知らせ

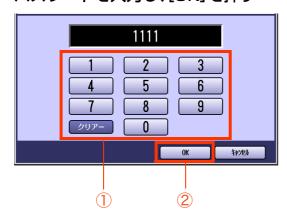
- ●タイマー送信、タイマーポーリング受信、タイマー特殊通信を合わせ、50 通信まで設定できます。
- ●時刻を指定せずにポーリング受信をする場合は、「受信側からの指示で原稿を送信させる[ポーリング受信]」(p.64)を参照してください。
- ●パスワードを使ったポーリング通信は、相手機が当社の機種に限定されます。詳しくはサービス実施会社にお問い合わせください。
  なお、パスワードを使わない場合は、当社の機種以外の機種や、パスワードを使わない相手に対してポーリング通信できます。
- ●タイマーポーリング受信する時刻は、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[00 自局情報の登録]>[04 定時刻タイマーの登録]で、初期値を設定できます。『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。

1. <ファクス>を押す

2. [詳細設定]を押す

3. [タイマーポーリング受信]を押す

4. 通信時刻を設定し、[OK]を押す

- 時刻は、24 時制で入力します。
  (例) 18: 00
- 誤って入力した場合は、画面内の[クリアー]を押すと、1 文字ずつ削除できます。

5. パスワードが設定されている場合は、パスワードを入力し、[OK]を押す

- ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]>[04　キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]>[26 ポーリング用暗証番号の登録]でパスワードを設定している場合はパスワードが表示されます。
  このパスワードは、上の画面で変更できます。
- パスワード設定が不要な場合はパスワードを入力しないで[OK]を押します。

6. 宛先を設定する

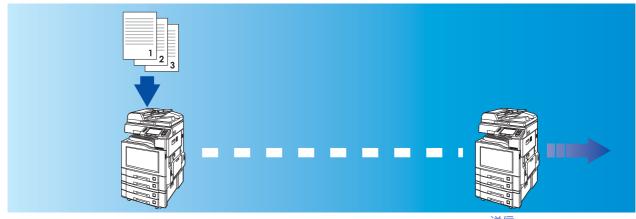
- 「宛先を指定する」(p.18)を参照してください。

7. <スタート>を押す

- ここで設定した通信時刻は変更できます。
  変更の操作については、「通信予約ファイルを変更する[時間･宛先変更]」(p.188)を参照してください。
- 時刻を指定したポーリング受信を中止したいときは、通信予約のファイルの削除が必要です。「通信予約ファイルを削除する[通信予約の消去]」(p.190)を参照してください。
- 相手先が話し中などで通信できなかった場合は、通信結果レポートが排出されます。
  詳しくは、「通信結果レポート」(p.250)を参照してください。

■時刻を指定して特殊通信をする[タイマー特殊通信]

タイマー特殊通信は、[特殊通信]の機能を、24 時間後までの時刻を指定して通信できます。読み取った原稿は、通信予約ファイルとしてメモリー内に蓄積され、あらかじめ設定しておいた時刻になると自動的に通信が開始されます。

11:00　　　　21:00

21:00 に送信するように指定　　　　送信

お知らせ

- タイマー送信、タイマーポーリング受信、タイマー特殊通信を合わせ、50 通信まで設定できます。
- [特殊通信]を利用しない送信の場合は、[タイマー送信]を使用してください。
- [特殊通信]の機能については、次を参照してください。
  - ・「中継同報送信を指示する[中継同報指示]」(p.68)
  - ・「いつも送信する文書を蓄積しておく[ファイル送信]」(p.72)
  - ・「F コード(サブアドレス)を使って通信をする[F コード通信]」(p.78)
  - ・「受信側で複数部数印刷させる[マルチコピー通信]」(p.82)
  - ・「ファクシミリ通信網を利用する[F 網通信]」(p.84)
  - ・「LAN 中継機能を使う」(p.164)
- タイマー特殊通信する時刻は、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[00 自局情報の登録]>[04 定時刻タイマーの登録]で、初期値を設定できます。『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。

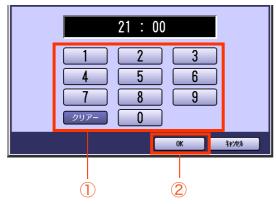
1. 原稿をセットする

- 詳しくは、『取扱説明書(基本編)』の「原稿セットのしかた(ファクス / インターネット FAX のとき)」を参照してください。

2. <ファクス>を押す

3. [詳細設定]を押す

4. [タイマー特殊通信]を押す

5. 通信時刻を設定し、[OK]を押す

- 時刻は、24 時制で入力します。
  (例)21: 00
- 誤って入力した場合は、画面内の[クリアー]を押すと、1 文字ずつ削除できます。

6. 特殊通信を選択する

7. 手順 6 で選択した機能に応じ、各機能を設定する

8. [画質設定]などの機能を設定する

- 「画質を設定する[画質設定]」(p.31)を参照してください。

9. 宛先を設定する

- 「宛先を指定する」(p.18)を参照してください。

10. <スタート>を押す

送信の場合は、原稿の読み取りが開始され、受付番号と共にメモリーに蓄積されます。

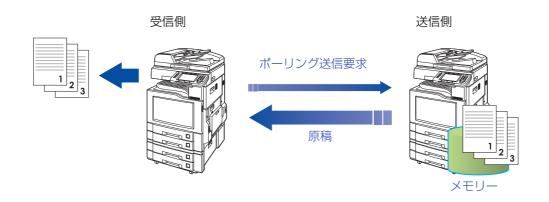
指定した時刻になると、通信が開始されます。

お知らせ

- ここで設定した通信時刻は変更できます。変更の操作については、「通信予約ファイルを変更する[時間・宛先変更]」(p.188)を参照してください。
- タイマー特殊通信を中止したいときは、通信予約のファイルの削除が必要です。「通信予約ファイルを削除する[通信予約の消去]」(p.190)を参照してください。
- 相手先が話し中などで通信できなかった場合は、通信結果レポートが排出されます。詳しくは、「通信結果レポート」(p.250)を参照してください。

受信側からの指示で原稿を送信させる[ポーリング受信]

ポーリング受信とは、送信側のメモリーに蓄積された原稿(またはADFや原稿台ガラスにセットされた原稿)を、受信側から指示して送信させる機能です。

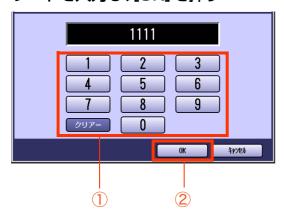
- 機密保護のために、パスワードを設定できます。
- 通信料金はポーリング受信側の負担となります。

お知らせ

- 時刻を指定してポーリング受信をすることもできます。「時刻を指定して ポーリング受信する[タイマーポーリング受信]」(p.60)を参照してください。
- パスワードを使ったポーリング通信は、相手機が当社の機種に限定されます。詳しくはサービス実施会社にお問い合わせください。
  なお、パスワードを使わない場合は、当社の機種以外の機種や、パスワードを使わない相手に対してポーリング通信できます。

1. **<ファクス>を押す**

2. **［詳細設定］を押す**

3. **［ポーリング受信］を押す**

4. **パスワードを設定する場合は、パスワードを入力し、［OK］を押す**

- ファンクション設定の［ファクス /E メール機能設定］＞［04　キーオペレーター専用］＞［01 システムの登録］＞［26 ポーリング用暗証番号の登録］でパスワードを設定している場合はパスワードが表示されます。
このパスワードは、上の画面で変更できます。
- パスワード設定が不要な場合はパスワードを入力しないで［OK］を押します。

5. **宛先を設定する**

- 「宛先を指定する」（p.18）を参照してください。

6. **<スタート>を押す**

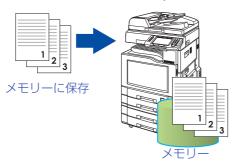
ポーリング受信が開始されます。

- ポーリング受信を中止する操作については、「通信を中止する」（p.44）を参照してください。

ポーリング送信原稿を蓄積する[ポーリング送信]

ポーリング送信とは、ポーリング受信側の指示で送信するための原稿をメモリーに蓄積しておく機能のことです。

ポーリング送信用に蓄積した原稿は、受信側からポーリング送信要求がくると、自動的に送信されます。

- 機密保護のために、パスワードを設定できます。
- 通信料金はポーリング受信側の負担となります。

お知らせ

●掲示板として利用するには
ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]＞[04 キーオペレーター専用]＞[01 システムの登録]＞[27 ポーリング送信保存]を[あり]に設定しておくと、ポーリング送信後も、ポーリング送信用文書がメモリー内に保存されます。
同じ原稿を、複数の相手にポーリング送信したいときに便利です。
[27 ポーリング送信保存]が[なし]の設定に設定されている場合は、ポーリング送信後、自動的にポーリング送信用文書が削除されます。

●ポーリング用パスワードを使う
ポーリング用パスワードを設定し、ポーリング受信側に知らせておくと、パスワードを知っている相手にだけポーリング送信できます。

●パスワードを使ったポーリング通信は、相手機が当社の機種に限定されます。詳しくはサービス実施会社にお問い合わせください。
なお、パスワードを使わない場合は、当社の機種以外の機種や、パスワードを使わない相手に対してポーリング通信できます。

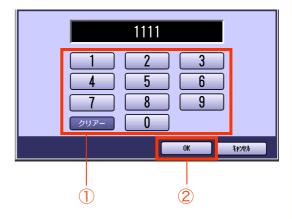
1. **原稿をセットする**

- 詳しくは、『取扱説明書（基本編）』の「原稿セットのしかた（ファクス / インターネット FAX のとき）」を参照してください。

2. **＜ファクス＞を押す**

3. **［詳細設定］を押す**

4. **［ポーリング送信］を押す**

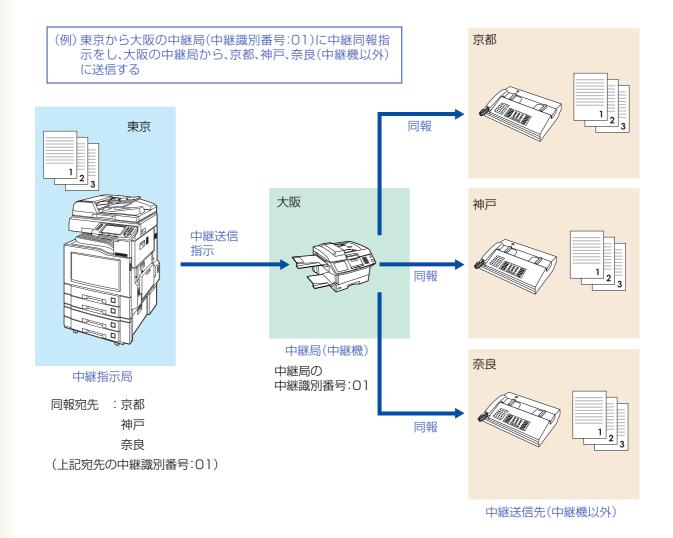
5. **パスワードを設定する場合は、パスワードを入力し、［OK］を押す**

読み取った原稿がメモリーに蓄積され、ポーリング受信側から送信の要求がくると送信されます。

- ファンクション設定の［ファクス /E メール機能設定］＞［04 キーオペレーター専用］＞［01 システムの登録］＞［26 ポーリング用暗証番号の登録］でパスワードを設定している場合はパスワードが表示されます。このパスワードは、上の画面で変更できます。
- パスワード設定が不要な場合は、パスワードを入力しないで［OK］を押します。
- ポーリング送信用に蓄積したファイルを削除したい場合は、「通信予約ファイルを削除する［通信予約の消去］」（p.190）を参照してください。
- ポーリング送信は 30 通信まで設定できます。この場合、1 通信に対して 1 つのパスワードの設定が必要で、同じパスワードは設定できません。
（パスワードがない通信も 1 通信となります。）

中継同報送信を指示する [中継同報指示]

■中継同報送信とは

中継同報とは、中継局となるファクス(センター機能をもつファクス)を経由して同報送信をする機能です。
中継局にファクス送信すると、中継局から複数の宛先へ同報送信されます。

- 1 台のファクスからすべての宛先に同報送信する場合に比べ、通信にかかる時間が分散するため、機械の負担を軽減できます。
- 中継局から同報する場合に、市内通話料金を利用できるようにネットワークを組めば、ネットワーク全体の通信コストを削減できます。
- 中継通信をする場合は、本機を含むネットワークを構成する必要があります。サービス実施会社へご相談ください。

■中継同報送信をするための準備

本機で中継同報送信指示をするためには、次の項目の設定が必要です。

No.	項目	内容
1	中継情報を登録する	ファンクション設定の［ファクス/Eメール機能設定］＞［04 キーオペレーター専用］＞［02 中継情報の登録］で、中継情報を登録する。 ●設定の必要な項目については、『取扱説明書（ファンクション設定編）』の「4章 ファクス/Eメール機能設定」を参照してください。
2	アドレス帳ダイヤル情報	アドレス帳に中継情報を登録するために、ファンクション設定の［ファクス /E メール機能設定］＞［04 キーオペレーター専用］＞［01 システムの登録］＞［104 アドレス帳ダイヤル情報］を［あり］に設定します。 ●お買い上げ時は、［104　アドレス帳ダイヤル情報］が［あり］に設定されています。
3	アドレス帳	① 中継局の電話番号、中継情報をアドレス帳に登録する ② 中継送信先の電話番号、中継情報をアドレス帳に登録する

お知らせ

●中継同報送信をする場合は、本機を含めた中継ネットワークを構成する必要があります。
中継ネットワークを構成する場合は、サービス実施会社にご相談ください。

■中継同報を指示する

中継同報指示をする場合は、次の手順で操作します。

お知らせ

- この機能は、相手機が限定されます。詳しくは、サービス実施会社にお問い合わせください。
- この機能は、ファンクション設定で、中継同報情報が登録されている場合に使えます。
「中継同報送信をするための準備」(p.69)、および『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4章 ファクス/Eメール機能設定」を参照してください。
- 中継同報指示は、アドレス帳の登録時に機能を設定できます。アドレス帳に中継局が登録されていないと、利用できません。「中継局を登録する」(p.206)を参照してください。

1. 原稿をセットする

- 詳しくは、『取扱説明書(基本編)』の「原稿セットのしかた(ファクス / インターネット FAX のとき)」を参照してください。

2. <ファクス>を押す

3. [詳細設定] を押す

4. [特殊通信] を押す

5. [中継同報指示] を押す

- 「ピピピ」と音が鳴ったときは、中継情報が登録されていません。

6. [画質設定]などの機能を設定する

- 「画質を設定する[画質設定]」(p.31)を参照してください。

7. 中継送信先が登録されている宛先を設定する

- 「宛先を指定する」(p.18)を参照してください。
- テンキーからの直接ダイヤルは使用できません。

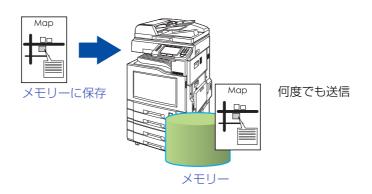
8. <スタート>を押す

中継同報指示が開始されます。

- 中継同報指示を中止する操作については、「通信を中止する」(p.44)を参照してください。

いつも送信する文書を蓄積しておく[ファイル送信]

ファイル送信とは、定型文書(会社の地図などのように、頻繁に送信する文書)をメモリーに蓄積しておき、何度でも送信できる機能です。

● ファイル送信で蓄積できる文書は、1 文書だけです。

ここでは、ファイル送信用の文書を蓄積する操作、ファイルを送信する操作、ファイルを印刷する操作、ファイルを削除する操作を説明します。

■ファイル送信用の文書を蓄積する

1. 原稿をセットする

- 詳しくは、『取扱説明書（基本編）』の「原稿セットのしかた（ファクス / インターネット FAX のとき）」を参照してください。

2. <ファクス>を押す

3. ［詳細設定］を押す

4. ［特殊通信］を押す

5. ［ファイル送信］を押す

6. ［ファイル蓄積］を押す

- ファイル送信用の文書がメモリーに蓄積されます。

■ファイル送信用の文書を送信する

1. **<ファクス>を押す**

2. **[詳細設定]を押す**

3. **[特殊通信]を押す**

4. **[ファイル送信]を押す**

5. **[ファイル送信]を押す**

6. **宛先を設定する**

● 「宛先を指定する」(p.18)を参照してください。

7. **<スタート>を押す**

ファイル送信が開始されます。

■ファイル送信用の文書を削除する

1. **<ファクス>を押す**

2. **[詳細設定]を押す**

3. **[特殊通信]を押す**

4. **[ファイル送信]を押す**

5. **[ファイル消去]を押す**

- ファイル送信用の文書がメモリーから削除されます。

- 「ファイル送信用の文書を送信する」(p.74)でファイル送信を指示すると、その通信は通信予約ファイルとして扱われます。
  通信予約ファイルが再ダイヤル待ちとなった場合、その通信を取り消すには、通信予約ファイルを削除する必要があります。
  「通信予約ファイルを削除する[通信予約の消去]」(p.190)を参照してください。

■ファイル送信用の文書を印刷する

1. <ファクス>を押す

2. [詳細設定] を押す

3. [特殊通信] を押す

4. [ファイル送信] を押す

5. [ファイルプリント] を押す

- ファイル送信用の文書が印刷されます。

F コード(サブアドレス)を使って通信をする[F コード通信]

F コード(サブアドレス)を使った通信について説明します。

F コード機能をもつファクス間では、メーカーが異なる場合も、親展通信などの機密事項を保持した通信ができます。ここでは、F コードの概要、[特殊通信]の[F コード通信]を使った F コード送信の操作について説明します。

■F コードとは

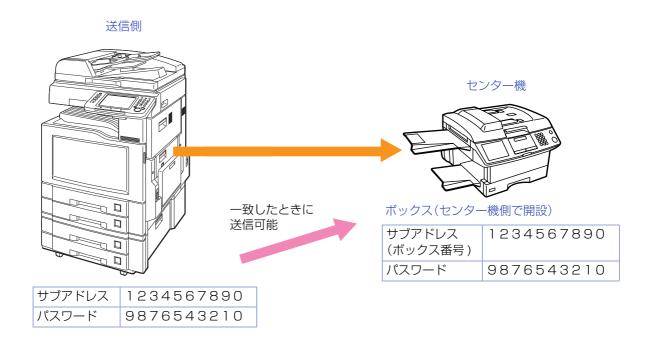
F コードとは、ITU-T で規定された T30 通信手順 (SUB、SEP、PWD)のことです。

- F コード機能をもつファクス間では、メーカーが異なる場合も、親展通信などの機密事項を保持した通信ができます。
- F コードを使って通信をするためには、ファクスのネットワーク上にメモリー機能をもつセンター機が必要です。詳細は、サービス実施会社にお問い合わせください。
- F コード通信では、送信側と受信側であらかじめ、F コードの使いかた(サブアドレス 20 桁まで、パスワード 20 桁までなど)を決めておく必要があります。
- 本機では、[詳細設定]の[特殊通信]の[F コード 送信]で、F コードを使った送信ができます。

お知らせ

●ITU-T:国際電気通信連合のことです。

●T30 :通信の規格のことです。

❑ F コードを使った送信例

■F コード通信の操作

お知らせ

- この機能は、オンフックダイヤルでは使えません。
（オンフックダイヤルについては、「相手と電話機で話してから送信する［手動送信］」（p.30）を参照してください。）
- あらかじめ、受信側と F コードの使いかたについて決めておいてください。

1. 原稿をセットする

- 詳しくは、『取扱説明書（基本編）』の「原稿セットのしかた（ファクス / インターネット FAX のとき）」を参照してください。

2. <ファクス>を押す

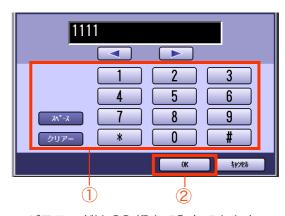
3. ［詳細設定］を押す

4. ［特殊通信］を押す

5. ［F コード通信］を押す

6. F コード(サブアドレス)を入力し、［OK］を押す

- F コード(サブアドレス)は 20 桁まで入力できます。
- 誤って入力した場合は、画面内の［クリアー］を押すと、1 文字ずつ削除できます。

7. パスワードを入力し、［OK］を押す

- パスワードは 20 桁まで入力できます。
- パスワードが不要な場合は、何も入力しないで［OK］を押します。
- 誤って入力した場合は、画面内の［クリアー］を押すと、1 文字ずつ削除できます。

8. ［画質設定］などの機能を設定する

- 「画質を設定する［画質設定］」（p.31）を参照してください。

＜次ページへ続く＞

9. 宛先を設定する

- アドレス帳を利用するときは、電話番号が登録されている宛先だけ指定できます。
- 「宛先を指定する」(p.18)を参照してください。

10. <スタート>を押す

F コード通信が開始されます。

受信側で複数部数印刷させる［マルチコピー通信］

受信側で印刷する部数を指定して送信できます。
マルチコピー送信をする場合は、次の手順で操作します。

お知らせ

●この機能は、相手機が限定されます。詳しくは、サービス実施会社にお問い合わせください。

●送信できる相手は、マルチコピー通信機能をもつ相手機だけです。

●マルチコピー通信は、アドレス帳の登録時に部数を設定できます。アドレス帳で部数が登録されている場合、印刷部数の設定は不要となります。「マルチコピー通信部数を登録する」(p.209)を参照してください。

1. 原稿をセットする

● 詳しくは、『取扱説明書（基本編）』の「原稿セットのしかた（ファクス / インターネット FAX のとき）」を参照してください。

2. <ファクス>を押す

3. [詳細設定] を押す

4. [特殊通信] を押す

5. [マルチコピー通信] を押す

6. 受信側で印刷する部数（2 桁まで）を入力し、[OK] を押す

● 部数は 2 桁（01 ～ 99）まで入力できます。

● 誤って入力した場合は、画面内の [クリアー] を押すと、1 文字ずつ削除できます。

● アドレス帳にマルチコピー通信の部数が登録されている場合は、部数を入力する必要はありません。部数を入力せずに（「1」のままで）、[OK] を押します。
なお、アドレス帳に登録されている部数を変更したいときは、ここで部数を入力します。

● 複数の宛先を指定をする場合は、次のように設定してください。

・ アドレス帳で登録されているマルチコピー通信の部数を有効にする場合
部数を入力せずに（「1」のまま）[OK] を押します。

・ 一括して部数を変更する場合
ここで部数を入力します。

7. [画質設定]などの機能を設定する

- 「画質を設定する[画質設定]」(p.31)を参照してください。

8. 宛先を設定する

- アドレス帳を利用するときは、電話番号が登録されている宛先だけ指定できます。
- 「宛先を指定する」(p.18)を参照してください。

9. <スタート>を押す

マルチコピー通信が開始されます。

ファクシミリ通信網を利用する [F 網通信]

NTT コミュニケーションズが提供するファクシミリ通信網(F 網)を利用して通信できます。
ファクシミリ通信網を利用する場合は、次の手順で操作します。

お知らせ

- ファクシミリ通信網サービスとは、NTT コミュニケーションズが提供するファクス通信専用のサービスです。同報通信、再コール、一斉受信などの機能を利用できます。
- ファクシミリ通信網を利用する場合は、NTT コミュニケーションズとの契約が必要です。詳しくは、最寄りの NTT コミュニケーションズにお問い合わせください。

1. 原稿をセットする

- 詳しくは、『取扱説明書(基本編)』の「原稿セットのしかた(ファクス / インターネット FAX のとき)」を参照してください。

2. <ファクス>を押す

3. [詳細設定] を押す

4. [特殊通信] を押す

5. [F 網通信] を押す

6. [画質設定] などの機能を設定する

- 「画質を設定する [画質設定]」(p.31)を参照してください。

7. 宛先を設定する

- アドレス帳を利用するときは、電話番号が登録されている宛先だけ指定できます。
- 「宛先を指定する」(p.18)を参照してください。
- 10 宛先まで指定できます。

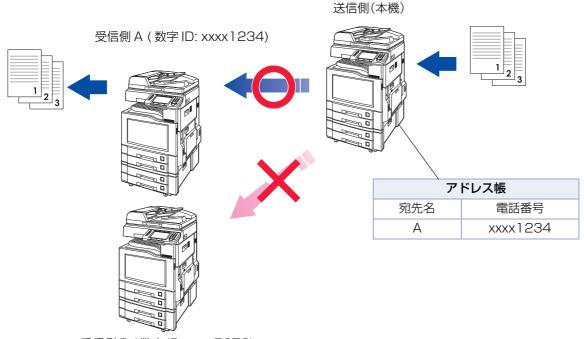
8. <スタート>を押す

F 網通信が開始されます。

誤送信を防止する[セレクト送信]

セレクト送信とは、本機のアドレス帳に登録されている相手にだけ送信する機能です。

アドレス帳に登録されている電話番号の下４桁と、受信側から送られてきた数字 ID の下４桁を照合し、一致したときにだけ送信が開始されます。

誤って別の相手に送信するなどの、誤送信を防止できます。

セレクト送信をする場合は、次ページの手順で操作します。

お知らせ

●セレクト送信する宛先は、あらかじめアドレス帳に登録しておいてください。「アドレス帳に電話番号を登録する」(p.203)を参照してください。
アドレス帳に登録されていない場合、セレクト送信できません。

●受信側の数字IDには、電話番号を登録するように依頼してください。電話番号以外が設定されている場合、数字 ID が登録されていない場合、登録できない機種の場合は、セレクト送信できません。

●セレクト送信は、ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]＞[04 キーオペレーター専用]＞[01 システムの登録]＞[45 セレクト送信]で初期値を変更できます。
[あり]に設定しておくと、タッチパネルディスプレイのメッセージ欄に「セレクト送信設定中です」というメッセージが点滅表示し、本機は、常時セレクト送信の状態になります。
この場合は、次ページの手順 6 で[オフ]を選択すると、セレクト送信を一時的に解除できます。

●手動送信時、オンフックダイヤル時は、セレクト送信が解除されます。

●手動送信で電話番号を入力して送信する場合でも、入力する電話番号がアドレス帳に登録されている相手にはセレクト送信されます。

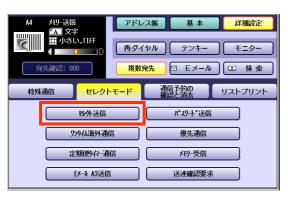
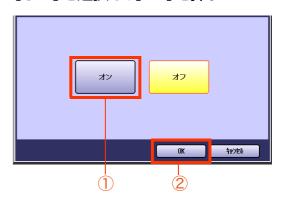
1. 原稿をセットする

● 詳しくは、『取扱説明書（基本編）』の「原稿セットのしかた（ファクス / インターネット FAX のとき）」を参照してください。

2. <ファクス>を押す

3. [詳細設定] を押す

4. [セレクトモード] を押す

5. [セレクト送信] を押す

6. [オン] を選択し、[OK] を押す

7. [画質設定] などの機能を設定する

● 「画質を設定する [画質設定]」(p.31) を参照してください。

8. 宛先を設定する

● 「宛先を指定する」(p.18) を参照してください。

9. <スタート>を押す

セレクト送信が開始されます。受信側の数字 ID と本機のアドレス帳が照合され、一致したときだけ送信が開始されます。

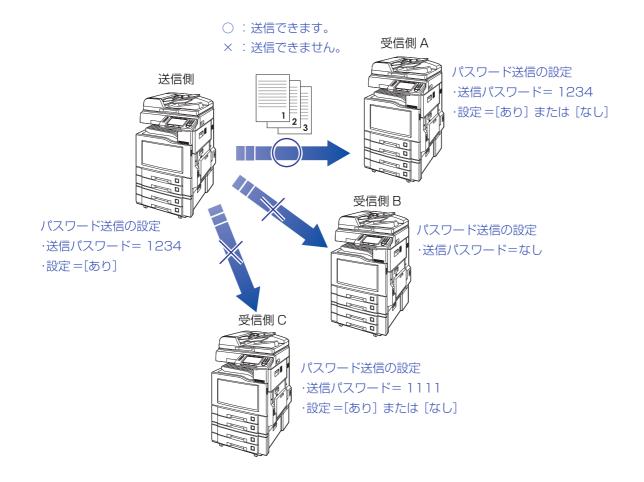
パスワードを使って送信する［パスワード送信］

■パスワード送信とは

パスワード送信とは、送信側と受信側の送信パスワードが一致した場合にだけ、原稿を送信する機能のことです。送信側と受信側の送信パスワードが異なる場合は、通信エラーとなります。

この機能を使うと、ほかの相手への誤送信を防止できます。

お知らせ

●お買い上げ時は、[パスワード送信] ボタンは無効です。パスワード送信機能を使いたい場合は、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]＞[04 キーオペレーター専用]＞[01 システムの登録]＞[43 パスワード送信]で、パスワードを設定する必要があります。
詳しくは、「ファンクション設定を変更する(パスワード送信)」(p.89)を参照してください。

お知らせ

●この機能は、相手機が限定されます。詳しくは、サービス実施会社にお問い合わせください。

●送信側のパスワード送信の設定が[なし]の場合は、パスワードが設定されていても、パスワード送信の機能がはたらかず、通常の送信になります。

●パスワード受信の機能が設定されている場合は、受信パスワードも照合されます。パスワード受信については、「パスワード受信」(p.112)を参照してください。

■パスワード送信をする

パスワード送信をする場合は、次の手順で操作します。

お願い

●パスワード送信機能を使いたい場合は、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]＞[04 キーオペレーター専用]＞[01 システムの登録]＞[43 パスワード送信]でパスワードを登録する必要があります。詳しくは、「ファンクション設定を変更する(パスワード送信)」(p.89)を参照してください。

●ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]＞[04 キーオペレーター専用]＞[01 システムの登録]＞[43 パスワード送信]が[あり]の場合は、常にパスワード送信をするように設定されています。

1. 原稿をセットする

- 詳しくは、『取扱説明書(基本編)』の「原稿セットのしかた(ファクス / インターネット FAX のとき)」を参照してください。

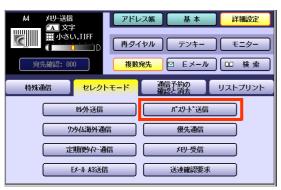
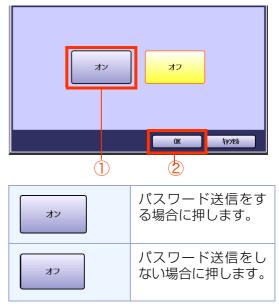
2. <ファクス>を押す

3. [詳細設定]を押す

4. [セレクトモード]を押す

5. [パスワード送信]を押す

6. [オン]を選択し、[OK]を押す

オン	パスワード送信をする場合に押します。
オフ	パスワード送信をしない場合に押します。

7. [画質設定]などの機能を設定する

- 「画質を設定する[画質設定]」(p.31)を参照してください。

8. 宛先を設定する

- E メールアドレスが登録されている宛先では、パスワード送信が無効となります。
- 「宛先を指定する」(p.18)を参照してください。

9. <スタート>を押す

パスワード送信が開始されます。

- パスワードが一致しない場合は、通信エラーとなります。

■ファンクション設定を変更する(パスワード送信)

ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]＞[04 キーオペレーター専用]＞[01 システムの登録]＞[43 パスワード送信]の設定により、パスワード送信は次表のように動作します。

設定	説明
送信パスワード　登録なし	パスワード送信の機能は、はたらきません。
送信パスワードを登録し、パスワード送信を[なし]に設定	[詳細設定]の[パスワード送信]ボタンを押し、パスワード送信を[あり]に設定した場合に、パスワード送信の機能がはたらきます。 送信側と受信側の送信パスワードが一致した場合にだけ送信できます。 お知らせ ● 送信側、受信側ともに送信パスワードの登録が必要です。
送信パスワードを登録し、パスワード送信を[あり]に設定	[詳細設定]の[パスワード送信]ボタンを操作することなく、パスワード送信の機能がはたらきます。「パスワード送信をする」(p.88)を参照してください。 送信側と受信側の送信パスワードが一致した場合にだけ送信できます。 お知らせ ● 送信側、受信側ともに送信パスワードの登録が必要です。

ファンクション設定で、パスワード送信の設定を変更する場合は、次の手順で操作します。

お知らせ

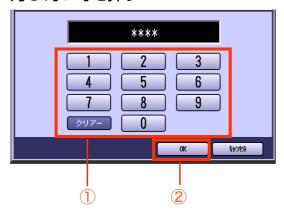
●あらかじめ、受信側とパスワード(4 桁)を決めておいてください。

1. <ファンクション>を押す

2. [ファクス /E メール機能設定]を押す

3. [04 キーオペレーター専用]を押す

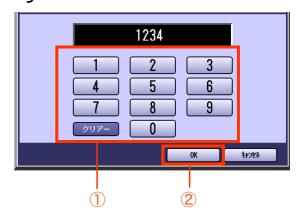
＜次ページへ続く＞

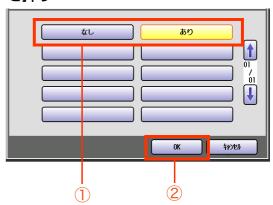
4. キーオペレーターのパスワードを入力し、[OK]を押す

- 誤って入力したときは、[クリアー]を押して修正します。

5. [01 システムの登録]を押す

6. [40-79]を押す

7. [43 パスワード送信]を押す

8. パスワード(4 桁)を入力し、[OK]を押す

- 誤って入力したときは、[クリアー]を押して修正します。

9. [あり]、または[なし]を選択し、[OK]を押す

あり	常にパスワード送信をする場合に押します。[あり]を選択すると、タッチパネルディスプレイ上部に「パスワード送信設定中です」というメッセージが表示されます。
なし	[詳細設定]の[パスワード送信]ボタンを使い、必要に応じてパスワード送信を設定する場合に押します。

- 操作が終了したら、**<リセット>**を押すと、待機画面に戻ります。
- [詳細設定]の[パスワード送信]を使って、送信時にパスワード送信の設定を変更できます。「パスワード送信をする」(p.88)を参照してください。

伝送速度を落として通信する［ワンタイム海外通信］

ワンタイム海外通信とは、通信エラーがおきないように伝送速度を落とし、ゆっくりとしたスピードで通信する機能です。回線環境などが原因で通信エラーが発生しやすい相手に送信する場合に利用します。

（伝送速度‥‥通信をする速さのことです。）

ワンタイム海外通信を使って送信をする場合は、次の手順で操作します。

1. 原稿をセットする

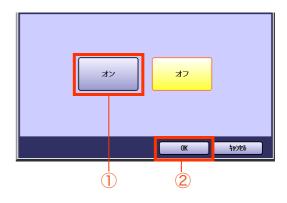
- 詳しくは、『取扱説明書（基本編）』の「原稿セットのしかた（ファクス / インターネット FAX のとき）」を参照してください。

2. <ファクス>を押す

3. ［詳細設定］を押す

4. ［セレクトモード］を押す

5. ［ワンタイム海外通信］を押す

6. ［オン］を選択し、［OK］を押す

7. ［画質設定］などの機能を設定する

- 「画質を設定する［画質設定］」（p.31）を参照してください。

8. 宛先を設定する

- 「宛先を指定する」（p.18）を参照してください。

9. <スタート>を押す

- ワンタイム海外通信が設定され、送信が開始されます。

急ぎの原稿を通信する [優先通信]

優先通信とは、複数の通信予約ファイルがメモリーに蓄積されているときに、急ぎの文書を他の通信より優先させる機能です。

通信中の通信の次に割り込んで通信できます。

1. 原稿をセットする

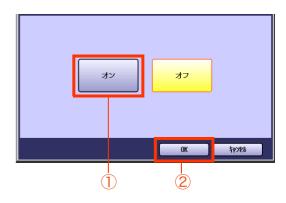
- 詳しくは、『取扱説明書(基本編)』の「原稿セットのしかた(ファクス / インターネット FAX のとき)」を参照してください。

2. <ファクス>を押す

3. [詳細設定]を押す

4. [セレクトモード]を押す

5. [優先通信]を押す

6. [オン]を選択し、[OK]を押す

7. [画質設定]などの機能を設定する

- 「画質を設定する[画質設定]」(p.31)を参照してください。

8. 宛先を設定する

- 「宛先を指定する」(p.18)を参照してください。

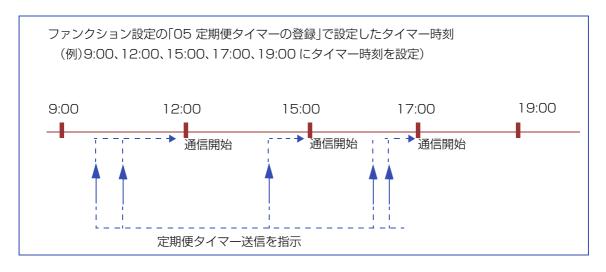
9. <スタート>を押す

- 優先通信が設定され、通信中の通信が終了すると、通信が開始されます。

時間を決めて通信する[定期便タイマー通信]

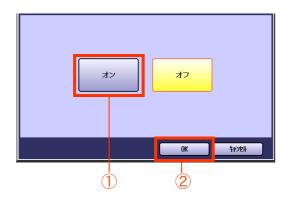
定期便タイマー通信とは、ファンクション設定で設定されているタイマー時刻になると、定期便タイマー通信を設定した通信予約ファイルをまとめて通信する機能です。

通信費用の安い時間帯に定期便タイマーを設定しておくと、通信コストを削減できます。

- タイマー時刻は、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]＞[04 キーオペレーター専用]＞[00 自局情報の登録]＞[05 定期便タイマーの登録]で 5 種類まで設定できます。『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4 章　ファクス /E メール機能設定」の「設定例 : 定期便タイマーの登録」を参照してください。
- 設定されているタイマー時刻のうち、定期便タイマー送信を設定した時刻に最も近いタイマー時刻に送信されます。

1. **原稿をセットする**
   - 詳しくは、『取扱説明書(基本編)』の「原稿セットのしかた(ファクス / インターネット FAX のとき)」を参照してください。
2. **<ファクス>を押す**
3. **[詳細設定]を押す**

4. **[セレクトモード]を押す**

5. **[定期便タイマー通信]を押す**

6. **[オン]を選択し、[OK]を押す**

7. **[画質設定]などの機能を設定する**

- 「画質を設定する[画質設定]」(p.31)を参照してください。

8. **宛先を設定する**

- 「宛先を指定する」(p.18)を参照してください。

9. **<スタート>を押す**

- 定期便タイマー通信が設定されます。
  最も近い定期便タイマー時刻になると、通信が開始されます。
- 定期便タイマー通信を設定した通信予約ファイルを削除する場合は、「通信予約ファイルを削除する[通信予約の消去]」(p.190)を参照してください。

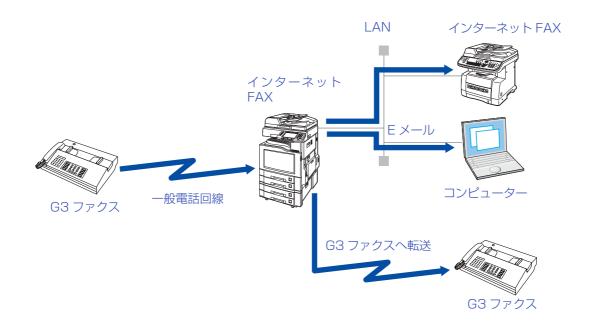
ルーティング機能を使う

■ルーティングとは

一般の電話回線のファクスから受信した文書を、ネットワークに接続したコンピューターやインターネットFAX、一般の電話回線のファクスに転送できます。

転送先は、送信側のサブアドレス／送信側の数字 ID ／送信側の発番号／ダイヤルイン番号で指定できます。

お知らせ

- ●この機能は、オプションのインターネット FAX ユニット（DA-NF320）を装着している場合にだけ使えます。
- ●ルーティングに対応するファクスについて、詳しくはサービス実施会社にお問い合わせください。
- ●サブアドレスを使用できないファクスの場合は、数字 ID、送信側の発番号、およびダイヤルイン番号によるルーティング機能が使えます。

■ルーティングに必要な設定の流れ

ルーティング機能を使う場合は、ルーティングの種類に応じたファンクション設定と、アドレス帳の設定が必要です。

ファンクション設定で、必要な項目を[あり]に設定する

・F コード(サブアドレス)を使うとき. . . . .[152 SUB ルーティング]を[あり]
・数字 ID を使うとき . . . .[153 数字 ID ルーティング]を[あり]
・発信者番号通知 (ナンバーディスプレイ)サービスを契約しているとき
. . . .[175 発番号 ルーティング]を[あり]
・ダイヤルインサービスを利用されているとき
. . . .[176 ダイヤルインルーティング]を[あり]

お知らせ
●「ルーティングに必要なファンクション設定」(p.98)を参照してください。

↓

アドレス帳に転送先を登録する

・転送先にインターネット FAX やコンピューターを設定する
↓
アドレス帳に転送先のメールアドレスを登録

・転送先に一般のファクスを設定する
↓
アドレス帳に転送先の電話番号を登録

■ルーティングに必要なファンクション設定

ルーティング機能を使う場合は、ルーティングのしかたに応じ、ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]＞[04 キーオペレーター専用]＞[01 システムの登録]で、次の項目を設定します。

ルーティングのしかた	説明	ファンクション設定
F コード〔サブアドレス〕を使ったルーティング	F コード通信が利用できる G3 ファクスから、F コード(サブアドレス)を使ってルーティングする場合に設定します。 送信側の G3 ファクスから送られる F コード(サブアドレス)で、本機に登録されている宛先にルーティングできます。	[152 SUB ルーティング]を[あり]に設定
送信側ファクスの数字 ID を使ったルーティング	数字 ID を利用してルーティングする場合に設定します。 送信側のファクスから送られてくる数字IDで、本機に登録されている宛先にルーティングできます。	[153 数字 ID ルーティング]を[あり]に設定
送信側 G3 ファクスから送られる発信者番号を使ったルーティング	送信側のG3ファクスから送られる発信者番号を使ってルーティングする場合に設定します。 送信側の G3 ファクスから送られる発信者番号で、本機に登録されている宛先にルーティングできます。	[175 発番号ルーティング]を[あり]に設定
送信側 G3 ファクスから送られるダイヤルイン番号を使ったルーティング	送信側のG3ファクスから送られるダイヤルイン番号を使ってルーティングする場合に設定します。 送信側のG3ファクスから送られるダイヤルイン番号で、本機に登録されている宛先にルーティングできます。	[176 ダイヤルインルーティング]を[あり]に設定し、ダイヤルイン番号を登録
From 欄を設定したいとき	ルーティングで、E メールを送信するときの From 欄の内容を選びます。 ・中継局......ルーティングする本機のメールアドレスが表示されます。 ・指示局......発信者の数字 ID が表示されます。	[154 ルーティング時 FROM]を設定
受信した原稿の印刷を設定したいとき	受信文書をすべて本機で印刷するか、ルーティング操作が機能しなかった場合だけ印刷するかを選択します。 ・異常時......送信できなかった場合だけ受信文書が印刷されます。 ・全通信......送信できた場合、送信できなかった場合、どちらの場合も受信文書が印刷されます。	[155 ルーティング時出力]を設定

お知らせ

- ファンクション設定の操作については、『取扱説明書〔ファンクション設定編〕』の「4 章 ファクス/E メール機能設定」を参照してください。
- 発信者番号通知・ダイヤルインサービスはあらかじめ NTT との契約が必要です。本サービスの詳細については、NTT にお問い合わせください。
- NCC 回線(NTT 以外の電話回線)をご利用の場合は、NCC 各社でサービス内容が異なります。発信者番号通知、ダイヤルインサービスの詳細については、ご契約の NCC にお問い合わせください。

■ルーティングに必要なアドレス帳の設定

ルーティング機能を使う場合は、転送先をアドレス帳に設定します。

ここでは、アドレスにルーティング機能を設定する操作を、メールアドレスを登録する場合の手順で説明しています。アドレス帳に電話番号を登録する場合も、ルーティングの設定操作は同じです。説明を適宜、読み替えてください。

お知らせ

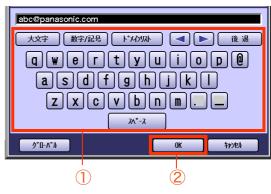
- アドレス帳に電話番号を登録する場合は、「アドレス帳に電話番号を登録する」(p.203)を参照してください。
- アドレス帳に数字IDによるルーティングを設定する場合は、送信側のファクスに登録されている数字IDと同じ数字を登録してください。

1. **<ファンクション>を押す**

2. **[ファクス /E メール機能設定] を押す**

3. **[00 アドレス帳登録] を押す**

4. **[02 アドレス帳登録(E メール)] を押す**

5. **メールアドレスを入力し、[OK] を押す**

- メールアドレスは60文字まで入力できます。
- 「メールアドレスを入力する」(p.134)を参照してください。

6. **宛先名を入力し、[OK] を押す**

- 宛先名は、20 文字まで入力できます。
- 文字入力のしかたは、『取扱説明書(基本編)』の「文字入力のしかた」を参照してください。

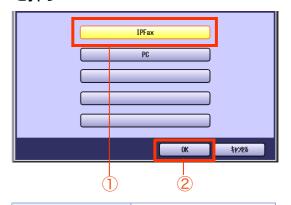
＜次ページへ続く＞

7. ボタン名を入力し、[OK]を押す

- ボタン名は、10 文字まで入力できます。

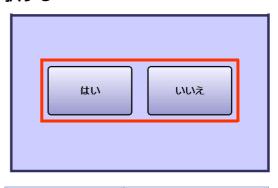
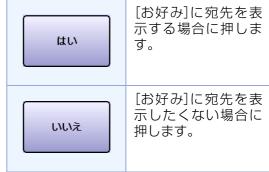
8. 検索文字を入力して、[OK]を押す

- 検索文字は、10 文字まで入力できます。
- 検索文字は、アドレス帳で宛先を検索するときに使う文字です([あ]〜[ら/わ]の仕分けにも使われます)。宛先名のフリガナなどをカタカナで入力します。
- 英数字を入力すると、アドレス帳画面の「あ」行に表示されます。
  ただし、英数字は検索文字としては使用できません。

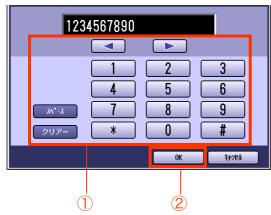
9. [IPFax]または[PC]を選択し、[OK]を押す

IPFax	送信先がインターネット FAX の場合に選択します。
PC	送信先がコンピューターの場合に選択します。

- 登録するメールアドレスを、スキャン /E メール機能でも使う場合は、[PC]を選択します。

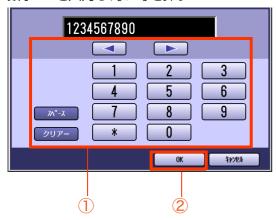
10. [お好み]に宛先を表示するかどうか選択する

はい	[お好み]に宛先を表示する場合に押します。
いいえ	[お好み]に宛先を表示したくない場合に押します。

11. **ルーティングの設定により、次のいずれかの操作をする**

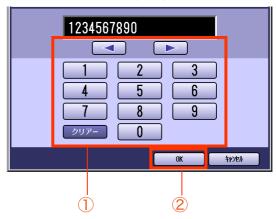
❑ F コード(サブアドレス)を利用してルーティングするとき

F コード(サブアドレス)を入力し、[OK]を押す

- この画面は、ファンクション設定の[ファクス/E メール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]>[152 SUB ルーティング]が [あり]に設定されている場合に表示されます。

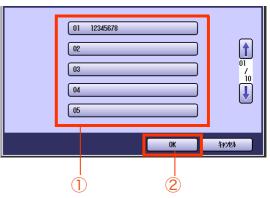
❑ 数字IDを利用してルーティングするとき

数字 ID を入力し、[OK]を押す

- この画面は、ファンクション設定の[ファクス/E メール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]>[153 数字 ID ルーティング]が [あり]に設定されている場合に表示されます。

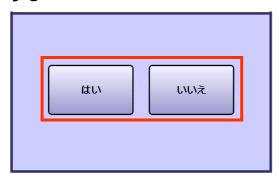
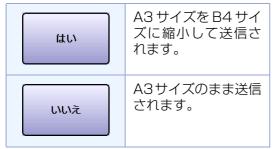
❑ 発信者番号を利用してルーティングするとき

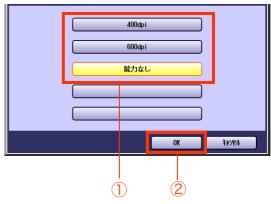
発信者番号を入力し、[OK]を押す

- この画面は、ファンクション設定の[ファクス/E メール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]>[175 発番号ルーティング]が [あり]に設定されている場合に表示されます。

❑ ダイヤルイン番号を利用してルーティングするとき

ダイヤルインの番号を選択し、[OK]を押す

- この画面は、ファンクション設定の[ファクス/E メール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]>[176 ダイヤルインルーティング]が [あり]に設定され、ダイヤルイン番号が登録されている場合に表示されます。

12. 手順 9 で[IPFax]を選択した場合：
A3 サイズの原稿を送信するときに B4 サイズに縮小するかどうかを選択する

はい	A3 サイズを B4 サイズに縮小して送信されます。
いいえ	A3サイズのまま送信されます。

● 相手機の能力に合わせて設定します。

13. 手順 9 で[IPFax]を選択した場合：
相手側の能力を設定し、[OK]を押す

400dpi	受信側が 400dpi で受信できる場合に押します。
600dpi	受信側が 600dpi で受信できる場合に押します。
能力なし	600dpi、400dpi どちらも受信できない場合に押します。

● 相手機の能力に合わせて設定します。

メールアドレスが アドレス帳に登録されます。

● アドレス帳に次の宛先を登録するときは、手順 5 からの操作を繰り返してください。
● 操作が終了したら、**<リセット>**を押すと、待機画面に戻ります。

4章
受信について

この章では、受信のしかた、便利な受信のしかたについて説明しています。

受信のしかた

本機のファクス受信のしかたには、次の 2 種類があります。
これらは、ファンクション設定で設定を変更できます。本機をお使いの状況に合わせて設定してください。
お買い上げ時は、自動受信に設定されています。

❑ 自動受信

着信すると、自動的にファクス受信を開始する方法です。

「自動受信」(本ページ)を参照してください。

❑ 手動受信

着信したら、手動で外部電話機の受話器を上げ、相手がファクスか通話かを確認してからファクス受信を開始する方法です。「ポー‥ポー‥」という音が聞こえたら、**<スタート>**を押します。

手動受信するにはファンクション設定の変更が必要です。

「手動受信」(p.105)を参照してください。

■自動受信

自動的にファクス受信をする方法です。
電話回線をファクス専用で使う場合はこの設定が便利です。

- ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]＞[04 キーオペレーター専用]＞[01 システムの登録]＞[17 受信モード]を[Fax専用]に設定しておきます。なお、お買い上げ時は、[Fax専用]に設定されています。
- 着信すると、自動的にファクス受信が開始されます。

■手動受信

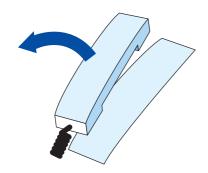
<スタート>を押してからファクス受信をする方法です。

外部電話機を接続している場合で、電話回線を通話に使うことが多いときは、この設定が便利です。

手動受信するには、ファンクション設定の変更が必要です。

お知らせ

- 外部電話機とは
  本機の背面には、「外部電話」接続口があります。ここに一般の電話機を接続すると、1 本の電話回線をファクスと通話の両方に使うことができます。接続については、『取扱説明書(セットアップ編)』の「セットアップの概要」を参照してください。
- ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]＞[04 キーオペレーター専用]＞[01 システムの登録]＞[17 受信モード]を[手動]に設定しておきます。なお、お買い上げ時は、[Fax 専用]に設定されています。
- 着信すると、呼び出し音が鳴り続けます。
  呼び出し音の音量は、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]＞[04 キーオペレーター専用]＞[01 システムの登録]＞[86 呼出音量]で変更できます。『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。お買い上げ時は、[音量小]に設定されています。
  なお、[86 呼出音量]が[なし]に設定されている場合は、呼び出し音が鳴りません。手動受信をする場合は、[86 呼出音量]を[なし]以外に設定してください。
- 親切受信
  ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]＞[04 キーオペレーター専用]＞[01 システムの登録]＞[71 親切受信]を[あり]に設定しておくと、相手がファクスの場合に受話器を持ち上げるだけで受信を開始できます。
  お買い上げ時は、[なし]に設定されています。

1. 呼び出し音が鳴ったら、外部電話機の受話器を持ち上げる

2. ADF または原稿台ガラスに原稿がセットされている場合は、取り除く

- 原稿台ガラスから原稿を取り除くときは、ADF を大きく開けて取り除いてください。開き方が不十分な場合、機器の特性上、原稿が残っていると誤認識することがあります。

3. 「ポー‥ポー‥」という音が聞こえたら、操作パネルの **<スタート>**を押す

4. 受話器を戻す

- **<スタート>**を押す前に受話器を戻すと、回線が切れます。

受信時の印刷について

受信した文書は、文書の長さに応じて自動的に縮小して印刷されます。

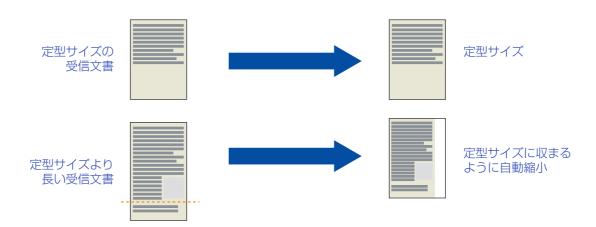
また、ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]>[67 受信 2 イン 1/ 両面機能]が設定されている場合は、設定に応じて印刷されます。

■縮小受信

本機では、受信文書はその幅に応じて、定型サイズ(A4 や B4 サイズなど)の用紙に印刷されます。

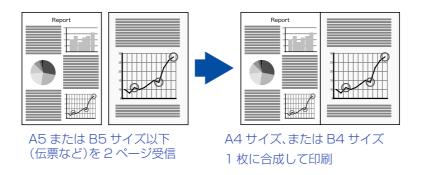
このとき、受信文書の長さが定型サイズより少しでも長いと、2 ページ目として、ほとんど白紙のページが排出されることがあります。

このようなページの印刷を防止するため、本機には受信した画像を縮小して印刷する機能が搭載されています。

受信文書の長さに応じ、用紙に収まるように、70 〜 100%(1%きざみ)で自動縮小して印刷されます。

お知らせ

- 長尺原稿(受信文書の長さが、定型サイズより 39%以上長い原稿)を受信すると、ページが分割され、複数枚に印刷されます。
ページ分割時は、1 枚目の下端 10mm と、2 枚目の上端 10mm が重なるようにして印刷されます。
この場合、分割した最後の用紙に「このページは、分割記録されました」と記載されます。

■2 イン 1 印刷

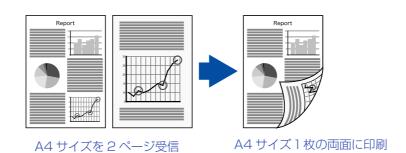
ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]＞[04 キーオペレーター専用]＞[01 システムの登録]＞[67 受信 2 イン 1/ 両面機能]が[2 イン 1]に設定されている場合、受信文書は用紙の片面に 2 ページずつ印刷されます。

A5 または B5 サイズ以下
(伝票など)を 2 ページ受信

A4 サイズ、または B4 サイズ
1 枚に合成して印刷

お知らせ

- お買い上げ時は、[67 受信 2 イン 1/ 両面機能]が[2 イン 1]に設定されています。
  設定を変更する場合は、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。
- A5、B5の原稿を送る場合は、A5 サイズ、B5 サイズではなく、ファクスの特性上、A4 幅の不定形サイズの原稿として送信しています。このような原稿を受信した場合、本機では、2 イン 1 印刷されません。
- ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]＞[04 キーオペレーター専用]＞[01 システムの登録]＞[09 受信時刻印字]が[あり]に設定されている場合は、受信した原稿の外側に時刻が印刷されるため、2 イン 1 印刷できないことがあります。

■両面印刷

ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]＞[04 キーオペレーター専用]＞[01 システムの登録]＞[67 受信 2 イン 1/ 両面機能]が[両面]に設定されている場合、受信文書は用紙の両面に印刷されます。

A4 サイズを 2 ページ受信

A4 サイズ 1 枚の両面に印刷

お知らせ

- お買い上げ時は、[67 受信 2 イン 1/ 両面機能]が[2 イン 1]に設定されています。
  設定を変更する場合は、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。

■マルチプリント部数

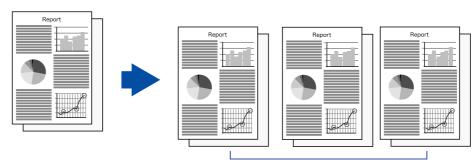
ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]＞[04 キーオペレーター専用]＞[01 システムの登録]＞[101 マルチプリント部数]が、[全受信]または[アドレス帳]に設定されている場合、受信文書は設定されている部数分が印刷されます。

● [全受信]に設定されている場合

受信文書は、すべて設定されている部数が印刷されます。

● [アドレス帳]に設定されている場合

送信元の宛先がアドレス帳に登録されている場合にだけ、アドレス帳に登録されている部数に従って、文書が印刷されます。「マルチプリント部数を登録する」(p.209)を参照してください。

送信元に数字 ID が登録されていない場合、マルチプリント部数の設定は無効になります。

お知らせ

●お買い上げ時は、[101 マルチプリント部数]が[なし]に設定されています。
マルチプリント部数を設定する場合は、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。

メモリー代行受信について

用紙がなくなった、トナーがなくなった、用紙がつまっているなどで、受信文書を印刷できない場合は、自動的にメモリーに受信文書が蓄積されます。この機能をメモリー代行受信と呼びます。

受信文書がメモリーに蓄積されると、タッチパネルディスプレイに「受信データが残っています」のメッセージが表示されます。

メモリー代行受信で蓄積された受信文書は、なくなっている用紙やトナーを補給したり、用紙づまりの対処をすると、自動的に印刷されます。

メモリー代行受信によって受信文書が蓄積されているとき

お知らせ

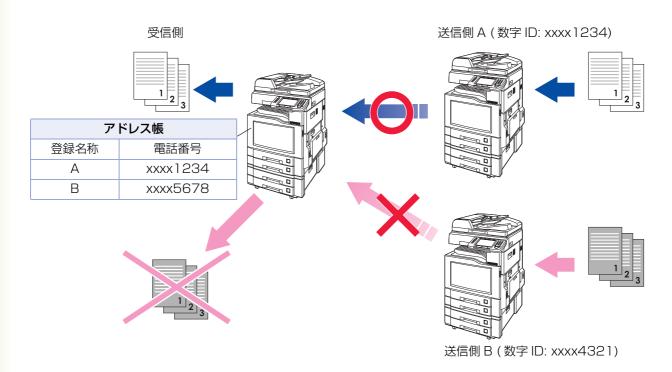
- メモリー容量には制限があります。用紙やトナーは、早めに補充してください。
- 用紙切れの場合、手差しトレイに用紙を補充しても、受信文書は印刷できません。
- 受信した文書と同じサイズの用紙がない場合には、他のサイズの用紙に印刷されます。
  他のサイズの用紙に印刷したくない場合には、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]＞[04 キーオペレーター専用]＞[01 システムの登録]＞[66 代行出力]を[なし]に設定してください。

便利な受信機能

本機には、次のような便利な受信機能があります。必要に応じて設定してお使いください。

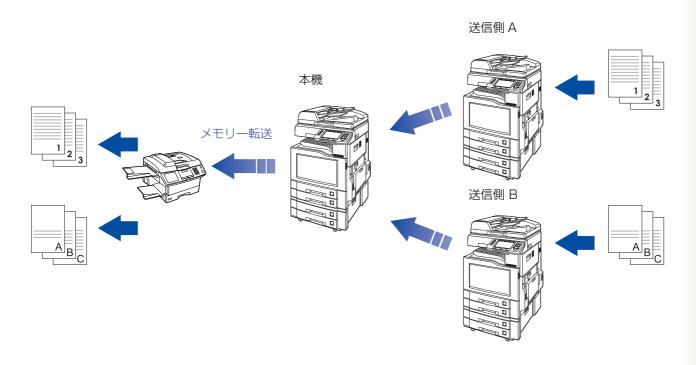
■セレクト受信

セレクト受信とは、アドレス帳に登録されている宛先からだけ受信する機能のことです。

- ダイレクトメール系のファクスや、迷惑ファクスなどを受信したくない場合に設定しておくと便利です。
- アドレス帳に登録されている電話番号の下４桁と、送信元の数字 ID の下４桁を照合し、一致したときだけ受信を開始します。
- 数字IDとは、ファクスの電話番号のことです。本機の場合、ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]＞[04 キーオペレーター専用]＞[00 自局情報の登録]で登録します。
- セレクト受信は、ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]＞[04 キーオペレーター専用]＞[01 システムの登録]＞[46 セレクト受信]が[あり]に設定されている場合に機能します。

お知らせ

- お買い上げ時、ファンクション設定の[46　セレクト受信]は、[なし]に設定されています。セレクト受信機能を使いたい場合は、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。
- セレクト受信機能を使う場合、送信元となる宛先は、すべてアドレス帳に登録しておいてください。
  登録の操作については、「アドレス帳に電話番号を登録する」(p.203)を参照してください。
  アドレス帳に登録されていない場合、セレクト受信できません。
- 送信元に対し、数字 ID に電話番号(ファクスの電話番号)を必ず設定するよう依頼してください。
  電話番号以外が設定されている、数字 ID が登録されていないなどの場合は、セレクト受信できません。
- 本機からファクスを送信する場合、受信側がセレクト受信を設定している場合があります。このため、数字 ID は必ず登録しておいてください。

■メモリー転送

受信文書を、他のファクスやコンピューターに転送できます。夜間や休日に別の場所（自宅など）でファクスを受信したい場合に便利です。

お知らせ

●お買い上げ時、ファンクション設定の［ファクス /E メール機能設定］＞［04 キーオペレーター専用］＞［01 システムの登録］＞［54 メモリー転送］は、［なし］に設定されています。
メモリー転送機能を使いたい場合は、『取扱説明書（ファンクション設定編）』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。

●メモリー転送を設定している場合、転送先として設定している宛先の内容をアドレス帳で変更することはできません。アドレス帳の内容を変更したい場合は、次の手順で操作します。

1. ファンクション設定の［ファクス /E メール機能設定］＞［04 キーオペレーター専用］＞［01 システムの登録］＞［54 メモリー転送］を［なし］に変更する
2. アドレス帳の宛先を変更する
（アドレス帳の変更については「アドレス帳を変更する」(p.215)を参照してください。）
3. ファンクション設定の［ファクス /E メール機能設定］＞［04 キーオペレーター専用］＞［01 システムの登録］＞［54 メモリー転送］を［あり］に戻す

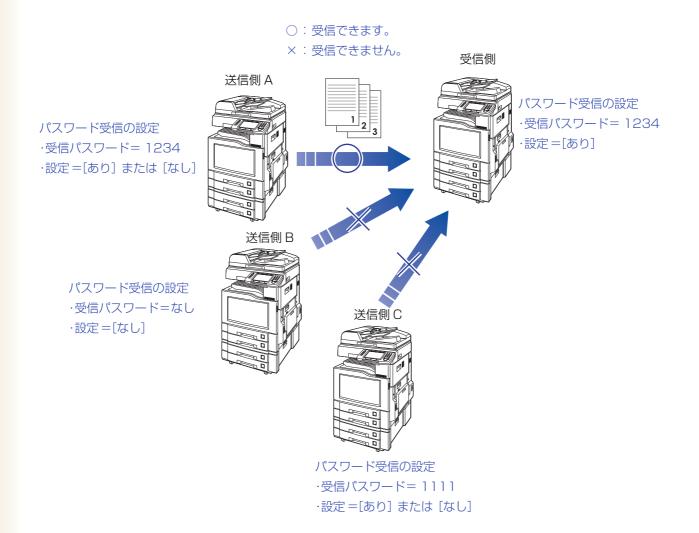
●メモリー転送時、転送先が話し中などで転送できないときは、転送は中止されます。受信文書は本機で印刷され、メモリーから削除されます。
これは、ファンクション設定の［ファクス/Eメール機能設定］＞［04 キーオペレーター専用］＞［01 システムの登録］＞［31 未通信ファイル保存］が［あり］に設定されていても同じです。
このような場合に、メモリーに受信原稿を蓄積したいときは、メモリー受信が便利です。詳しくは、「メモリー受信を設定する」(p.115)を参照してください。

●メモリー残量が 5% 以下の場合は、受信できません。

■パスワード受信

パスワード受信とは、送信側と受信側の受信パスワードが一致した場合にだけ、原稿を受信する機能のことです。

着信すると、お互いの受信パスワードが一致するかどうかをチェックし、一致する場合だけ受信が開始されます。パスワードが異なる場合は、通信エラーとなります。

この機能を使うと、受信パスワードが一致しない相手から送られてきたときは受信を拒否できます。

お知らせ

●この機能は、相手機が限定されます。詳しくは、サービス実施会社にお問い合わせください。

●お買い上げ時、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]＞[04 キーオペレーター専用]＞[01 システムの登録]＞[44 パスワード受信]は、[なし]に設定されています。パスワード受信機能を使いたい場合は、『取扱説明書（ファンクション設定編）』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。

●送信側のパスワード受信の設定は、[あり]、[なし]のどちらでもかまいません。

●パスワード送信の機能が設定されている場合は、送信パスワードも照合されます。パスワード送信については、「パスワードを使って送信する[パスワード送信]」(p.87)を参照してください。

●パスワード受信は、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]＞[04 キーオペレーター専用]＞[01 システムの登録]＞[44 パスワード受信]の設定により、次表のように動作します。

設定	説明
受信パスワード　登録なし	パスワード受信の機能は、働きません。
受信パスワードを登録し、パスワード受信を[なし]に設定	送信側が本機と異なる受信パスワードを設定していると、パスワード受信の機能が働かず通常の受信となります。
受信パスワードを登録し、パスワード受信を[あり]に設定	常にパスワード受信の機能が働きます。 送信側と受信側の受信パスワードが一致したときにだけ受信できます。 お知らせ ●パスワード受信をするには、送信側、受信側ともに受信パスワードの登録が必要です。

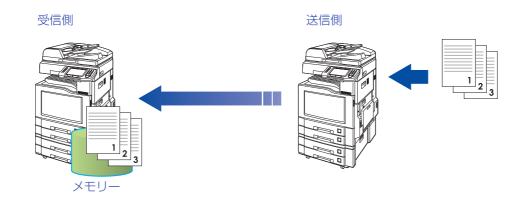
メモリーに受信する[メモリー受信]

■メモリー受信とは

受信文書をすべてメモリーに蓄積できます。排出トレイに受信文書を排出したままにしたくない場合に便利です。

●メモリー受信が[オン]に設定されている場合は、タッチパネルディスプレイのメッセージ欄に、「メモリー受信設定中です」のメッセージが表示されます。

●印刷が終了すると、受信文書はメモリーから削除されます。

ここでは、メモリー受信を設定する操作、メモリー受信した文書を印刷する操作を説明します。

お知らせ

●メモリーが一杯になると、受信が中止され、通信は停止します。それ以前にメモリーに蓄積された原稿は通常どおり印刷できます。

●メモリーが一杯の場合は受信できません。

■メモリー受信を設定する

メモリー受信を設定する場合は、次の手順で操作します。

1. **<ファクス>を押す**

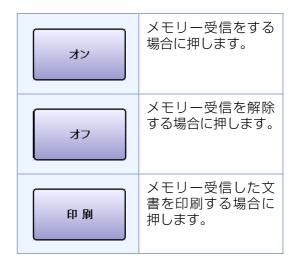
2. **[詳細設定]を押す**

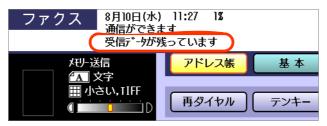
3. **[セレクトモード]を押す**

4. **[メモリー受信]を押す**

5. **[オン]を押し、[OK]を押す**

メモリー受信が設定されます。

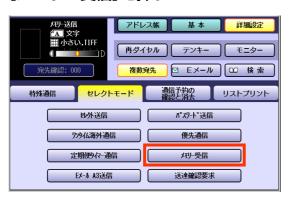
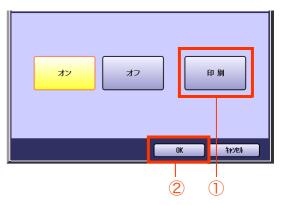
オン	メモリー受信をする場合に押します。
オフ	メモリー受信を解除する場合に押します。
印 刷	メモリー受信した文書を印刷する場合に押します。

■メモリー受信した文書を印刷する

受信文書がメモリーに蓄積されると、タッチパネルディスプレイには、「受信データが残っています」のメッセージが表示されます。

メモリー受信した文書を印刷する場合は、次の手順で操作します。

1. **<ファクス>を押す**

2. **[詳細設定]を押す**

3. **[セレクトモード]を押す**

4. **[メモリー受信]を押す**

5. **[印刷]を押し、[OK]を押す**

印刷が開始されます。

外部電話機からファクス受信に切り替える［リモート受信］

■リモート受信とは

リモート受信とは、外部電話機から受信の指示をする機能のことです。
外部電話機で送信側と通話した後、受信に切り替えることができます。

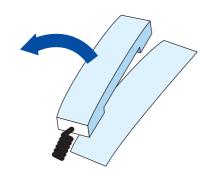
この機能は、ファンクション設定の［ファクス /E メール機能設定］＞［04 キーオペレーター専用］＞［01 システムの登録］＞［47 リモート受信］が［あり］に設定されている場合に使えます。

お知らせ

● お買い上げ時、ファンクション設定の［47 リモート受信］は［なし］に設定されています。設定を変更する場合は、『取扱説明書（ファンクション設定編）』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。
● 外部電話機については、「手動受信」（p.105）を参照してください。

■外部電話機からファクス受信に切り替える

外部電話機からファクス受信に切り替える場合は、次の手順で操作します。

1. **呼び出し音が鳴ったら、外部電話機の受話器を持ち上げる**

● 「ポー‥ポー‥」という音が聞こえたら、相手はファクスです。手順 2 の操作をします。

2. **ファクスの受信に切り替える**

●外部電話機がプッシュ式の場合
プッシュボタンで、「＊」「＊」と押す
(2 秒以内に押す）

●外部電話機がダイヤル式の場合
「9」「9」とダイヤルする
(5 秒以内にダイヤルする）

3. **受話器を戻す**

● 受信が開始されます。

5章

インターネットFAXを使う

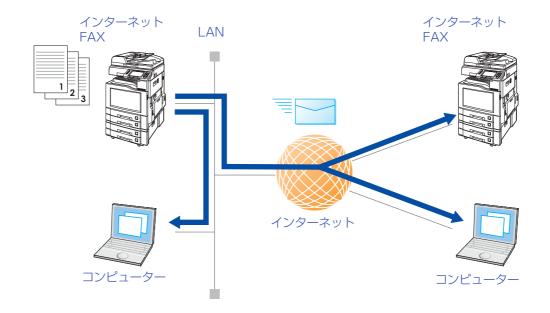
この章では、インターネット FAX 機能の概要、基本的な操作、および便利な操作について説明しています。

インターネット FAX とは

■インターネット FAX の概要

インターネット FAX とは、読み取った原稿を、インターネット FAX またはコンピューターに対して、E メールとして送信する機能です。

インターネット FAX では、一般の電話回線を使わずに、イントラネット(企業内ネットワーク)やインターネットを経由して通信します。

本機を、10BASE-T/100BASE-TX イーサネット LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続し、必要な設定をすることによって、次のようなインターネット FAX 機能を使うことができます。

❑ E メールを送信する

読み取った原稿を、E メールの添付ファイルとして、インターネット FAX やコンピューターに送信できます。

お知らせ
- 「E メールを送信する」(p.122)を参照してください。
- TIFF(TIFF-F)形式またはPDF形式の添付ファイルとして送信できます。PDF形式は、コンピューターに送信する場合だけ使うことができます。
- コンピューター側のメールソフトが MIME 形式に対応していない場合は、TIFF(TIFF-F) 形式や PDF 形式の添付ファイルを受信できません。

❑ E メールを受信する

インターネット FAX やコンピューターから E メールを受信すると、メールメッセージと添付ファイルの画像が、自動的に印刷されます。

お知らせ
- 「E メールを受信する」(p.123)を参照してください。

❑ 転送する(ルーティング)

ファクス文書や E メールを、ネットワーク上のインターネット FAX やコンピューターに転送できます。

お知らせ
- 「ルーティングを使う」(p.123)を参照してください。

❑ 中継局を介してファクスに送信する (LAN 中継送信)

中継局を介し、E メールを、通常のファクス文書として送信できます。同報送信することもできます。

お知らせ
- 詳しくは、「LAN 中継送信を使う」(p.124)を参照してください。

■インターネット FAX 機能を使うには

インターネット FAX 機能を使うためには、本機にネットワークケーブルを接続し、ファンクション設定で、ネットワーク環境を正しく設定する必要があります。

設定については、「インターネット FAX を使うための準備」(p.130)を参照してください。

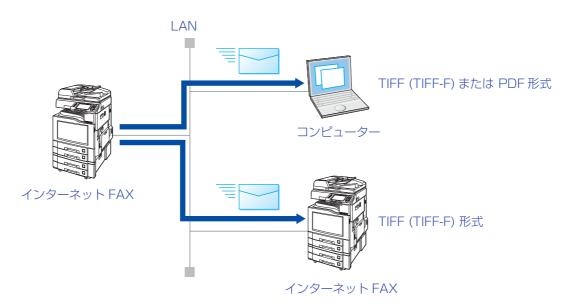
インターネット FAX でできること

インターネット FAX の機能について説明します。

本機のインターネット FAX 機能では、E メールの送受信だけではなく、一般の電話回線を経由してファクス受信した文書を E メールとして転送したり、中継局を経由して同報送信したりできます。

■E メールを送信する

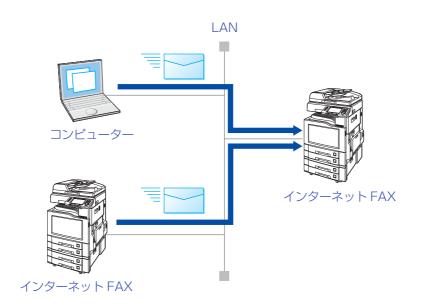
読み取った原稿を、E メールの添付ファイルとして、インターネット FAX やコンピューターに送信できます。添付ファイルの形式は、次のとおりです。

- インターネット FAX に対して　：　TIFF(TIFF-F)形式
- コンピューターに対して　　　：　TIFF(TIFF-F)形式／ PDF 形式　から選択

お知らせ

- E メールの送信については、「E メール送信の流れ」(p.132)を参照してください。

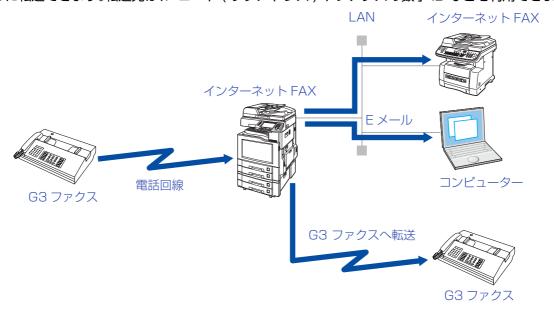
■E メールを受信する

インターネット FAX やコンピューターからの E メールを受信すると、本機では自動的に印刷されます。

ただし、本機が対応しているファイル形式以外の添付ファイルの場合は、エラーメッセージが印刷され、画像を印刷できないことを知らせます。

お知らせ

●E メールの受信については、「E メールを受信する」(p.158)を参照してください。

■ルーティングを使う

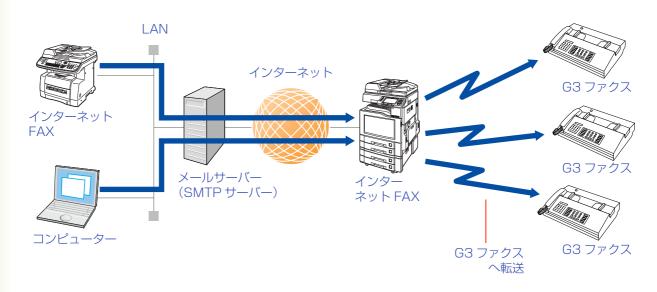
一般のファクスから電話回線を経由して受信した文書を、ネットワーク上のコンピューターやインターネット FAX に転送できます。転送先は、F コード (サブアドレス) やファクスの数字 ID などを利用できます。

お知らせ

●ルーティングについては、「ルーティング機能を使う」(p.96)を参照してください。

■LAN 中継送信を使う

インターネット FAX やコンピューターから、LAN 中継機能を持つインターネット FAX を経由して、一般の電話回線に接続されているファクスに送信できます。一般の電話回線に接続されているファクスは複数の宛先を設定できます。

ネットワーク上のインターネットFAXやコンピューターから、LAN中継機能を持つインターネットFAXに対して、一般の電話回線のファクス宛先を含めて E メールを送信すると、LAN 中継機能を持つインターネット FAX は、一般電話回線上のファクスに G3 モードで送信します。

(例)LAN 中継同報

お願い

●コンピューターから LAN 中継指示をする場合、TIFF-F 形式のファイルで送信する必要があります。

●アプリケーションソフトで作成したデータをTIFF-F形式のファイルに変換するには、専用のソフトウェアが必要です。これらのソフトウェアは、当社のホームページからダウンロードしてコンピューターにインストールしてください。インストールについては、「便利なアプリケーションソフトについて」(p.180)を参照してください。

お知らせ

●LAN 中継機能について、詳しくは「LAN 中継機能を使う」(p.164)を参照してください。

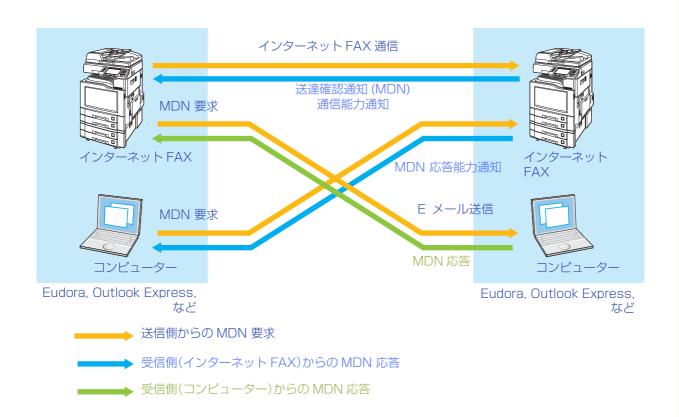
■送達確認通知 (MDN)を使う

送達確認通知 (MDN) 機能を使えば、送信した E メールが受信側に届いたかどうかを確認できます。

❏ 受信側がインターネット FAX の場合

送信側に対し、送達確認通知(MDN) 通信能力通知が応答されます。

❏ 受信側がコンピューターの場合

送信側に対し、MDN の応答メールが送信されます。

お知らせ

- この機能は、受信側に送達(開封)確認通知 (MDN) の機能がある場合に使うことができます。
- 送達確認通知(MDN)について、詳しくは「送達確認を要求する (MDN) [送達確認要求]」(p.154)を参照してください。

■ダイレクト SMTP(ダイレクト IFax 送信)を使う

通常、E メールはメールサーバー(SMTP サーバー)が SMTP(Simple Mail Transfer Protocol)によってやりとりしています。

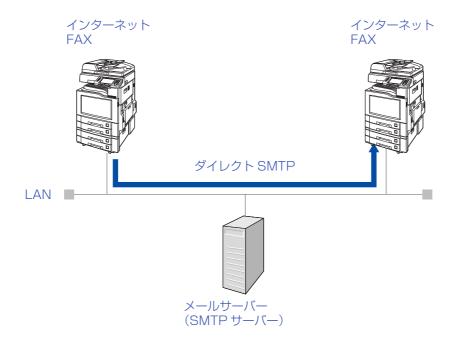
企業などのイントラネットでは、ファイアウォールの負担を考慮して、添付ファイルを持たない E メールとホームページ閲覧だけが許可されていることがあります。

このような場合に、ダイレクトインターネット FAX 送信を使うことで、メールサーバー(SMTP サーバー)への負担を軽減できます。

ダイレクトインターネット FAX 機能は、メールサーバー(SMTP サーバー)を通さずに直接インターネット FAX 間で文書を交換する機能です。この機能を使うには、IP アドレスが常に一定に保たれている必要があります。本機のドメイン名などの情報が DNS サーバーに適切に登録されていなければなりません。

ダイレクトインターネット FAX 機能を使う場合は、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]＞[04 キーオペレーター専用]＞[01 システムの登録]＞[172 ダイレクト IFax 送信]を[あり]に設定します。

お知らせ

●IP アドレスについては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

インターネット FAX 使用上のお願い

ネットワーク接続によるインターネットFAXの通信では、電話回線を使う一般のファクス通信とは異なる事項があります。

ここでは、インターネット FAX 機能を使って通信をする上で、注意が必要なことについて説明します。

❑ インターネット FAX と一般の電話回線用ファクスとの違い

一般の電話回線のファクスでは、データは電話回線を介して送信されます。電話回線の料金は送信者が負担します。

インターネットFAXでは、画像データはパケットに分解され、電話回線を介さずにLANからインターネットまたはイントラネットへ送信されます。電話回線を使わないため、長距離通話の経費を節減できます。

❑ 正しく E メールを送信できないときは

- インターネット通信は、ネットワーク経由によるメールサーバー(SMTP サーバー)との通信のため、直接相手と通信できません。このため、何らかの原因で送信できなかった場合にだけ、メールサーバー(SMTP サーバー)からエラーメールが返送されます。
- 相手先の場所、インターネットなどの回線の混み具合、ネットワーク構成などによって、エラーメールが返送されるまで長い時間がかかることがあります(通常は 20 ～ 30 分程度)。
- 何らかの原因で、エラーメールが返送されない場合があります。
  重要な書類、緊急を要する書類などを送信する場合は、送信後に必ず電話で確認してください。
  また、インターネット経由の場合には秘匿性が低いため、重要な書類は、一般の電話回線の利用をお勧めします。
- 受信側のメールシステムがMIMEに対応していない場合は、インターネットFAXのEメールを正しく送信することができません。また、相手のメールサーバー(SMTP サーバー) によってはエラーメールが返送されない場合があります。
- 原稿枚数が多い場合やイメージデータ量が多いと、送信できない場合があります。

お知らせ

- ダイレクトインターネット FAX 機能を使う場合、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]＞[04 キーオペレーター専用]＞[01 システムの登録]＞[172 ダイレクト IFAX 送信]が[あり]に設定されていると、メールサーバー(SMTP サーバー)を経由せず、アドレス帳に登録されているメールアドレスへ直接送信されます。
- 本機は送達確認通知機能(MDN)に対応しています。受信側にEメールが届いたかどうかを確認したい場合に設定してください。詳しくは「送達確認を要求する (MDN)[送達確認要求]」(p.154)を参照してください。

❑ ネットワーク経由で電話はできません

- 電話は一般の電話回線で使用できます(外部電話機を使用している場合)。
- ネットワーク経由の通信中も、一般の電話回線を使用してファクス通信できます。

❑ 通信機能について

本機には、一般の電話回線の G3 ファクス通信とインターネット FAX 機能の 2 つの通信機能がありますが、これらは同時に使うことができます。

❑ 原稿読み取り時の解像度設定について

原稿を読み取るときの解像度は、コンピューターへの送信を考慮し、お買い上げ時の初期値が[小さい]に設定されています。この設定は、使用する原稿に合わせて変更できます。

❑ インターネットメールメッセージの受信

- 本機は、コンピューターからのメールメッセージを受信できます。受信したメールメッセージは、漢字、カタカナ、ひらがな、英数字を印刷できます。
- 受信したメールメッセージのフォント、文字の大きさは変更できません。
- 受信したメールメッセージは、日本語(全角文字)で59文字、72行分(英数半角文字で108文字、72 行分)が 1 ページに印刷されます。

❑ インターネット FAX 機能で原稿をコンピューターに送ったときのメッセージ

インターネットFAXからEメールを送信すると、添付ファイル(TIFF-F形式の画像ファイル)のほかに、以下のメッセージが受信側に届きます。

TIFF-F 形式の画像データが添付されています。
TIFF-F イメージビュアは以下のサイトから入手できます。

http://panasonic.co.jp/pcc/

- PDF 形式の画像ファイルを添付して送信した場合、「PDF 形式の画像データが添付されています。」というメッセージが受信側に届きます。

❑ LAN 中継通信

LAN 中継局への不正なアクセスを防止するために、ネットワークセキュリティを設定してください。ネットワークセキュリティには、LAN 中継パスワード、中継許可ドメイン名を設定します。
また、LAN中継通信すべてを管理するためには、管理者のメールアドレスを登録し、通信管理レポートを受け取れるように設定してください。

❑ 送信ファイルタイプの設定について

[基本]の[ファイルタイプ / ファイル名]では、送信する添付文書のファイル形式として、PDF を選択できます。
PDF 形式は、読み取った文書をコンピューターに対して E メール送信する場合の機能です。

インターネット FAX は PDF 形式に対応していません。インターネット FAX に対し、PDF 形式を選択して送信しても、受信側のインターネット FAX では、添付ファイルを印刷できず、エラーとなります。

インターネット FAX を使うための準備

インターネット FAX 機能を使う場合は、ファンクション設定で、ネットワーク環境に関する項目を設定する必要があります。詳しくは、ネットワーク管理者にご相談ください。

■ネットワーク項目の設定

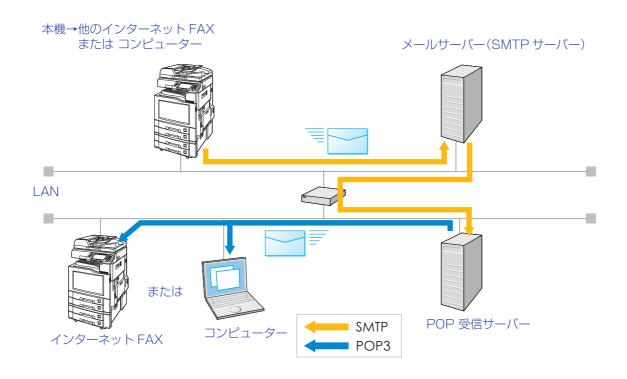
インターネット FAX 機能を使うために必要なネットワークの設定項目は、次のとおりです。

❑ ネットワーク設定項目

- 本機の TCP/IP IP アドレス
- 本機の TCP/IP サブネットマスク
- TCP/IP ゲートウエイアドレス
- DNS サーバーアドレス（＊ 1）
- 本機のメールアドレス（＊ 2）
- メールサーバー（SMTP サーバー）名、またはメールサーバー（SMTP サーバー）の IP アドレス
- POP 受信サーバー名、または POP 受信サーバーの IP アドレス
- POP ユーザー名
- POP パスワード
- SMTP 認証名（SMTP 認証が必要な場合）
- SMTP 認証パスワード（SMTP 認証が必要な場合）

お知らせ

- 上記の項目については、『取扱説明書（ファンクション設定編）』を参照してください。
- ＊ 1
  DNS サーバーアドレスで［あり］を選択し、ホスト名、ドメイン名、DNS サーバーのアドレスを入力します。
- ＊ 2
  本機のメールアドレスの形式は、一般のメールアドレスと同じです。

本機→他のインターネット FAX
または コンピューター
メールサーバー(SMTP サーバー)
LAN
または
インターネット FAX
コンピューター
SMTP
POP3
POP 受信サーバー

E メール送信の流れ

E メールを送信するときの基本的な操作の流れは、次のとおりです。

お知らせ

●送信先は、メールアドレスとファクスの宛先を混在して設定できます。メールアドレスの宛先に対しては　E メールが送信され、ファクスの宛先に対しては、通常のファクス文書が送信されます。

1. 原稿をセットする

- 詳しくは、『取扱説明書（基本編）』の「原稿セットのしかた（ファクス / インターネット FAX のとき）」を参照してください。

2. <ファクス>を押す

基本画面の設定をする場合は、[基本]を押して設定する

- 「画質を設定する［画質設定］」（p.31）
- 「添付ファイルの形式やファイル名を設定する［ファイルタイプ / ファイル名］」（p.150）

  PDF 形式は、コンピューターに対して E メールを送信する場合にだけ使えます。インターネット FAX に対しては、TIFF（TIFF-F）形式で送信してください。
- 「送達確認を要求する（MDN）［送達確認要求］」（p.154）

3. [E メール] を押す

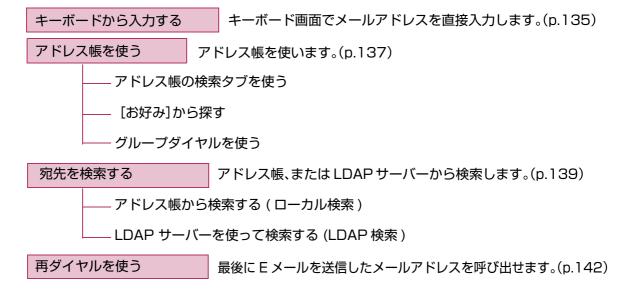
4. **[キーボード]を押してメールアドレスを入力するか、アドレス帳で宛先を選択する**

- 「メールアドレスを入力する」(p.134)

5. **<スタート>を押す**

- 原稿の読み取りが開始され、受付番号と共にメモリーに蓄積されます。
  読み取りが完了すると、Eメールの送信が開始されます。
- 送信を中止したいときは、「通信を中止する」(p.44)を参照してください。
- 原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、セットした原稿が最終原稿かどうかを確認する画面が表示されます。画面のメッセージに従って操作してください。
- 送信できなかった場合は、通信結果レポートが排出されます。詳しくは、「通信結果レポート」(p.250)を参照してください。

メールアドレスを入力する

メールアドレスは、次のいずれかの操作で設定します。

■キーボードから入力する

キーボード画面で、メールアドレスを直接入力する場合は、次の手順で操作します。

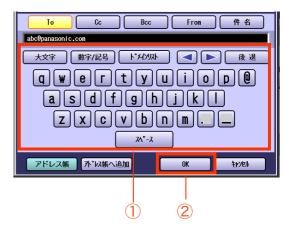
1. 原稿をセットする

- 詳しくは、『取扱説明書（基本編）』の「原稿セットのしかた（ファクス / インターネット FAX のとき）」を参照してください。

2. <ファクス>を押す

3. [E メール] を押す

4. E メール画面で、[キーボード] を押す

5. メールアドレスを入力し、[OK] を押す

- メールアドレスは 60 文字まで入力できます。
- メールアドレスの便利な入力方法については、次ページを参照してください。
- 文字入力のしかたは、『取扱説明書（基本編）』の「文字入力のしかた」を参照してください。
- 誤って入力した場合は、[◀] または [▶] で削除したい文字のあとにカーソルを移動し、[後退] を押します。カーソルの前の文字が 1 文字ずつ削除されます。
- [アドレス帳へ追加] を押すと、ここで入力したメールアドレスをアドレス帳に登録できます。

6. <スタート>を押す

読み取った原稿がメモリーに蓄積され、E メールの送信が開始されます。

■メールアドレスの入力方法

メールアドレスの入力には、3 種類の方法があります。

お知らせ

- デフォルトドメインは、ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[00 自局情報の登録]>[38 デフォルトドメイン]が登録されている場合に使えます。
- ドメインリストは、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[00 自局情報の登録]>[25 セレクトドメイン 01]~[34 セレクトドメイン 10]が登録されている場合に使えます。
- デフォルトドメイン、セレクトドメインの登録については、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。

❑ メールアドレスを直接入力する

キーボード画面で、メールアドレスを入力します。

❑ デフォルトドメインを使う

E メールを送信する相手が、本機に登録されているデフォルトドメインのドメイン名を使用したメールアドレスの場合に使います。

- キーボード画面で、メールアドレスの@より左側の部分だけを入力し、[OK]を押します。

[OK]を押したあとに、自動的にデフォルトドメインが追加されます。以下は、デフォルトドメインとして panasonic.com が登録されている場合の例です。

(例)

入力した文字 abc

[OK]押下後のメールアドレス abc@panasonic.com

❑ ドメインリストを使う

E メールを送信する相手が、本機に登録されているドメインリストにあるドメイン名を使用したメールアドレスの場合に使います。

①キーボード画面で、メールアドレスの @ より左側の部分だけを入力します。

②[ドメインリスト]を押します。

③ドメインリストから、ドメイン名を選択し、[OK]を押します。

以下は、ドメインとして @panasonic.com を選択した場合の例です。

(例)

入力した文字 abc

ドメインリストから選択後 abc@panasonic.com

■複数のメールアドレスを入力するには

複数のメールアドレスを設定する場合は、次の手順で操作します。

①キーボード画面で、1 番目のメールアドレスを入力し、[OK]を押します。

②[キーボード]を押し、キーボード画面で 2 番目のメールアドレスを入力し、[OK]を押します。

③すべてのメールアドレスを入力するまで、手順①~②の操作を繰り返します。

■アドレス帳を使う

❑ アドレス帳の検索タブを使う

アドレス帳の検索タブ([あ]～[ら/わ])を使ってメールアドレスを検索できます。

● アドレス帳は、あらかじめ登録が必要です。
詳しくは、「アドレス帳にメールアドレスを登録する」(p.212)を参照してください。

1. **原稿をセットする**

● 詳しくは、『取扱説明書(基本編)』の「原稿セットのしかた(ファクス / インターネット FAXのとき)」を参照してください。

2. **<ファクス>を押す**

3. **検索タブ([あ]～[ら / わ])を選択する**

4. **送信したい宛先のボタンを押す**

● Eメールが設定された宛先には、宛先名の前に✉マークがついています。

● もう一度ボタンを押すと、選択を解除できます。

● 複数のメールアドレスを設定する場合は、手順３～４の操作を繰り返します。

5. **<スタート>を押す**

読み取った原稿がメモリーに蓄積され、E メールの送信が開始されます。

❑ [お好み]から探す

アドレス帳の登録時に、お好みが設定されている場合は、[お好み]タブでメールアドレスを設定できます。

● [お好み]タブには、アドレス帳登録時に[お好み]タブへの表示を設定した宛先だけが表示されます。

● アドレス帳は、あらかじめ登録が必要です。
詳しくは、「アドレス帳にメールアドレスを登録する」(p.212)を参照してください。

1. **原稿をセットする**

● 詳しくは、『取扱説明書(基本編)』の「原稿セットのしかた(ファクス / インターネット FAXのとき)」を参照してください。

2. **<ファクス>を押す**

3. **お好み画面が表示されていない場合は、[お好み]を押す**

4. **送信したい宛先のボタンを押す**

● もう一度ボタンを押すと、選択を解除できます。

● 複数のメールアドレスを設定する場合は、続けてボタンを押します。

5. **<スタート>を押す**

読み取った原稿がメモリーに蓄積され、E メールの送信が開始されます。

＜次ページへ続く＞

❑ グループダイヤルを使う

グループダイヤルで複数のメールアドレスに送信する場合は、次の手順で操作します。

- グループダイヤルは、あらかじめ登録が必要です。詳しくは、「グループダイヤルを登録する」(p.221)を参照してください。

---

1. 原稿をセットする

- 詳しくは、『取扱説明書(基本編)』の「原稿セットのしかた(ファクス / インターネット FAX のとき)」を参照してください。

2. <ファクス>を押す

3. [プログラム / グループ]を押す

4. 送信したいグループのボタンを押す

- もう一度ボタンを押すと、選択を解除できます。

5. <スタート>を押す

読み取った原稿がメモリーに蓄積され、E メールの送信が開始されます。

■宛先を検索する

❑ アドレス帳から検索する（ローカル検索）

アドレス帳に登録されている検索文字で検索して、宛先を指定できます。

お知らせ

●[E メール]、[検索]の順に押して手順４の画面を表示することもできます。ただし、この場合は、E メールの宛先だけが検索されます。

1. **原稿をセットする**

● 詳しくは、『取扱説明書（基本編）』の「原稿セットのしかた（ファクス / インターネット FAX のとき）」を参照してください。

2. **<ファクス>を押す**

3. **[検索]を押す**

4. **検索したい文字を入力する**

● アドレス帳に登録した検索文字を入力します。検索文字については、「アドレス帳にメールアドレスを登録する」（p.212）を参照してください。

● 文字入力のしかたは、『取扱説明書（基本編）』の「文字入力のしかた」を参照してください。

入力した文字に該当する宛先が表示されます。

5. **送信したい宛先を選択し、[OK]を押す**

● [↑] または [↓] を押すと、表示された検索結果をスクロールできます。

● 宛先を複数選択することはできません。

6. **<スタート>を押す**

読み取った原稿がメモリーに蓄積され、E メールの送信が開始されます。

＜次ページへ続く＞

❑ LDAP サーバーを使って検索する（LDAP 検索）

LDAP 検索とは、ネットワーク上に設置されている LDAP サーバー上のアドレス帳から、電話番号やメールアドレスを検索する機能のことです。

お知らせ

- 本機が設置されている環境で、LDAP 検索を使えるかどうかについては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- LDAP 検索をするには、LDAP サーバーが設定されている必要があります。詳しくは、『取扱説明書（ファンクション設定編）』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。

1. **原稿をセットする**

- 詳しくは、『取扱説明書（基本編）』の「原稿セットのしかた（ファクス / インターネット FAX のとき）」を参照してください。

2. **<ファクス>を押す**

3. **[検索] を押す**

4. **[グローバル] を押す**

5. **検索したい文字を入力し、[検索] を押す**

検索結果が表示されます。

お知らせ

- [ローカル] を押すと、アドレス帳検索画面に戻ります。
- 検索結果が 100 件以上ある場合は、再検索をたずねる画面が表示されます。
  - ・[はい] を押すと、再検索画面が表示されます。
  - ・[いいえ] を押すと、検索が中止されます。
- 検索中にエラーが発生した場合は、メッセージが表示されます。
- 検索した宛先をアドレス帳に登録したい場合は、[アドレス帳へ追加] を押します。表示された画面で、登録名を入力し、[OK] を押します。
- 検索を中止する場合は、検索中に [キャンセル] を押します。

6. 宛先を選択し、[OK]を押す

- 宛先を複数選択することはできません。
- [E メール]、または[Fax 番号]を押すと、電話番号とメールアドレスの表示を切り替えできます。
- または を押すと、表示された検索結果をスクロールできます。
- [詳細]を押すと、下記の画面が表示され、詳細を確認できます。[閉じる]を押すと、検索結果画面に戻ります。

7. [OK]を押す

8. <スタート>を押す

読み取った原稿がメモリーに蓄積され、E メールの送信が開始されます。

■再ダイヤルを使う

直前に E メールを送信した宛先にもう一度送ることができます。

1. 原稿をセットする

- 詳しくは、『取扱説明書（基本編）』の「原稿セットのしかた（ファクス / インターネット FAX のとき）」を参照してください。

2. <ファクス>を押す

3. [再ダイヤル]を押す

最後に送信した宛先が表示されます。

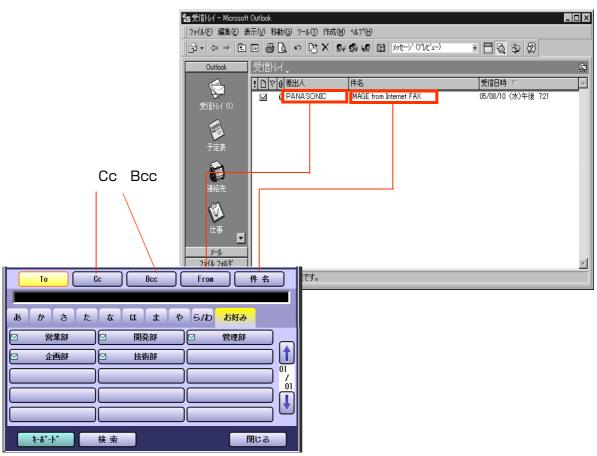
4. <スタート>を押す

- 読み取った原稿がメモリーに蓄積され、E メールの送信が開始されます。

複数メールアドレスや件名を設定する

メールアドレスを設定するときに、宛先に複数の受信者（Cc、Bcc）を設定したり、メールの件名を入力できます。

お知らせ

- Cc ....Carbon Copy のことです。
- Bcc ....Blind Carbon Copy のことです。
- ファンクション設定の［ファクス /E メール機能設定］＞［04 キーオペレーター専用］＞［00 自局情報の登録］＞［24 デフォルトサブジェクト］を登録しておくと、登録した件名で E メールが送信されます。設定については、『取扱説明書（ファンクション設定編）』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。
- 送達確認機能を設定した場合は、Cc や Bcc として設定したメールアドレスにも、To として送信されます。送達確認機能については、「送達確認通知 (MDN) を使う」(p.125) を参照してください。
- ファンクション設定の［ファクス /E メール機能設定］＞［04 キーオペレーター専用］＞［01 システムの登録］＞［145 FROM 選択機能］が［あり］に設定され、ユーザーの名前とメールアドレスが登録されている場合は、**<スタート>**を押したあとに From 選択画面が表示されます。

■Cc、Bcc を設定する

メールの宛先に Cc や Bcc を設定する場合は、次の手順で操作します。

1. E メール画面で、[Cc]または[Bcc]を押す

● CcやBccについては、p.144を参照してください。

2. メールアドレスを選択し、[閉じる]を押す

● アドレス帳の登録については、「アドレス帳にメールアドレスを登録する」(p.212)を参照してください。

■From を設定する

通常、From 欄には本機のメールアドレスが設定されますが、E メール画面の[From]を使うと、アドレス帳に登録しているメールアドレスや、キーボードから入力したメールアドレスを From 欄に設定できます。

From 欄を設定する場合は、次の手順で操作します。

お知らせ

●ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]>[145 FROM 選択機能]が[あり]に設定され、ユーザーの名前とメールアドレスが登録されている場合は、**<スタート>**を押したあとに From 選択画面が表示されます。
お買い上げ時、この機能は[なし]に設定されています。『取扱説明書〔ファンクション設定編〕』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。

1. E メール画面で[From]を押す

2. アドレス帳から宛先を選択するか、[キーボード]を押してメールアドレスを入力し、[閉じる]を押す

● [145 FROM 選択機能]が[あり]に設定されている場合に[From]を選択しないと、**<スタート>**を押したあとに、From 選択リストが表示されます。
表示されたリストで From を選択し、[OK]を押してください。

From 選択リスト

● 上の画面で[グローバル]を押すと、LDAP 検索画面を表示できます。

■件名を設定する

通常、件名欄には「IMAGE from Internet FAX」という定型文が設定されますが、E メール画面の［件名］を使うと、キーボード画面で件名を入力できます。

件名を設定する場合は、次の手順で操作します。

お知らせ

● ファンクション設定の［ファクス /E メール機能設定］＞［04 キーオペレーター専用］＞［00 自局情報の登録］＞［24 デフォルトサブジェクト］を登録しておくと、通常はその件名で E メールが送信されます。設定については、『取扱説明書（ファンクション設定編）』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。なお、［24 デフォルトサブジェクト］を登録している場合も、下記の操作で［件名］を押して件名を変更できます。

1. E メール画面で［件名］を押す

2. 件名を入力し、［OK］を押す

● 件名は、全角で 20 文字まで入力できます。

● 文字入力のしかたは、『取扱説明書（基本編）』の「文字入力のしかた」を参照してください。

● 誤って入力した場合は、◀ または ▶ で削除したい文字のあとにカーソルを移動し、［後退］を押します。カーソルの前の文字が 1 文字ずつ削除されます。

3. ［閉じる］を押す

■宛先を確認する

設定している宛先を確認できます。

お知らせ

- ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]>[125 宛先確認]で、常に宛先確認をしてから**<スタート>**を押すように設定できます。
このように設定されている場合の操作については、「宛先を確認する」(p.27)を参照してください。
また、ファンクション設定については、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。

1. **[宛先確認:###]を押す**

(###には、設定した宛先の数が表示されます。)

2. **確認したいタブを押す**

- 宛先を追加したい場合は、次の操作をします。
①[OK]を押す
②宛先を追加する
- 宛先を削除したい場合は、次の操作をします。
①宛先を選択して[削除]を押す
②表示された画面で[はい]を押す
- キーボードから入力された宛先を変更したい場合は、[キーボード]を押すと、キーボード画面を表示できます。

3. **確認が終わったら[OK]を押す**

添付ファイルの形式やファイル名を設定する[ファイルタイプ / ファイル名]

E メールを送信する場合は、添付ファイルのファイル形式やファイル名を変更できます。添付ファイルのファイル形式やファイル名を変更する場合は、次の手順で操作します。

お知らせ

●コンピューターに対してEメールを送信する場合は、ファイル形式をPDFにして送信できます。PDF形式は、読み取った文書をコンピューターに対して E メール送信する場合に使うことができます。

●インターネットFAXに対してPDF形式を選択して送信しても、受信側のインターネットFAXでは、画像を印刷できず、エラーとなります。これは、インターネット FAX が PDF に対応していないためです。

●添付ファイルのファイル名を変更しない場合、ファイル名は、自動的に「Image.tif」、または「Image.pdf」となります。

1. 原稿をセットする

● 詳しくは、『取扱説明書(基本編)』の「原稿セットのしかた(ファクス / インターネット FAX のとき)」を参照してください。

2. <ファクス>を押す

3. [基本]を押す

4. [ファイルタイプ / ファイル名]を押す

5. ファイル形式を選択する

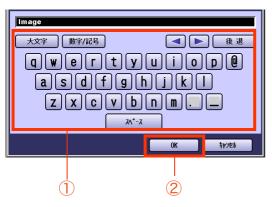
TIFF	TIFF(TIFF-F)形式で送信する場合に押します。
PDF	PDF 形式で送信する場合に押します。 送信相手がコンピューターの場合にだけ使うことができます。

6. ファイル名を変更する場合は、[編集(全角)]または[編集(半角アルファベット)]を押す

Image	Image.tif、またはImage.pdf の名前で送信する場合に選択します。
編集(全角)	ファイル名を日本語(漢字やひらがな)、全角の英数字に変更する場合に選択します。
編集(半角アルファベット)	ファイル名を半角の英数字に変更する場合に選択します。

7. ファイル名を入力し、[OK]を押す

- [編集(全角)]を押したとき

- [編集(半角アルファベット)]を押したとき

- ファイル名は、全角で 10 文字まで、半角で 20 文字までまで入力できます。
- 文字入力のしかたは、『取扱説明書(基本編)』の「文字入力のしかた」を参照してください。
- 誤って入力した場合は、◀ または ▶ で削除したい文字のあとにカーソルを移動し、[後退]を押します。カーソルの前の文字が 1 文字ずつ削除されます。

8. メールアドレスを設定する

- 「メールアドレスを入力する」(p.134)を参照してください。

9. <スタート>を押す

読み取った原稿がメモリーに蓄積され、E メールの送信が開始されます。

A3サイズをEメールで送信する[Eメール A3 送信]

受信側の受信記録能力(用紙サイズ)によっては大きい原稿を受信できないことがあります。このため、インターネットFAXでは、通常、原稿はA4サイズで送受信されます。

インターネットFAX機能を使って、A3サイズのようにA4より大きい原稿を送信したい場合は、送信の前に、受信側の用紙サイズを確認してください。

受信側がそのサイズを受信できる場合は、[Eメール A3 送信]を[オン]に設定すると、縮小せず、大きいサイズのままで送信できます。

お知らせ

- [EメールA3送信]を設定しない場合は、ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]>[141 LAN 縮小送信]の設定に従って、縮小して送信されます。縮小については、下表の「原稿サイズと送受信サイズ」を参照してください。
- ファンクション設定のLAN縮小送信については、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4章 ファクス/Eメール機能設定」を参照してください。

❏ 原稿サイズと送受信サイズ

インターネットFAXでA4サイズより大きい原稿を送信する場合は、設定により、下表のように縮小して送信されます。

縮小するかどうかは、[詳細設定]の[EメールA3送信]の設定と 、ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]>[141 LAN縮小送信]の設定状態によって異なります。

原稿サイズ	送受信サイズ		
	[Eメール A3 送信]が[オン]	[Eメール A3 送信]が[オフ]	
		[141 LAN 縮小送信]が[なし]	[141 LAN 縮小送信]が[あり]
A3	A3	B4	A4
B4	B4	B4	A4
A4	A4	A4	A4

1. 原稿をセットする

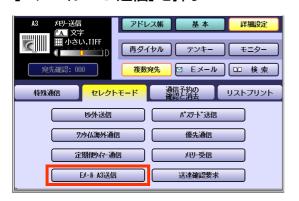
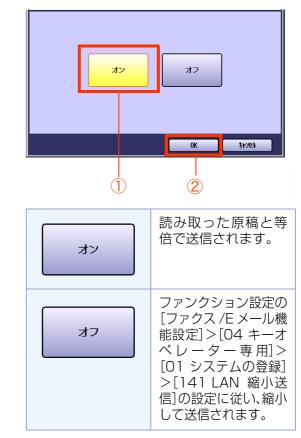
● 詳しくは、『取扱説明書（基本編）』の「原稿セットのしかた（ファクス / インターネット FAX のとき）」を参照してください。

2. <ファクス>を押す

3. ［詳細設定］を押す

4. ［セレクトモード］を押す

5. ［E メール A3 送信］を押す

6. ［オン］を押し、［OK］を押す

オン	読み取った原稿と等倍で送信されます。
オフ	ファンクション設定の［ファクス /E メール機能設定］＞［04 キーオペレーター専用］＞［01 システムの登録］＞［141 LAN 縮小送信］の設定に従い、縮小して送信されます。

7. メールアドレスを設定する

● 「メールアドレスを入力する」（p.134）を参照してください。

8. <スタート>を押す

読み取った原稿がメモリーに蓄積され、E メールの送信が開始されます。

送達確認を要求する（MDN）[送達確認要求]

送達確認要求を使うと、受信側からの送達確認メール（MDN 送達確認要求）によって、E メールが受信側に届いたかどうかを確認できます。

送達確認要求を設定する場合は、次の手順で操作します。

お知らせ

●送達確認要求の初期値は、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]＞[04 キーオペレーター専用]＞[01 システムの登録]＞[173 送達確認要求]で変更できます。『取扱説明書（ファンクション設定編）』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。

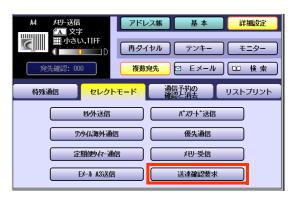
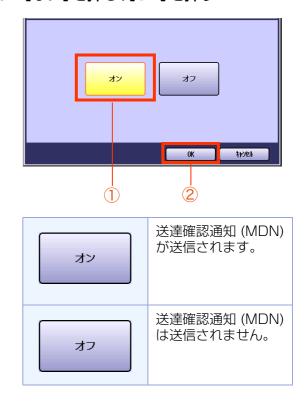
1. 原稿をセットする

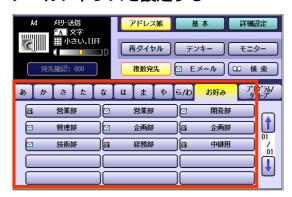
- 詳しくは、『取扱説明書（基本編）』の「原稿セットのしかた（ファクス / インターネット FAX のとき）」を参照してください。

2. <ファクス>を押す

3. [詳細設定] を押す

4. [セレクトモード] を押す

5. [送達確認要求] を押す

6. [オン] を押し、[OK] を押す

オン	送達確認通知 (MDN) が送信されます。
オフ	送達確認通知 (MDN) は送信されません。

7. メールアドレスを設定する

- 「メールアドレスを入力する」（p.134）を参照してください。

8. ＜スタート＞を押す

読み取った原稿がメモリーに蓄積され、Eメールの送信が開始されます。

受信側にEメールが届くか、または開封されると、送達確認のEメールが届きます。

- 送達確認のEメールが届くタイミングは、相手側がインターネットFAXか、コンピューターかなどの条件によって異なります。

  ･インターネットFAXの場合

  こちらからのEメールが届いた時点で、送達確認のEメールが送られます。

  ･コンピューターの場合

  次の環境によって異なります。

  受信側のサーバー

  受信側のコンピューターの、メールアプリケーションソフトの種類や設定

E メールを送信できないときは

送信した E メールが正常に送信できなかった場合は、メールサーバー（SMTP サーバー）からエラーメールが返送され、本機で印刷されます。

エラーメールには、エラーメッセージと 1 ページ目の画像が記載されており、送信できなかった内容を知ることができます。

エラーメールのプリント例（メールアドレスが間違っていた場合）

```
Received: from localhost (localhost) by ifeifl.rdmg.mgcs.mei.co.jp (8.6.12/3.4W3) with
internal id OAA24381; THU, 15 AUG 2005 14:52:57 +0900
Date: THU, 12 AUG 2005 14:52:57 +0900
From: Mail Delivery Subsystem <MAILER-DAEMON@ifeifl.rdmg.mgcs.mei.co.jp>
Subject: Returned mail: User unknown
Message-Id: <200011120552.OAA243B1@ifeifl.rdmg.mgcs.mei.co.jp>
To: <fax@nwpc31.rdmg.mgcs.mei.co.jp>

The original message was received at THU, 15 AUG 2005 14:52:54 +0900
from nwpc31.rdmg.mgcs.mei.co.jp [172.21.22.51]

   ----- The following addresses had delivery problems -----
<error@nwr39.rdmg.mgcs.mei.co.jp>  (unrecoverable error)

   ----- Transcript of session follows -----
.... while talking to nwr39.rdmg.mgcs.mei.co.jp.:
>>> RCPT To:<error@nwr39.rdmg.mgcs.mei.co.jp>
<<< 550 <error@nwr39.rdmg.mgcs.mei.co.jp>... User unknown
550 <error@nwr39.rdmg.mgcs.mei.co.jp>... User unknown

   ----- Original message follows -----
Return-Path: fax@nwpc31.rdmg.mgcs.mei.co.jp
Received: from nwpc31.rdmg.mgcs.mei.co.jp (Internet FAX) (nwpc31.rdmg.mgcs.mei.co.jp [172.21
.22.51]) by ifeifl.rdmg.mgcs.mei.co.jp (8.6.12/3.4W3) with SMTP id OAA24380 for <error@nwr39
.rdmg.mgcs.mei.co.jp>; THU, 15 AUG 2005 14:52:54 +0900
Message-ID: <200011120552.OAA24380@ifeifl.rdmg.mgcs.mei.co.jp>
Mime-Version: 1.0
Content-Type: image/tiff
Content-Transfer-Encoding: base64
Content-Disposition: attachment; filename="image.tif"
Content-Description: image.tif
X-Mailer: Internet FAX, MGCS
Date: THU, 15 AUG 2005 14:49:00 +0900
From: iFAX <fax@nwpc31.rdmg.mgcs.mei.co.jp>
Subject: IMAGE from Internet FAX
To: error@nwr39.rdmg.mgcs.mei.cp.jp
```

'05年08月12日 （金）15時00分　宛先：InternetFAX01　発信：Ifax04　R:591　P.01/01

THE SLEREXE COMPANY LIMITED

SAPORS LANE - BOOLE - DORSET - BH 25 8 ER

TELEPHONE BOOLE (945 13) 51617 - TELEX 123456

Our Ref. 350/PJC/EAC　　18th January, 1972.

終了通知を使う［終了通知］

終了通知は、E メール送信やファクス送信が終了したことを、お使いのコンピューターに知らせる機能です。
終了通知を設定する場合は、次の手順で操作します。

お願い

●この機能を使うためには、お使いのコンピューターに「Panasonic Document Management System」、およびプリンタードライバーをインストールし、終了通知を受信するための項目を設定しておく必要があります。詳しくは、『取扱説明書（セットアップ編）』の「スキャナーの設定（オプション）」を参照してください。

1. 原稿をセットする

- 詳しくは、『取扱説明書（基本編）』の「原稿セットのしかた（ファクス / インターネット FAX のとき）」を参照してください。

2. ＜ファクス＞を押す

3. ［基本］を押す

4. ［終了通知］を押す

5. 終了通知を送信するコンピューターを選択し、［OK］を押す

6. メールアドレスを設定する

- 「メールアドレスを入力する」（p.134）を参照してください。

7. ＜スタート＞を押す

読み取った原稿がメモリーに蓄積され、E メールの送信が開始されます。

E メール送信が終了すると、終了通知が設定したコンピューターに届きます。

E メールを受信する

本機を POP クライアントとしてネットワークに接続している場合は、自動受信、または手動受信で E メールを受信します。POP 受信サーバーからの受信のしかたは、ファンクション設定の POP に関する設定によって異なります。

■E メール受信の設定

ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]＞[04 キーオペレーター専用]＞[01 システムの登録]の下記の項目の設定により、POP 受信のしかたを設定できます。

項目	設定
146 POP 取得間隔	POP 受信サーバーに受信メールの問い合わせを行う間隔を設定します。 ・0 ～ 60 分で設定します。 ・0 分に設定すると、E メールは自動取得されません。
147 POP 自動受信	POP 受信サーバーから E メールを自動的に受信するかどうかを設定します。 ・[あり]に設定すると、POP 受信サーバーに E メールがあれば、自動的に E メールを受信し、印刷されます。 ・[なし]に設定すると、受信メールの件数だけがディスプレイに表示されます。この場合は、手動で E メールを受信する必要があります。手動受信については、「E メールを手動で受信する」(p.159)を参照してください。
148 POP 受信後削除	E メールを受信したあと、POP 受信サーバーからメールを削除するかどうかを設定します。
149 POP エラー時削除	印刷できない形式の添付ファイルを受信した場合に、POP 受信サーバーからメールを削除するかどうかを設定します。

お知らせ

- ●本機は、HTML 言語に対応していません。このため、HTML 形式の文書を受信した場合は、文字だけが印刷されます。
- ●POP に関するファンクション設定については、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。
- ●プログラムダイヤルにPOP手動受信を登録しておくと、自局設定以外のユーザー名でPOP受信できます。詳しくは、「プログラムボタンに E メール 受信を設定する」(p.227)を参照してください。

■E メールを自動受信する

ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]＞[04 キーオペレーター専用]＞[01 システムの登録]で、[147 POP 自動受信]が[あり]に、[146 POP 取得間隔]が 1 ～ 60 分に設定されている場合は、定期的に POP 受信サーバーに対し、受信メールがあるかどうかが問い合わせされます。

問い合わせ時に POP 受信サーバーに E メールがある場合は受信し、自動的に印刷されます。

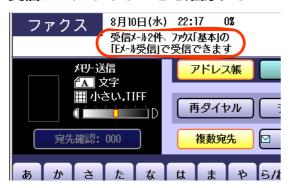
■E メールを手動で受信する

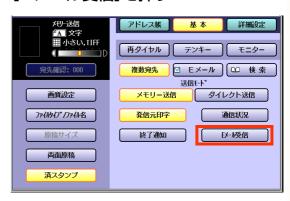
ファンクション設定の[147 POP 自動受信]が[なし]に設定されている場合は、手動で E メールを受信します。

お知らせ

●POP取得間隔が 1 ～60分に設定されている場合は、定期的にPOP受信サーバーに対し、受信メールがあるかどうかが問い合わせされ、E メールの件数がディスプレイに表示されます。

1. **<ファクス>を押す**

2. **受信メールがあることを確認する**

3. **[基本]を押す**

4. **[E メール受信]を押す**

POP 受信サーバーから E メールを受信し、印刷されます。

■プログラムボタンで E メールを受信する

プログラムダイヤルに、POP受信サーバーのユーザー名とパスワードを登録しておくと、POP受信サーバーに届いたメールを、プログラムダイヤルのボタンを押すだけで受信できます。

お知らせ

- プログラムダイヤルの登録時に、POP受信サーバーのパスワードを登録せずにおくと、POP受信のプログラムダイヤルのボタンを押したあとに、パスワード入力を要求されます。
  セキュリティを重視する場合は、プログラムダイヤルの登録時にパスワードを未入力にしてください。
- プログラムダイヤルへの POP 受信の設定については、「プログラムボタンに E メール 受信を設定する」(p.227)を参照してください。

1. **<ファクス>を押す**

2. **[プログラム / グループ]を押す**

3. **POP 受信が設定されているプログラムボタンを選択する**

4. **キーボード画面が表示された場合:**

① ユーザー名を確認し、[OK]を押す
② パスワードを入力し、[OK]を押す

キーボード画面が表示されない場合:

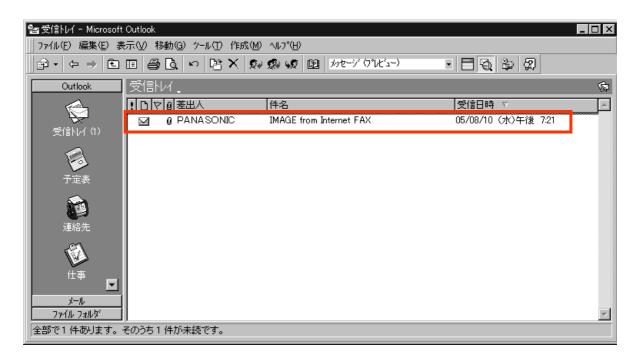
<スタート>を押す

受信した E メールが印刷されます。

コンピューターで E メールを受信する

本機からコンピューター宛に E メールを送信した場合、および本機に届いた E メールをコンピューターに転送した場合の、コンピューターの操作について説明します。

■E メールを受信したコンピューターでは

以下は、インターネットFAXからのEメールを受信した場合のメールアプリケーションソフトの画面例です。

お知らせ

- 上の画面は、Microsoft®、Windows®operating system 日本語版で動作する電子メールソフトウェア「Microsoft Outlook®」の画面です。
  他の E メール用アプリケーションソフトウェアをお使いの場合は、アプリケーションソフトウェア付属の説明書を参照してください。
- コンピューターで E メールを見る操作については、お使いのメールアプリケーションソフトやビューワーアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。
- 上の画面では、インターネットFAXから送信されたEメールは、件名が「IMAGE from Internet FAX」となっています。本機から送信する場合、必要に応じて、件名を変更して送信できます。

■Ｅメールを開くと

インターネットFAXからのＥメールを開くと、次のような画面が表示されます。

- 上の画面は、Microsoft®、Windows®operating system 日本語版で動作する電子メールソフトウェア「Microsoft Outlook®」の画面です。
  他のＥメール用アプリケーションソフトウェアをお使いの場合は、アプリケーションソフトウェア付属の説明書を参照してください。
- 上の画面は、添付ファイルがTIFF-F形式（Tagged Image File Format with Modified Hoffman coded image）のファイルの場合の例です。
  この形式のファイルを開くためには、専用のソフトウェアが必要です。フリーソフトのTIFFビューアー、TIFFコンバーターは、以下のホームページからダウンロードできます。

  ・ホームページ　http://panasonic.co.jp/pcc/info/dwnld.html
- PDF形式の添付ファイルを受信した場合は、Ｅメールの本文に、次のメッセージが表示されます。

  「PDF形式の画像データが添付されています。」

お願い

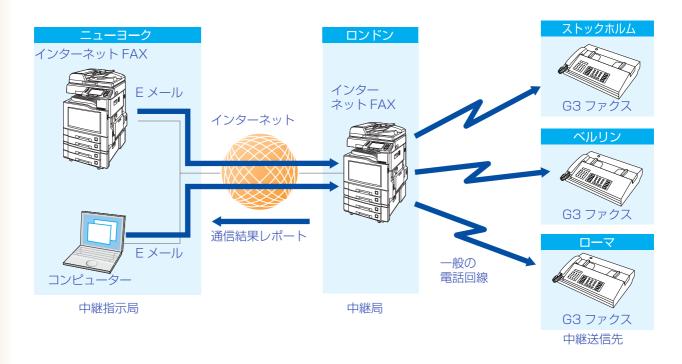
ダウンロードしたソフトウェアのインストール作業並びにインストール後の動作に関しましては、お客様の責任の元、お取り扱いいただきますようお願いいたします。当社では、これらのソフトウェアについての動作保証、インストール後の二次的損害に関しては、一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

LAN中継機能を使う

■LAN中継機能とは

LAN中継機能を持つインターネットFAX間でネットワークを組むことにより、インターネットFAXから送信したEメールを、中継局を経由して一般の電話回線に接続されたファクスへ送信できます(一般の電話回線に接続されたファクスは複数の宛先を指定できます)。

ここでは、LAN 中継によるネットワーク、およびファクスサーバーを使ったイントラネットを例に、LAN 中継のしくみを説明します。

❑ 例 1:インターネット中継ネットワーク

中継指示局

中継局(LAN中継機能を持つインターネットFAX)に対し、インターネットFAX機能を使ってEメールを送信し、LAN中継送信を指示します。
コンピューターからEメールを送信してLAN中継送信の指示をすることもできます。

お知らせ
- LAN中継送信指示の操作は、あらかじめアドレス帳に登録しておくと便利です。
- コンピューターからEメールを送信する場合は、TIFF-F形式の画像ファイルを添付できます。

中継局でLAN中継送信が終了すると、中継指示局にはLAN中継送信をしたことを示す中継送信レポート(通信結果レポート)が、管理者用のコンピューターに対しては送信通知メールのEメールが届きます。

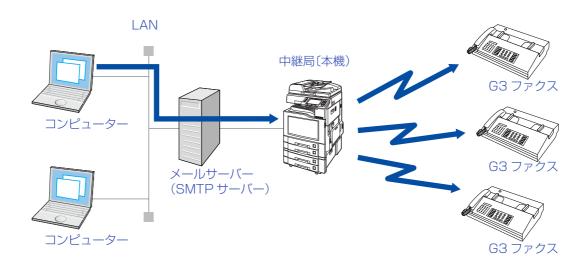
お知らせ
- 中継送信レポート(通信結果レポート)、送信通知メールについては、「LAN中継送信の通信結果」(p.181)を参照してください。

中継局

- 中継指示局から届いたＥメールを、中継送信先（一般の電話回線に接続されたファクス：ストックホルム／ベルリン／ローマ）へファクス文書として送信します。中継送信先が複数指定されている場合は、同報送信します。
- LAN中継が終了すると、中継指示局に対してはLAN中継したことを示す中継送信レポート（通信結果レポート）を、中継指示局の管理者のコンピューターに対しては管理者宛に、送信通知メールが送信されます。

中継送信先

- 中継局から送信されたファクス文書を受信すると、1 枚目にメールヘッダーとメール本文、2 枚目以降に添付ファイル（TIFF（TIFF-F) 形式で印刷されます。

❑ 例 2：ファクスサーバーを利用したイントラネット中継

コンピューター

- メールサーバー（SMTP サーバー）に対し、LAN 中継送信の E メールを送信します。

お知らせ

コンピューターからの LAN 中継送信の操作については、「コンピューターから LAN 中継送信を指示する」（p.178）を参照してください。

メールサーバー（SMTP サーバー）

- LAN 中継で、本機に対し、E メールを転送します。

本機

- 一般の電話回線の G3 ファクスへ、ファクス文書として同報送信します。

■LAN 中継送信ネットワークの構築について

ここでは、中継同報ネットワークの構築について説明します。

❑ 機器構成は？

中継ネットワークは、原則として次の機器で構成されます。

- ●インターネット FAX またはコンピューター（中継指示局）
- ● LAN 中継機能を持つインターネット FAX（中継局）
- ● 一般の電話回線上の G3 ファクス（中継送信先）

❑ 通信料金は？

- ● 中継指示局から中継局まで、インターネット FAX で送信できるため、通信時間と、電話料金（長距離市外電話料金）を節約できます。
- ● 中継局からの中継送信先へのファクス送信には電話料金が発生します。

❑ 通信が完了したことを確認する方法は？

- ● 中継局で中継送信先へのファクス送信が完了すると、LAN 中継したことを示す中継送信レポート（通信結果レポート）が、中継局から中継指示局宛に送信されます。
- ● 中継局の管理者用のコンピューターに対しては、中継局から送信通知メールが送信されます。

❑ 設定方法は？

- ●ネットワーク関連の項目の設定が必要です。詳しくは、「インターネット FAX を使うための準備」（p.130）を参照してください。
- ● LAN 中継送信を使うには、「中継局に必要なファンクション設定」（p.170）、「中継指示局に必要なファンクション設定」（p.171）に記載されている設定情報に従って必要な情報を設定してください。
（次ページに LAN 中継送信ネットワーク例を記載します。）
- ● 本機を中継指示局として使用する場合は、中継局、中継送信先をアドレス帳に登録しておきます。詳しくは「LAN 中継同報指示をするためのアドレス帳の設定」（p.172） を参照してください。

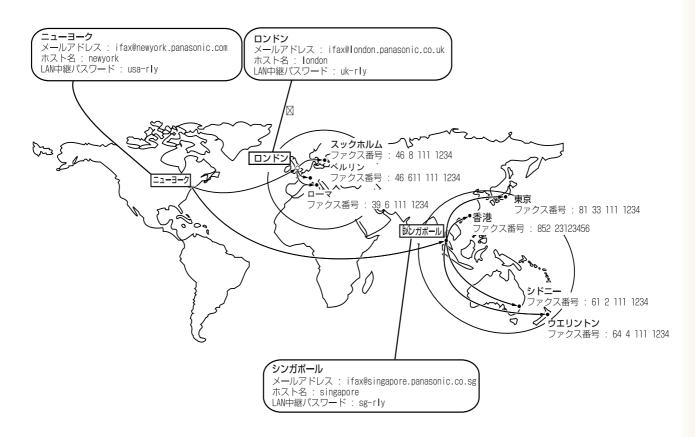
お知らせ

●設定について、詳しくはサービス実施会社にお問い合わせください。

■LAN 中継送信ネットワーク例

ここでは、2 か所の中継局を利用した LAN 中継送信ネットワーク例を紹介します。

それぞれのファクスでの、ファンクション設定およびアドレス帳の設定については、「LAN 中継送信設定のファンクション設定とアドレス帳の設定サンプル」(p.168)、「中継指示局に必要なファンクション設定」(p.171)を参照してください。

- このネットワークでは、中継指示局(ニューヨーク)を起点とし、中継局(ロンドン、およびシンガポール)がネットワークで結ばれています。
- 中継局(ロンドン、シンガポール)から、一般の電話回線を経由して、中継送信先(ストックホルム、ローマ、東京、香港、シドニーなど)へファクス送信されます。
- このネットワークでは、2 か所の中継局を利用しています。
- 中継指示局(ニューヨーク)で、LAN 中継送信の指示をするだけで、中継局(ロンドン、およびシンガポール)を介して、ネットワーク内の中継送信先(ストックホルム、ローマ、東京、香港、シドニーなど)へ、ファクス文書を送信できます。

■LAN 中継送信設定のファンクション設定とアドレス帳の設定サンプル

❑ 表 1:中継指示局(ニューヨーク)

- 電話番号　：　212 111 1234
- メールアドレス (SMTP)　：　ifax@newyork.panasonic.com
- ホスト名　：　newyork
- 中継用パスワード　：　usa-rly

宛先名	メールアドレス／電話番号	中継局アドレス
ロンドン	ifax@london.panasonic.co.uk	―――
ストックホルム	468 111 1234	[London Relay]
シンガポール	ifax@singapore.panasonic.co.sg	―――
東京	81 33 111 1234	[Singapore Relay]
ロンドンリレー	uk-rly@london.panasonic.co.uk	―――
シンガポールリレー	sg-rly@singapore.panasonic.co.sg	―――
ローマ	396 111 1234	[London Relay]
香港	852 23123456	[Singapore Relay]
シドニー	612 111 1234	[Singapore Relay]

❑ 表 2:中継局(ロンドン)

- 電話番号　：　71 111 1234
- メールアドレス (SMTP)　：　ifax@london.panasonic.co.uk
- ホスト名　：　london
- 中継用パスワード　：　uk-rly

宛先名	メールアドレス／電話番号	中継局アドレス
ニューヨーク	ifax@newyork.panasonic.com	―――
ストックホルム	468 111 1234	[London Relay]
シンガポール	ifax@singapore.panasonic.co.sg	―――
東京	81 33 111 1234	[Singapore Relay]
シンガポールリレー	sg-rly@singapore.panasonic.co.sg	―――
ローマ	396 111 1234	[London Relay]
香港	852 23123456	[Singapore Relay]
シドニー	612 111 1234	[Singapore Relay]
ロンドンリレー	uk-rly@london.panasonic.co.uk	―――

❑ 表 3:中継局(シンガポール)

- ●電話番号　:　65 111 1234
- ●メールアドレス (SMTP)　:　ifax@singapore.panasonic.co.sg
- ●ホスト名　:　singapore
- ●中継用パスワード　:　sg-rly

宛先名	メールアドレス／電話番号	中継局 アドレス
ロンドン	ifax@london.panasonic.co.uk	――――
ストックホルム	468 111 1234	[London Relay]
ニューヨーク	ifax@newyork.panasonic.com	――――
東京	81 33 111 1234	[Singapore Relay]
ロンドンリレー	uk-rly@london.panasonic.co.uk	――――
ローマ	396 111 1234	[London Relay]
香港	852 23123456	[Singapore Relay]
シドニー	612 111 1234	[Singapore Relay]
シンガポールリレー	sg-rly@singapore.panasonic.co.sg	――――

■中継局に必要なファンクション設定

本機を中継局として使う場合は、ファンクション設定で次の項目を設定します。

項目		必要なファンクション設定
1	[01 システムの登録]> [142 LAN 中継機能]	LAN 中継送信機能を設定します。 ・[なし] LAN 中継送信機能は使えません。 ・[あり] LAN 中継送信機能が使えます。
2	[01 システムの登録]> [143 LAN 中継結果返送]	通信結果レポートを中継指示局へ返送するかどうかを設定します。 ・[なし] 通信結果レポートは返送されません。 ・[全通信] 送信できた場合、できなかった場合、どちらの場合も通信管理レポートが返送されます。 ・[異常時] 送信できなかった場合だけ、通信管理レポートが返送されます。
3	[00 自局情報の登録]> [40 中継用パスワード 01] ～ [44 中継用パスワード 05]	中継送信時の中継許可用パスワードです。10 文字以内のパスワードを 5 種類まで登録できます。 LAN 中継をする場合は、アドレスの先頭にパスワードを入れて送信します。アドレスの構文については「コンピューターからの LAN 中継送信指示の操作」(p.179)を参照してください。(p.179 の例では、中継用パスワードは「sg-rly」)。 ●中継用パスワードは、LAN 中継同報のネットワーク上の関係者だけに知らせてください。 ●LAN 中継用パスワードはメールのヘッダー部分に含めて送信されます。このため、E メールやインターネット FAX で使っているパスワードとは異なるものを登録することをお勧めします。 このように登録することで、インターネット FAX を受信したときに、LAN 中継用パスワードを容易に識別できます。 ●LAN 中継用パスワードには、以下の特殊文字を登録しないでください。 「 (」,「) 」,「 < 」,「 > 」,「 [」,「] 」,「 : 」,「 ; 」,「 @ 」,「 \ 」,「 , 」,「 . 」,「 " 」
4	[00 自局情報の登録]> [45 中継許可ドメイン名 01] ～ [54 中継許可ドメイン名 10]	LAN 中継同報指示を許可するドメイン名(30 文字まで) を入力します。中継許可ドメイン名は 10 種類まで登録できます。 (例)　01: panasonic.co.jp 02: abc.iFax.com 03: panasonic.com お知らせ ●第三者が LAN 中継局送信にアクセスできないようにするため、ネットワークセキュリティを設定してください。すべての LAN 中継局送信通知のために、中継許可ドメイン名と管理者のメールアドレスを入力してください。 ●ドメイン名がひとつも設定されていない場合、本機では、すべてのドメイン名からの LAN 中継指示を受け付けます。

項目		必要なファンクション設定
5	[00 自局情報の登録]> [37 管理者メールアドレス]	管理者のメールアドレスを登録します。 (管理者＝ LAN 中継同報のシステム / コストの管理者) [37 管理者メールアドレス]を登録しておくと、本機が中継指示局からの中継同報指示を受信するたびに、次のような通知がE メールで送信されます。 (From: 中継指示局のメールアドレス) (To　: 中継送信先の電話番号)

お知らせ

●ファンクション設定の操作については、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。

■中継指示局に必要なファンクション設定

本機を中継指示局として使う場合は、ファンクション設定で次の項目を設定します。

項目		必要なファンクション設定
1	[01 システムの登録]> [140 LAN 中継送信指示]	本機を中継指示局として使う場合は、[あり]を選択します。 ・[なし] LAN 中継送信指示をしない場合に選択します。 ・[あり] LAN 中継送信指示をする場合に選択します。

■中継局のアドレス帳設定

中継局をアドレス帳に設定する場合は、宛先のメールアドレスにホスト名と中継用パスワードを登録する必要があります。メールアドレスの登録については、「アドレス帳にメールアドレスを登録する」(p.212)を参照してください。

入力例:　**sg-rly@singapore.panasonic.co.sg**

入力例	説明
sg-rly	中継用パスワードを入力します(中継局の自局情報の、インターネット登録の内容と合わせる)。
@singapore.panasonic.co.sg	DNS サーバーへ登録されたホスト名とドメイン名が入ります。

■LAN 中継同報指示をするためのアドレス帳の設定

本機を中継指示局として使用する場合は、あらかじめ中継送信先の電話番号と、中継局のメールアドレスをアドレス帳に設定しておくと便利です。

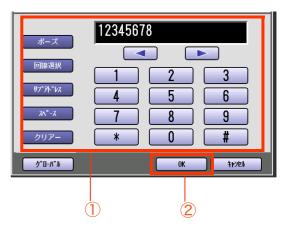
お知らせ

- ひとつのアドレス帳に登録できる中継送信先は 1 か所だけです。
  LAN 中継送信で同報をしたい場合は、中継送信先をそれぞれ別のアドレス帳に登録し、グループダイヤルに設定しておいてください。グループダイヤルについては、「グループダイヤルを登録する」(p.221)を参照してください。
- アドレス帳へ LAN 中継送信指示を登録するには、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]＞[04 キーオペレーター専用]＞[01 システムの登録]で、[104 アドレス帳ダイヤル情報]、および[140 LAN 中継送信指示]が[あり]に設定されている必要があります。設定については、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照ください。
- アドレス帳の登録については、「アドレス帳に電話番号を登録する」(p.203)を参照してください。

1. <ファンクション>を押す

2. [ファクス /E メール機能設定]を押す

3. [00 アドレス帳登録]を押す

4. [01 アドレス帳登録(電話)]を押す

5. 電話番号を入力し、[OK]を押す

- [クリアー]を押すと、電話番号を 1 文字ずつ消去できます。
- 電話番号の入力については、「電話番号を入力する」(p.18)を参照してください。

6. 宛先名を入力し、[OK]を押す

- 宛先名は、20 文字まで入力できます。
- 文字入力のしかたは、『取扱説明書（基本編）』の「文字入力のしかた」を参照してください。

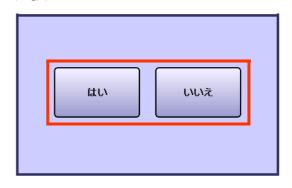
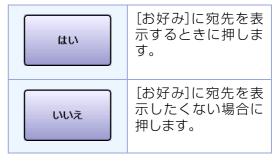
7. ボタン名を入力し、[OK]を押す

- ボタン名は、10 文字まで入力できます。

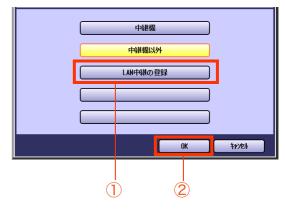
8. 検索文字を入力して、[OK]を押す

- 検索文字は、10 文字まで入力できます。
- 検索文字は、アドレス帳で宛先を検索するときに使う文字です（[あ]～[ら/わ]の仕分けにも使われます）。宛先名のフリガナなどをカタカナで入力します。
- 英数字を入力すると、アドレス帳画面の「あ」行に表示されます。
ただし、英数字は検索文字としては使用できません。

9. [お好み]に宛先を表示するかどうかを選択する

はい	[お好み]に宛先を表示するときに押します。
いいえ	[お好み]に宛先を表示したくない場合に押します。

- [お好み]に登録できる宛先は 15 宛先です。すでに 15 宛先登録されている場合、上の画面は表示されません。

10. [中継情報の登録]を押す

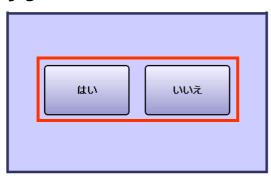
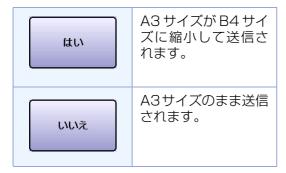
11. [LAN 中継の登録]を選択し、[OK]を押す

- [LAN 中継の登録]は、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]＞[04 キーオペレーター専用]＞[01 システムの登録]＞[140 LAN 中継送信指示]が[あり]に設定されている場合に表示されます。

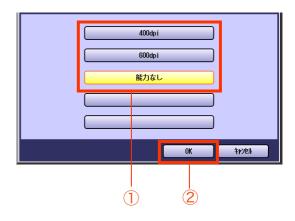
＜次ページへ続く＞

12. 中継局を選択し、[OK]を押す

- 設定できる宛先は 1 宛先だけです。
- メールアドレスの設定については、「メールアドレスを入力する」(p.134)を参照してください。

13. A3 サイズの原稿を送信するときに B4 サイズに縮小するかどうかを選択する

はい	A3 サイズが B4 サイズに縮小して送信されます。
いいえ	A3サイズのまま送信されます。

- 相手機の能力に合わせて設定します。

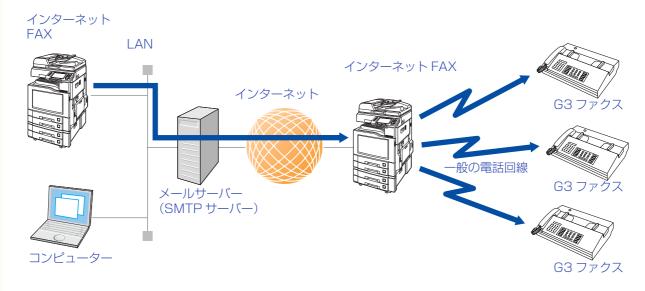
14. 相手側の能力を設定し、[OK]を押す

400dpi	受信側が 400dpi で受信できる場合に押します。
600dpi	受信側が 600dpi で受信できる場合に押します。
能力なし	受信側が 600dpi、400dpi どちらも受信できない場合に押します。

- 相手機の能力に合わせて設定します。
- [600dpi]または[400dpi]を選択した場合、受信側の機種により、正常に受信できない場合があります。
- [能力なし]に設定されている宛先を含めて複数の宛先を指定した場合、すべての宛先が[能力なし]に設定されます。([600dpi]または[400dpi]の設定は解除されます。)

15. [OK]を押す

- アドレス帳に次の宛先を登録するときは、手順 5 からの操作を繰り返してください。
- 操作が終了したら、**<リセット>**を押すと、待機画面に戻ります。

LAN 中継送信を指示する [LAN 中継同報指示]

ネットワーク上の中継局を経由して、一般の電話回線のファクスに送信できます。

お知らせ

●アドレス帳に LAN 中継同報指示の機能をあらかじめ登録しておくと、下記の操作をせず、アドレス帳の宛先を指定するだけで LAN 中継同報指示ができます。
アドレス帳への登録のしかたは、「LAN中継同報指示をするためのアドレス帳の設定」(p.172)を参照してください。

1. 原稿をセットする

● 詳しくは、『取扱説明書(基本編)』の「原稿セットのしかた(ファクス / インターネット FAX のとき)」を参照してください。

2. <ファクス>を押す

3. [詳細設定] を押す

4. [特殊通信] を押す

5. ↓を押す

6. [LAN 中継同報指示] を押す

- [LAN 中継同報指示]は、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]>[140 LAN 中継送信指示]が[あり]に設定されている場合に選択できます。

7. アドレス帳から中継局を選択するか、または中継局用のメールアドレスを入力する

- 中継局として登録できる宛先は 1 か所だけです。
- メールアドレスの設定については、「メールアドレスを入力する」(p.134)を参照してください。

8. <スタート>を押す

9. 中継送信先を選択する

- 宛先の指定については、「宛先を指定する」(p.18)を参照してください。
- 中継送信先として登録されている複数の宛先を選択できます。

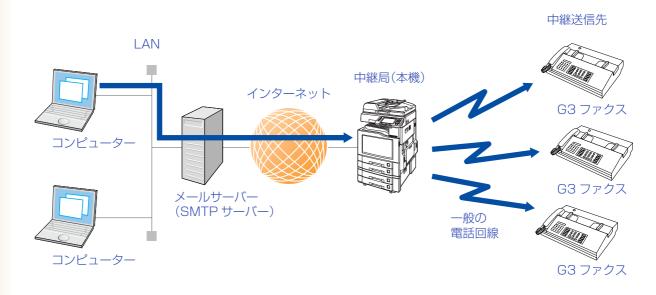
10. <スタート>を押す

中継局へ、中継送信先の電話番号と共にEメールが送信されます。
中継局から中継送信先への送信が完了すると、通信結果レポートが届きます。

お知らせ

- 正常に送信できなかった場合は、メールサーバー(SMTPサーバー)からエラーメールが届き、本機で印刷されます。
  エラーメールには、エラーメッセージと、1ページ目の画像が記載されており、送信できなかった内容を知ることができます。
  詳しくは、「Eメールを送信できないときは」(p.156)を参照してください。

コンピューターから LAN 中継送信を指示する

メールアプリケーションソフトを使って TIFF-F 形式のファイルを添付した E メールを送信し、メールサーバー(SMTP サーバー)を経由して複数の宛先のファクスへ同報送信できます。

中継局 (本機) でこの機能を使うためには、事前に、次ページの設定が必要です。

■コンピューターからの LAN 中継送信指示の操作

コンピューターから LAN 中継送信指示をする場合、メールアプリケーションソフトの宛先(To)に相当するフィールドに、次のように入力します。

入力例: **sg-rly#8133111234@singapore.panasonic.co.sg**

入力例	説明
sg-rly	中継用パスワードを入力します(中継局の自局情報の、インターネット登録の内容と合わせる)。
#8133111234	電話番号を入力します。 #と@の間は電話番号のほか、アドレス帳の情報を入力することもできます。 ● PBX(交換機)などを利用して内線から外線へ発信する場合にポーズが必要なときは、外部アクセス番号のあとに「−」(ハイフン)を入力し、そのあとに中継送信先の電話番号を入力してください。
@singapore.panasonic.co.sg (singapore：ホスト名　panasonic.co.sg：ドメイン名)	DNS サーバーへ登録されたホスト名とドメイン名が入ります。

お知らせ

- LAN 中継送信が完了すると、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[00 自局情報の登録]>[37 管理者メールアドレス]で登録している中継局の管理者のコンピューターへ、送信通知メールが返送されます。
  送信通知メールには、通信結果レポートとして中継結果が記載されています。このEメールにより、中継結果を確認できます。

■便利なアプリケーションソフトについて

コンピューターから E メールを送信する場合の便利なアプリケーションソフトについて説明します。
ここで説明する TIFF コンバーター、および MAPI アプリケーションは、以下の URL からダウンロードできます。

http://www.panasonic.co.jp/pcc/info/dwnld.html

❑TIFF コンバーター

TIFF コンバーターは、アプリケーションソフトのファイルなどを、インターネット FAX に対応した TIFF (TIFF-F) 形式へ変換するアプリケーションソフトです。

MS-Word や Excel などで作成したファイル(*.doc 形式、*.xls 形式のファイル)をそのままを E メールに添付してインターネット FAX に送信することはできません。

MS-Word や Excel などで作成したファイルを、コンピューターからインターネット FAX に送信する場合は、あらかじめ TIFF コンバーターを使って、インターネット FAX に対応した TIFF(TIFF-F) 形式のファイルへ変換する必要があります。

お知らせ

●変換時の解像度は、通常 200dpi を選択してください。400dpi は、あらかじめ受信側に 400dpi の処理能力がある場合に使用します。

❑MAPI アプリケーション

MAPI アプリケーションソフトは、TIFF(TIFF-F) 形式に変換したあと、MAPI を使って E メールアプリケーションを自動的に起動するアドインプログラムです。

MAPI に対応した E メールアプリケーションと連動することにより、MS-Word、Excel などのアプリケーションソフトから、印刷と同じような操作で、インターネット FAX へ送信できます。

LAN 中継送信の通信結果

LAN 中継送信を使用した場合、中継局から中継指示局と管理者のコンピューターに対し、以下の 2 つのレポートが送信されます。

このレポートを受信した中継指示局と管理者のコンピューターでは、次の内容を確認できます。

- 中継指示局. . . . . 指示した LAN 中継送信の通信結果
- 管理者のコンピューター . . . . 通信ログ

❏ 中継送信レポート（通信結果レポート）

終了すると、中継指示局にはLAN中継送信指示したことを示す中継送信レポート（通信結果レポート）が送信されます。

お知らせ

- 中継送信レポート（通信結果レポート）は、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]＞[04 キーオペレーター専用]＞[01 システムの登録]＞[143 LAN 中継結果返送]が[全通信]または[異常時]に設定されているときに送信されます。

通 信 結 果 レ ポ ー ト

01 ページ—(1)
DP−C322 AJVO1050AZ —(2)
パナソニック —(3)

05 年 08 月 07 日 14 時 04 分—(4)

＊＊＊ 未通信があります。＊＊＊

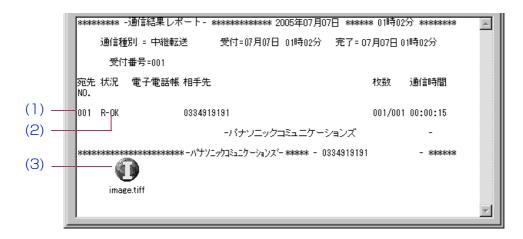
受付番号 ： 012 —(5)
受付日時 ： 05 年 08 月 07 日 13 時 58 分 —(6)
完了日時 ： 05 年 08 月 07 日 14 時 04 分 —(7)

No.	項目	説明
(1)	ページ番号	通信結果レポートのページ数です。
(2)	機種名と ROM No.	本機の機種名と ROM No. です。
(3)	発信元	自局の発信元情報が 20 文字まで記載されます。
(4)	印刷した日時	通信結果レポートを印刷した日時です。
(5)	受付番号	受け付け順につけられる番号です。
(6)	受付日時	通信を受け付けた日時です。
(7)	完了日時	通信が終了した日時です

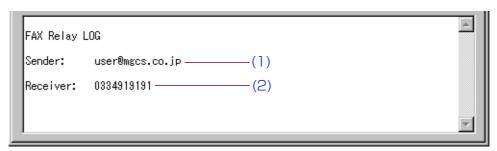
❑ 送信通知メールの E メール

中継局で LAN 中継送信が終了すると、中継局に登録されている管理者のコンピューターへ、LAN 中継同報通信の結果が、送信通知メールとして返送されます。

お知らせ

●管理者のコンピューターは、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[00 自局情報の登録]>[37 管理者メールアドレス]で登録します。

No.	説明
(1)	LAN 中継同報の宛先順に 001 から順に番号がつきます。
(2)	通信結果です。
(3)	送信した原稿が添付されます。

❏ 管理者宛の E メール

中継局で LAN 中継送信が終了すると、中継指示局の管理者用のコンピューターに対しては送信通知の E メールが届きます。

No.	説明
(1)	送信者のインターネット FAX またはコンピューターのメールアドレスです。
(2)	中継送信先の電話番号です。

知っておくと便利な用語

■DHCP(Dynamic Host Configuration Protocol)

DHCP とは、インターネット FAX とクライアントのコンピューターに IP アドレスを自動的に割り当てるためのプロトコルです。インターネット FAX は DHCP を使うとネットワークに接続するたびに自動的に固有の IP アドレスを取得でき、ネットワーク管理者の IP アドレス管理の手間が省けるようになります。

ネットワークにログオンしたインターネット FAX に対して DHCP サーバーがマスターリストから選んだ IP アドレスを割り当てます。

本機でダイレクトインターネット FAX を使うには、DHCP は使わずに、ネットワーク管理者によって設定済みの IP アドレスおよび環境設定を使う必要があります。詳しくは、サービス実施会社にお問い合わせください。

■SMTP 認証

世界規模の電子的なインフラストラクチャーとしてインターネットが登場して以来、通信機器市場は飛躍的に伸びています。しかし、インターネットのセキュリティを高める技術は、まだ確固としたものが出ていません。この理由はいくつかあります。

1. インターネットメールはマルチホップ(雑多なプロトコル、雑多なデバイス)の構造体であり、通信路をベースとしたセキュリティは一般的に実現が困難です。
2. インターネット FAX の標準規格が推奨する独占的な技術がありません。
3. システムの改善と健全化の標準的なソリューションとして今提供されているのは、暗号技術ベースの認証システムです。この認証記述は SASL(Simple Authentication and Security Layer)のような認証機構に統合されています。

インターネットのサービスプロバイダー(ISP)は、多くが何らかの認証方式を採用しています。本機が提供する認証オプションは以下のとおりです。

1. SMTP 認証拡張サービス(SMTP AUTH)
   接続時にユーザー名とパスワードによる認証が行われるため、特定ユーザー以外の送信や中継を防止できる方法です。
2. APOP 認証サービス(APOP)
   E メールの送受信に使われるパスワードを暗号化する方法です。
3. POP before SMTP
   送信前に指定した POP3 サーバーにあらかじめアクセスさせることにより、メールサーバーの使用許可を与える方法です。

6章
通信予約ファイルを操作する

この章では、通信予約ファイルの確認や、消去のしかたについて説明しています。

通信予約ファイルを確認する [通信予約の確認]

タイマー送信を指示したり、通信中に次の通信を指示すると、送信文書と通信の指示は、通信予約ファイルとして、メモリー内に蓄積されます。

通信予約ファイルはタッチパネルディスプレイに表示されるリストで確認でき、必要に応じて通信予約レポートとして印刷できます。

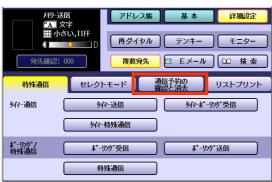
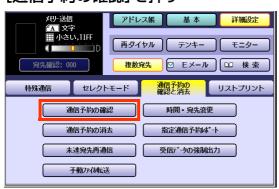
ここでは、通信予約ファイルを表示する操作、通信予約レポートを印刷する操作、および通信予約レポートの見かたを説明します。

■通信予約ファイルを確認する

タッチパネルディスプレイに通信予約ファイルを表示する場合は、次の手順で操作します。

1. **<ファクス>を押す**

2. **[詳細設定]を押す**

3. **[通信予約の確認と消去]を押す**

4. **[通信予約の確認]を押す**

5. **↑ または ↓ を押し、確認したい通信予約ファイルを表示する**

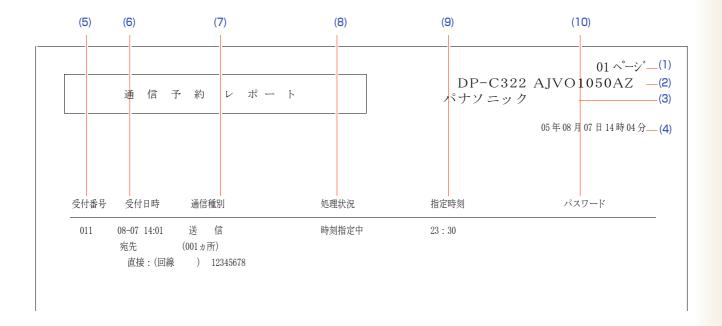
6. **通信予約レポートを印刷する場合は、[リストプリント]を押す**

7. **確認が終了したら、[OK]を押す**

- リスト印刷が終了したら、**<リセット>**を押すと、待機画面に戻ります。

■通信予約レポートの見かた

通信予約レポートに表示される項目は次のとおりです。

【レポート例】

No.	項目	説明
(1)	ページ番号	通信予約レポートのページ数です。
(2)	機種名と ROM No.	本機の機種名と ROM No. です。
(3)	発信元	自局の発信元情報が 20 文字まで記載されます。
(4)	印刷した日時	通信予約レポートを印刷した日時です。
(5)	受付番号	受け付け順につけられる番号です。
(6)	受付日時	通信予約を受け付けた日時が記載されます。
(7)	通信種別	次のいずれかが記載されます。 [送信]、[ファイル蓄積]、[パスワード送信]、[ポーリング送信]、[ポーリング受信]、[中継指示]、[マルチコピー通信]、[F コード送信]、[F 網通信]、[ファイル送信]
(8)	処理状況	通信の現在の状況が記載されます。 [時刻指定中]、[定期便指定中]、[予約中]、[中継依頼中]、[再ダイヤル待ち]、[再通信待ち]
(9)	指定時刻	タイマー通信の場合に、通信の予約時刻が表示されます。
(10)	パスワード	パスワードを使った通信の場合に、パスワードが記載されます。 ポーリング受信で時刻指定をしている場合、パスワードなしのときは、「----」と記載されます。

通信予約ファイルを変更する[時間・宛先変更]

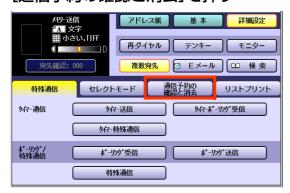
メモリー内に蓄積されているタイマー通信予約ファイルに対し、宛先や通信時刻の設定を変更できます。

お知らせ

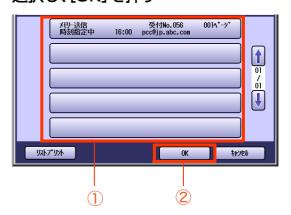
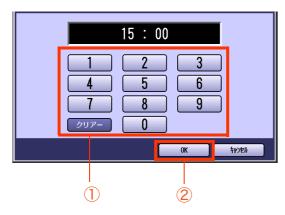
●通信中のタイマー通信予約ファイルは変更できません。

1. <ファクス>を押す

2. [詳細設定]を押す

3. [通信予約の確認と消去]を押す

4. [時間・宛先変更]を押す

5. ↑ または ↓ を押して、変更したい通信予約ファイルを表示する

6. 設定を変更したい通信予約ファイルを選択し、[OK]を押す

7. **通信時刻を変更し、[OK]を押す**

- 時刻を変更しない場合は、そのまま[OK]を押して手順８へ進みます。
- [クリアー]を押すと、入力した時刻を１文字ずつ削除できます。

8. **宛先を変更する**

- 宛先を変更する場合は、[削除]を押して宛先を削除してから、[追加]を押し、手順９に進みます。
- 宛先を追加する場合は、[追加]を押して手順９に進みます。

9. **宛先を設定し、[OK]を押す**

10. **変更が終了したら、[OK]を押す**

- 操作が終了したら、**<リセット>**を押すと、待機画面に戻ります。

通信予約ファイルを削除する [通信予約の消去]

メモリー内に蓄積されている通信予約したファイルを削除できます。

お知らせ

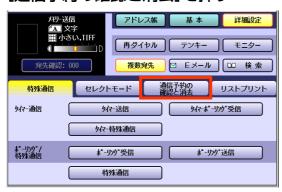
- 通信中の通信予約ファイルは削除できません。
  再ダイヤル待ちやタイマー送信などの通信予約ファイルは、通信が開始されると[通信予約の消去]を使って削除することはできません。「通信を中止する」(p.44)を参照して通信を中止してください。

1. <ファクス>を押す

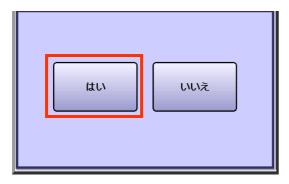
2. [詳細設定]を押す

3. [通信予約の確認と消去]を押す

4. [通信予約の消去]を押す

5. ↑ または ↓ を押して、削除したい通信予約ファイルを表示する

6. 削除したい通信予約ファイルを選択し、[OK]を押す

- [全ファイル]を押すと、すべての通信予約ファイルを選択できます。
- [全ファイル]を押すと、ファイル送信用に蓄積した文書(p.73)も削除されます。
- 削除を中止する場合は、[キャンセル]を押します。

7. [はい]を押す

- 削除を中止する場合は、[いいえ]を押します。
- 削除後、通信結果レポートが印刷されます。
  通信結果レポートの見かたについては、「通信結果レポート」(p.250)を参照してください。
- 操作が終了したら、**<リセット>**を押すと、待機画面に戻ります。

指定通信予約レポートを印刷する [指定通信予約レポート]

■指定通信予約レポートを印刷する

メモリー内に蓄積されている通信予約ファイルのひとつを印刷し、内容の一部を確認できます。

お知らせ

●通信中の通信予約ファイルは印刷できません。

1. **<ファクス>を押す**

2. **[詳細設定]を押す**

3. **[通信予約の確認と消去]を押す**

4. **[指定通信予約レポート]を押す**

5. **↑ または ↓ を押して、印刷したい通信予約ファイルを表示する**

6. **印刷したい通信予約ファイルを選択し、[OK]を押す**

選択した通信予約ファイルのレポートが印刷されます。

- 印刷操作を中止する場合は、[キャンセル]を押します。
- リスト印刷が終了したら、**<リセット>**を押すと、待機画面に戻ります。

■指定通信予約レポートの見かた

指定通信予約レポートに表示される項目は次のとおりです。

【レポート例】

No.	項目	説明
(1)	ページ番号	指定通信予約レポートのページ数です。
(2)	機種名と ROM No.	本機の機種名と ROM No. です。
(3)	発信元	自局の発信元情報が 20 文字まで記載されます。
(4)	印刷した日時	指定通信予約レポートを印刷した日時です。
(5)	受付番号	受け付け順につけられる番号です。
(6)	受付日時	通信予約を受け付けた日時が記載されます。
(7)	通信種別	次のいずれかが記載されます。 ［送信］、［パスワード送信］、［ポーリング送信］、［ポーリング受信］、［中継指示］、［マルチコピー通信］、［F コード送信］、［F 網通信］、［ファイル送信］
(8)	処理状況	通信の現在の状況が記載されます。 ［時刻指定中］、［定期便指定中］、［予約中］、［中継依頼中］、［再ダイヤル待ち］、［再通信待ち］
(9)	指定時刻	タイマー通信の場合に、通信の予約時刻が表示されます。
(10)	パスワード	パスワードを使った通信の場合に、パスワードが記載されます。 ポーリング受信で時刻指定をしている場合、パスワードなしのときは、「----」と記載されます。

通信エラー文書を再送信する[未達宛先再通信]

通信エラー(相手の話し中や無応答で通信できなかった場合)の原稿を、通信エラーファイルとしてメモリーに蓄積できます。

この機能は、ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]＞[04 キーオペレーター専用]＞[01 システムの登録]＞[31 未通信ファイル保存]が[あり]に設定されている場合に使えます。

ここでは、蓄積された通信エラーファイルを、再送信する操作について説明します。

お知らせ

- お買い上げ時、ファンクション設定の[31 未通信ファイル保存]は[なし]に設定されています。
  設定を変更する場合は、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。

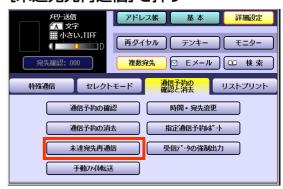
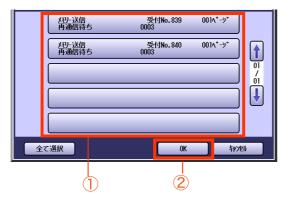
  なお、[31 未通信ファイル保存]を[あり]に設定すると、通信エラーが発生するたびに送信文書が通信エラーファイルとしてメモリーに蓄積されます。メモリーオーバーを避けるため、メモリー内の通信エラーファイルを定期的にチェックしてください。
- 通信エラーファイルとしてメモリーに蓄積されたファイルは、通信予約ファイルと同様に扱われます。
  通信エラーファイルを削除したり、印刷して確認する操作については、「通信予約ファイルを確認する[通信予約の確認]」(p.186)、「通信予約ファイルを削除する[通信予約の消去]」(p.190)、「指定通信予約レポートを印刷する[指定通信予約レポート]」(p.192)を参照してください。

1. **<ファクス>を押す**

2. **[詳細設定]を押す**

3. **[通信予約の確認と消去]を押す**

4. **[未達宛先再通信]を押す**

5. **↑ または ↓ を押して、再送信したい通信エラーファイルを表示する**

6. **再送信したい通信エラーファイルを選択し、[OK]を押す**

通信エラーファイルが再送されます。

- すべての未達宛先ファイルを再送するときは、[全て選択]を押します。
- 再送操作を中止する場合は、[キャンセル]を押します。

代行受信文書を強制的に印刷する [受信データの強制出力]

代行受信文書を強制的に他のサイズの用紙に印刷できます。印刷できる文書は、最初にメモリーに蓄積された代行受信文書です。

この機能は、ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]＞[04 キーオペレーター専用]＞[01 システムの登録]＞[66 代行出力]が[なし]に設定されている場合に使います。

ここでは、代行受信文書を強制的に印刷する操作について説明します。

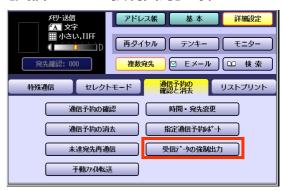
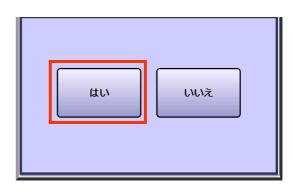
お知らせ

- 代行受信については、「メモリー代行受信について」(p.109)を参照してください。
- お買い上げ時、ファンクション設定の[66 代行出力]は[あり]に設定されています。
  設定を変更する場合は、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。

1. <ファクス>を押す

2. [詳細設定]を押す

3. [通信予約の確認と消去]を押す

4. [受信データの強制出力]を押す

5. [はい]を押す

受信文書が印刷されます。

代行受信文書を手動で転送する[手動ファイル転送]

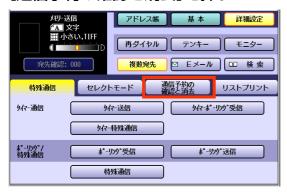
メモリー内に蓄積されている代行受信文書を、手動で別の宛先に転送できます。

お知らせ

●代行受信については、「メモリー代行受信について」(p.109)を参照してください。

1. <ファクス>を押す

2. [詳細設定]を押す

3. [通信予約の確認と消去]を押す

4. [手動ファイル転送]を押す

5. 転送先を選択し、<スタート>を押す

代行受信文書が転送されます。

7 章
データを登録する

この章では、アドレス帳やプログラムダイヤルの登録 / 変更 / 削除の操作、およびリモート登録の操作について説明しています。

アドレス帳を登録する

■アドレス帳とは

アドレス帳は、あらかじめ電話番号やメールアドレスを登録しておき、通信時にタッチパネルディスプレイ上の宛先名のボタンを押すだけで宛先を設定できる機能です。

●宛先を[お好み]に登録しておくと、アドレス帳の[お好み]タブに表示できます。よく使う宛先は、[お好み]に登録しておくと便利です。

●検索文字を登録しておくと、検索タブ([あ]～[ら / わ])を利用して宛先を選択できます。

お知らせ

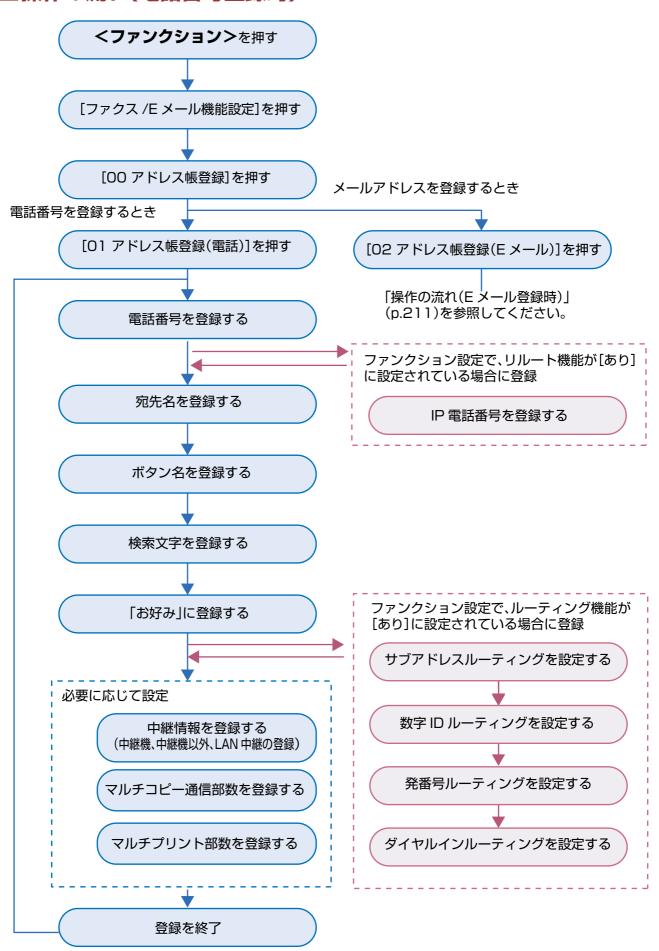
●アドレス帳に電話番号やメールアドレスを登録する操作については、「アドレス帳に電話番号を登録する」(p.203)、「アドレス帳にメールアドレスを登録する」(p.212)を参照してください。

●アドレス帳の登録内容は、アドレス帳リストで確認できます。「アドレス帳リスト」(p.254)を参照してください。

■アドレス帳に登録できる項目（電話番号登録時）

<table>
<tr><th>No.</th><th>項目</th><th colspan="2">内容</th></tr>
<tr><td>1</td><td>電話番号</td><td colspan="2">アドレス帳に電話番号を登録します。52 桁まで登録できます。</td></tr>
<tr><td>2</td><td>IP 電話番号</td><td colspan="2">アドレス帳に IP 電話番号を登録します。52 桁まで登録できます。</td></tr>
<tr><td>3</td><td>宛先名</td><td colspan="2">宛先の名前です。20 文字まで登録できます。</td></tr>
<tr><td>4</td><td>ボタン名</td><td colspan="2">タッチパネルディスプレイのアドレス帳に表示するボタン名です。
10 文字まで登録できます。</td></tr>
<tr><td>5</td><td>検索文字</td><td colspan="2">タッチパネルディスプレイでアドレス帳を検索するときの、検索文字を登録します。
カタカナで 10 文字まで登録できます。
●英数字を入力すると、アドレス帳画面の「あ」行に表示されます。ただし、英数字は検索文字としては使用できません。</td></tr>
<tr><td>6</td><td>お好み</td><td colspan="2">登録した宛先を、アドレス帳の[お好み]タブに表示したいときに[はい]を押します。
[お好み]タブに表示できる宛先は、15 宛先までです。</td></tr>
<tr><td>7</td><td>SUB ルーティング</td><td>F コードのサブアドレスを利用したルーティングをする場合に登録します。
サブアドレスは、20 桁まで登録できます。</td><td rowspan="3">ファンクション設定（ファクス /E メール機能設定）で、機能が設定されている場合に表示されます。</td></tr>
<tr><td>8</td><td>数字 ID ルーティング</td><td>数字IDを利用したルーティングをする場合に登録します。
数字 ID は、20 桁まで登録できます。</td></tr>
<tr><td>9</td><td>発番号ルーティング</td><td>発信者番号を利用したルーティングをする場合に登録します。
発信者番号は、20 桁まで登録できます。</td></tr>
<tr><td>10</td><td>ダイヤルインルーティング</td><td>ダイヤルイン番号を利用したルーティングをする場合に登録します。
ダイヤルイン番号は、リストから選択できます。</td><td></td></tr>
<tr><td>11</td><td>＊
中継情報の登録</td><td>中継同報指示、LAN 中継同報指示を登録するときに登録します。
・中継機 .... 中継局を登録します。
・中継機以外................ 中継送信先を登録します。
・LAN 中継の登録 ...... LAN 中継同報指示を登録します。</td><td>LAN 中継同報指示は、ファンクション設定（ファクス /E メール機能設定）で、機能が設定されている場合に設定できます。</td></tr>
<tr><td>12</td><td>＊
マルチコピー通信部数の指定</td><td colspan="2">マルチコピー通信を登録するときに登録します。</td></tr>
<tr><td>13</td><td>＊
マルチプリント部数の指定</td><td colspan="2">マルチプリント部数を登録するときに登録します。</td></tr>
</table>

＊マークの項目は、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]＞[04 キーオペレーター専用]＞[01 システムの登録]＞[104 アドレス帳ダイヤル情報]が[あり]に設定されている場合に表示されます。

■操作の流れ（電話番号登録時）

■アドレス帳に電話番号を登録する

アドレス帳に電話番号を登録する場合は、次の手順で操作します。

お知らせ

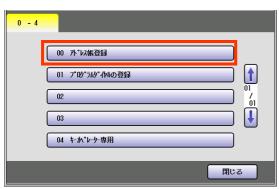
●登録したアドレス帳を変更する操作については、「アドレス帳を変更する」(p.215)を参照してください。

●登録したアドレス帳を削除する操作については、「アドレス帳を削除する」(p.216)を参照してください。

●IP 電話番号をアドレス帳に登録する場合は、「IP 電話サービスを使ってファクス送信する」(p.52)を参照してください。

1. <ファンクション>を押す

2. [ファクス /E メール機能設定]を押す

3. [00 アドレス帳登録]を押す

4. [01 アドレス帳登録(電話)]を押す

5. 電話番号を入力し、[OK]を押す

- 電話番号は、52 桁まで入力できます。
- [クリアー]を押すと、電話番号を 1 文字ずつ消去できます。
- 電話番号の入力については 「電話番号を入力する」(p.18)を参照してください。
- オプションのG3増設ユニット(DA-FG322)または G4 通信ユニット (DA-FG323) を装着している場合は、[回線選択]を押すことで送信時の回線を指定して登録できます。(G4 通信ユニットを装着している場合に、G4 回線(「G4」または「G3(I)」)から送信するときは、必ず回線を指定して登録してください。)

6. 宛先名を入力し、[OK]を押す

- 宛先名は、20 文字まで入力できます。
- 文字入力のしかたは、『取扱説明書（基本編）』の「文字入力のしかた」を参照してください。

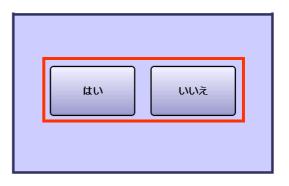
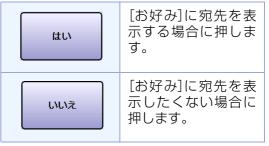
7. ボタン名を入力し、[OK]を押す

- ボタン名は、10 文字まで入力できます。

8. 検索文字を入力して、[OK]を押す

- 検索文字は、10 文字まで入力できます。
- 検索文字は、アドレス帳で宛先を検索するときに使う文字です（[あ]～[ら/わ]の仕分けにも使われます）。宛先名のフリガナなどをカタカナで入力します。
- 英数字を入力すると、アドレス帳画面の「あ」行に表示されます。
ただし、英数字は検索文字としては使用できません。

9. [お好み]に表示するかどうかを選択する

はい	[お好み]に宛先を表示する場合に押します。
いいえ	[お好み]に宛先を表示したくない場合に押します。

- [お好み]に登録できる宛先は 15 宛先です。すでに 15 宛先登録されている場合、上の画面は表示されません。

10. [OK]を押す

- この画面は、ファンクション設定の[ファクス/E メール機能設定]＞[04 キーオペレーター専用]＞[01 システムの登録]＞[104 アドレス帳ダイヤル情報]が[あり]に設定されている場合に表示されます。
- アドレス帳に特殊機能を設定する場合は、「通信機能を登録する」（p.206）を参照してください。
- アドレス帳にルーティング機能を設定する場合は、「ルーティングに必要なアドレス帳の設定」（p.99）を参照してください。
- アドレス帳に次の宛先を登録するときは、手順 5 からの操作を繰り返してください。
- 操作が終了したら、操作パネルの**<リセット>**を押すと、待機画面に戻ります。

■通信機能を登録する

アドレス帳に各種通信機能を登録する場合は、次の手順で操作します。

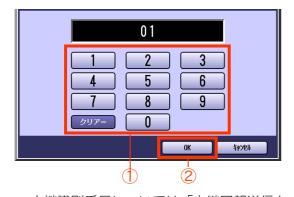
お知らせ
- ●通信機能を登録する画面は、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]＞[04 キーオペレーター専用]＞[01 システムの登録]＞[104 アドレス帳ダイヤル情報]が[あり]に設定されている場合に表示されます。
- ●アドレス帳にルーティング機能を登録する操作については、「ルーティングに必要なアドレス帳の設定」(p.99)を参照してください。
- ●中継同報指示については、「中継同報送信を指示する[中継同報指示]」(p.68)を参照してください。
- ●マルチコピー通信部数については、「受信側で複数部数印刷させる[マルチコピー通信]」(p.82)を参照してください。
- ●マルチプリント部数については、「マルチプリント部数」(p.108)を参照してください。

❑ 中継局を登録する

1. 「アドレス帳に電話番号を登録する」(p.203)の手順 1 ～ 9 を行う

2. [中継情報の登録]を押す

3. [中継機]を選択し、[OK]を押す

4. 中継識別番号(2桁)を設定し、[OK]を押す

- ● 中継識別番号については、「中継同報送信とは」(p.68)を参照してください。

5. 2 次中継局を経由する場合は、2 次中継識別番号(2 桁)を設定し、[OK]を押す

- ● 2次中継局を経由しない場合は、何も入力せずに[OK]を押します。

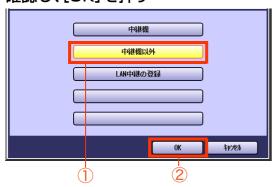
6. [OK]を押す

- ● 操作が終了したら、操作パネルの**<リセット>**を押すと、待機画面に戻ります。
- ● アドレス帳に次の宛先を登録するときは、電話番号の入力から操作してください。

❑ 中継送信先を登録する

1. 「アドレス帳に電話番号を登録する」(p.203)の手順 1 ～ 9 を行う

2. [中継情報の登録] を押す

3. [中継機以外] が選択されていることを確認し、[OK] を押す

4. 中継同報先の識別番号(2 桁)を設定し、[OK] を押す

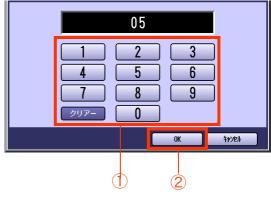
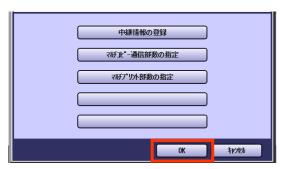
5. 中継局からのダイヤル方法を選択し、[OK] を押す

- [短縮]、[内線] を選択した場合は、手順 6 に進みます。
- [直接] を選択した場合は、手順 7 に進みます。

6. 手順５の設定に応じて、短縮番号(7 桁まで)、内線番号(7 桁まで)を入力し、[OK] を押す

7. 2 次中継局の識別番号(2 桁)を設定し、[OK] を押す

- 2次中継局を経由しない場合は、何も入力せずに [OK] を押します。

＜次ページへ続く＞

8. [OK]を押す

- アドレス帳に次の宛先を登録するときは、電話番号の入力から操作してください。
- 操作が終了したら、操作パネルの**<リセット>**を押すと、待機画面に戻ります。

❑ LAN 中継同報指示を登録する

アドレス帳にLAN中継同報指示を登録する操作については、「LAN 中継同報指示をするためのアドレス帳の設定」(p.172)を参照してください。

お知らせ

- LAN中継同報指示については、「LAN中継機能を使う」(p.164)を参照してください。

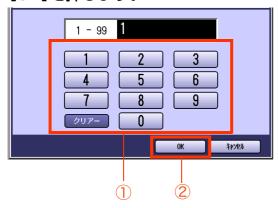
❑ マルチコピー通信部数を登録する

アドレス帳にマルチコピー通信部数を登録する場合は、次の手順で操作します。

- マルチコピー通信部数については、「受信側で複数部数印刷させる[マルチコピー通信]」(p.82)を参照してください。

1. 「アドレス帳に電話番号を登録する」(p.203)の手順 1 ～ 9 を行う

2. [マルチコピー通信部数の指定]を押す

3. マルチコピー通信部数を入力し、[OK]を押します。

4. [OK]を押す

- アドレス帳に次の宛先を登録するときは、電話番号の入力から操作してください。
- 操作が終了したら、**<リセット>**を押すと、待機画面に戻ります。

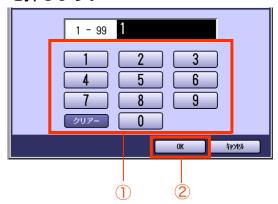
❑ マルチプリント部数を登録する

アドレス帳にマルチプリント部数を登録する場合は、次の手順で操作します。

- マルチプリント部数については、「マルチプリント部数」(p.108)を参照してください。

1. 「アドレス帳に電話番号を登録する」(p.203)の手順 1 ～ 9 を行う

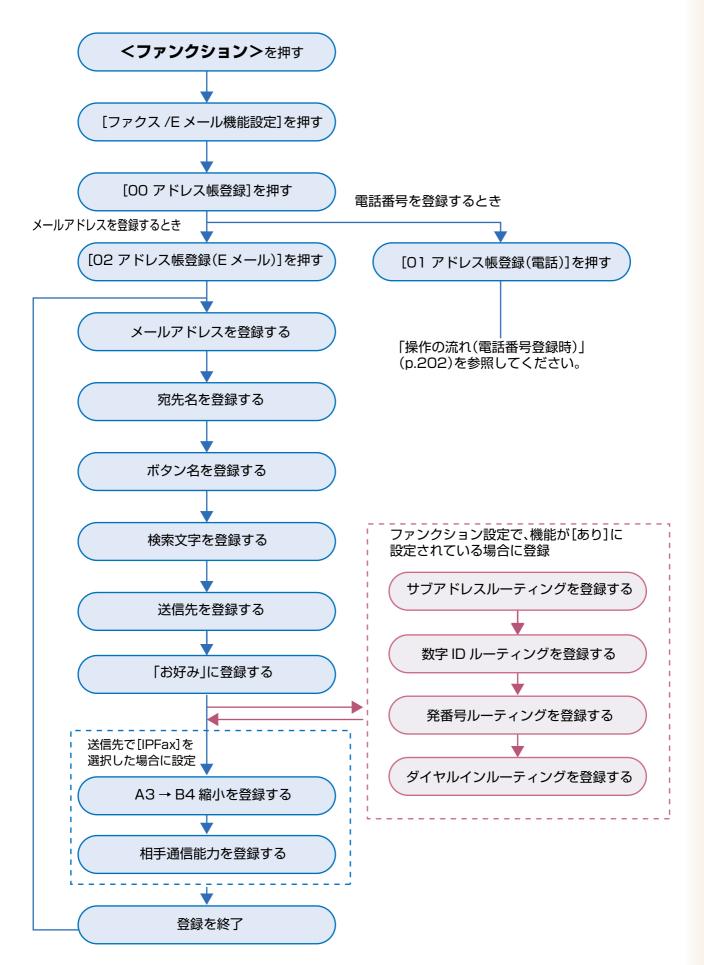
2. [マルチプリント部数の指定]を押す

3. マルチプリント部数を入力し、[OK]を押します。

4. [OK]を押す

- アドレス帳に次の宛先を登録するときは、電話番号の入力から操作してください。
- 操作が終了したら、**<リセット>**を押すと、待機画面に戻ります。

■アドレス帳に登録できる項目(E メール登録時)

No.	項目	内容	
1	メールアドレス	アドレス帳にメールアドレスを登録します。60 文字まで登録できます。	
2	宛先名	宛先の名前です。20 文字まで登録できます。	
3	ボタン名	タッチパネルディスプレイのアドレス帳に表示するボタン名です。10 文字まで登録できます。	
4	検索文字	タッチパネルディスプレイでアドレス帳を検索するときの、検索文字を登録します。 10 文字まで登録できます。 ●英数字を入力すると、アドレス帳画面の「あ」行に表示されます。ただし、英数字は検索文字としては使用できません。	
5	送信先	IPFax(インターネット FAX)、または PC(コンピューター)を選択します。	
6	お好み	登録した宛先を、アドレス帳の[お好み]タブに表示したいときに[はい]を押します。 [お好み]タブに表示できる宛先は、15 宛先までです。	
7	SUB ルーティング	F コードのサブアドレスを利用したルーティングをする場合に登録します。 サブアドレスは、20 桁まで登録できます。	ファンクション設定 (ファクス /E メール機能設定) で、機能が設定されている場合に設定できます。
8	数字 ID ルーティング	数字IDを利用したルーティングをする場合に登録します。 数字 ID は、20 桁まで登録できます。	
9	発番号ルーティング	発信者番号を利用したルーティングをする場合に登録します。 発信者番号は、20 桁まで登録できます。	
10	ダイヤルインルーティング	ダイヤルイン番号を利用したルーティングをする場合に登録します。 ダイヤルイン番号は、リストから選択できます。	
11	A3 → B4 縮小	A3 サイズを B4 サイズに縮小して送信するよう登録できます。	[送信先]で[IPFax]を選択した場合に表示されます。
12	相手通信能力	受信側で受信できる解像度を登録します。	

■操作の流れ(E メール登録時)

■アドレス帳にメールアドレスを登録する

アドレス帳にメールアドレスを登録する場合は、次の手順で操作します。

お知らせ

●アドレス帳にルーティング機能を登録する操作については、「ルーティングに必要なアドレス帳の設定」(p.99)を参照してください。

●登録したアドレス帳を変更する操作については、「アドレス帳を変更する」(p.215)を参照してください。

●登録したアドレス帳を削除する操作については、「アドレス帳を削除する」(p.216)を参照してください。

1. <ファンクション>を押す

2. [ファクス /E メール機能設定]を押す

3. [00 アドレス帳登録]を押す

4. [02 アドレス帳登録(E メール)]を押す

5. メール アドレスを入力し、[OK]を押す

- メールアドレスの入力については、「メールアドレスを入力する」(p.134)を参照してください。
- メールアドレスは、60 文字まで入力できます。
- 文字入力のしかたは、『取扱説明書(基本編)』の「文字入力のしかた」を参照してください。

6. 宛先名を入力し、[OK]を押す

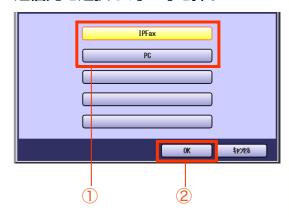
- 宛先名は、20 文字まで入力できます。
- 文字入力のしかたは、『取扱説明書（基本編）』の「文字入力のしかた」を参照してください。

7. ボタン名を入力し、[OK]を押す

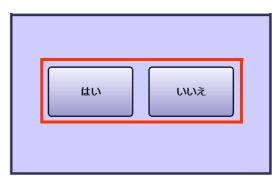
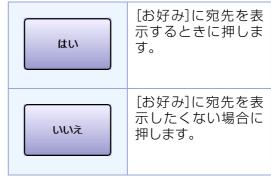
- ボタン名は、10 文字まで入力できます。

8. 検索文字を入力して、[OK]を押す

- 検索文字は、10 文字まで入力できます。
- 検索文字は、アドレス帳で宛先を検索するときに使う文字です（[あ]～[ら / わ]の仕分けにも使われます）。宛先名のフリガナなどをカタカナで入力します。
- 英数字を入力すると、アドレス帳画面の「あ」行に表示されます。
  ただし、英数字は検索文字としては使用できません。

9. 送信先を選択し、[OK]を押す

IPFax	送信先がインターネット FAX の場合に選択します。
PC	送信先がコンピューターの場合に選択します。

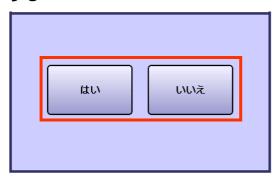
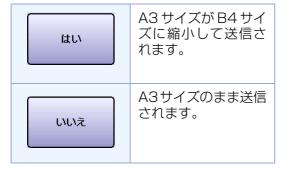
- 登録するメールアドレスを、スキャナー/E メール機能でも使う場合は、[PC]を選択します。

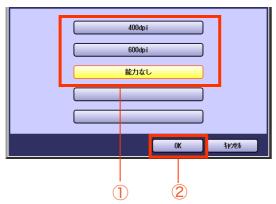
10. [お好み]に表示するかどうかを選択する

はい	[お好み]に宛先を表示するときに押します。
いいえ	[お好み]に宛先を表示したくない場合に押します。

- [お好み]に登録できる宛先は 15 宛先です。すでに 15 宛先登録されている場合、上の画面は表示されません。

＜次ページへ続く＞

11. 手順 9 で[IPFax]を選択した場合：A3 サイズの原稿を送信するときに B4 サイズに縮小するかどうかを選択する

はい	A3 サイズが B4 サイズに縮小して送信されます。
いいえ	A3サイズのまま送信されます。

- 相手機の能力に合わせて設定します。

12. 手順 9 で[IPFax]を選択した場合：相手側の能力を設定し、[OK]を押す

400dpi	受信側が 400dpi で受信できる場合に押します。
600dpi	受信側が 600dpi で受信できる場合に押します。
能力なし	600dpi、400dpi どちらも受信できない場合に押します。

- 相手機の能力に合わせて設定します。
- アドレス帳に次の宛先を登録するときは、手順 5 からの操作を繰り返してください。
- 操作が終了したら、**<リセット>**を押すと、待機画面に戻ります。

■アドレス帳を変更する

アドレス帳を変更する場合は、次の手順で操作します。

1. <ファンクション>を押す

2. [ファクス /E メール機能設定]を押す

3. [00 アドレス帳登録]を押す

4. [03 アドレス帳の変更]を押す

5. 変更したい宛先を選択し、[OK]を押す

- もう一度ボタンを押すと、選択を解除できます。

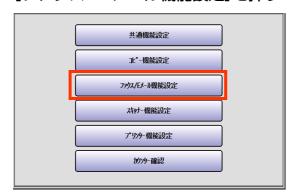
6. 内容を変更する

- 設定内容については、「アドレス帳に電話番号を登録する」(p.203)、「アドレス帳にメールアドレスを登録する」(p.212)を参照してください。
- 次の宛先を変更するときは、手順5～6の操作を繰り返してください。
- 操作が終了したら、**<リセット>**を押すと、待機画面に戻ります。

■アドレス帳を削除する

アドレス帳を削除する場合は、次の手順で操作します。

1. <ファンクション>を押す

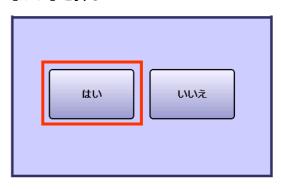
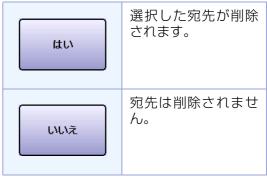
2. [ファクス /E メール機能設定] を押す

3. [00 アドレス帳登録] を押す

4. [04 アドレス帳の消去] を押す

5. 削除したい宛先を選択し、[OK] を押す

- もう一度ボタンを押すと、選択を解除できます。

6. [はい] を押す

はい	選択した宛先が削除されます。
いいえ	宛先は削除されません。

- 次の宛先を消去するときは、手順5～6の操作を繰り返してください。
- 操作が終了したら、**<リセット>**を押すと、待機画面に戻ります。

■アドレス帳リストを印刷する

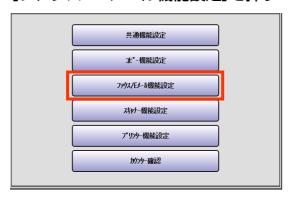
アドレス帳リストを印刷する場合は、次の手順で操作します。

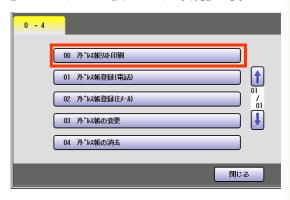
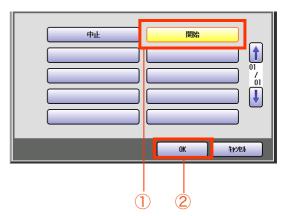
お知らせ

●アドレス帳リストは、[詳細設定]の[リストプリント]から印刷することもできます。

●アドレス帳リストについては、「アドレス帳リストの見かた」(p.255)を参照してください。

1. **<ファンクション>を押す**

2. **[ファクス /E メール機能設定]を押す**

3. **[00 アドレス帳登録]を押す**

4. **[00 アドレス帳リスト印刷]を押す**

5. **[開始]を選択し、[OK]を押す**

アドレス帳リストが印刷されます。

● リスト印刷が終了したら、**<リセット>**を押すと、待機画面に戻ります。

プログラムダイヤルを登録する

■プログラムダイヤルとは

プログラムダイヤルには、次の 3 種類の使い方があります。なお、プログラムダイヤルは、15 件まで登録できます。

❑ 操作手順を記憶したボタンとして使う

ファンクション設定で、プログラムダイヤルに通信の手順や宛先を登録しておくと、タッチパネルディスプレイに表示されるプログラム名のボタンを押すだけで、通信を設定できます。

登録方法は、「プログラムダイヤルを登録する」(p.219)を参照してください。

❑ グループダイヤルとして使う

プログラムボタンに、アドレス帳の宛先を複数選択して登録しておくと、グループダイヤルとして使うことができます。

登録方法は、「グループダイヤルを登録する」(p.221)を参照してください。

❑ POP 受信用のボタンとして使う

POP 受信サーバーのユーザー名、パスワードを登録しておくと、本機のメールアドレス以外のメールアドレスに宛てた E メールを受信できます。

登録方法は、「プログラムボタンに E メール 受信を設定する」(p.227)を参照してください。

お知らせ

●登録したプログラムダイヤルを使う操作については、「プログラムダイヤルを呼び出す」(p.49)を参照してください。

■プログラムダイヤルに登録できる項目

プログラムダイヤルには、次の項目を登録できます。

No.	項目	内容
1	プログラム名	プログラムの名前です。
2	ボタン名	ボタンの名前です。
3	通信機能	プログラムダイヤルに通信機能と宛先を登録します。

■プログラムダイヤルを登録する

プログラムダイヤルに通信機能を登録する場合は、次の手順で操作します。

お知らせ

- ●登録したプログラムダイヤルを削除する操作については、「プログラムダイヤルを削除する」(p.225)を参照してください。
- ●プログラムダイヤルの登録内容は、プログラムダイヤルリストで確認できます。「プログラムダイヤルのリスト」(p.258)を参照してください。

1. **<ファンクション>を押す**

2. **[ファクス /E メール機能設定]を押す**

3. **[01 プログラムダイヤルの登録]を押す**

4. **[02 プログラムダイヤルの登録]を押す**

5. **プログラムダイヤルの名前を入力し、[OK]を押す**

- 名前は 20 文字まで入力できます。
- 文字入力のしかたは、『取扱説明書(基本編)』の「文字入力のしかた」を参照してください。

< 次ページへ続く >

6. **プログラムダイヤルのボタン名を入力し、[OK]を押す**

- ボタン名は 10 文字まで入力できます。

7. **登録したい通信機能を設定する**

- 操作については、「3 章　便利なファクス機能」(p.57)を参照してください。

8. **宛先を設定する**

- 操作については、「宛先を指定する」(p.18)を参照してください。

9. **<スタート>を押す**

プログラムダイヤルが登録されます。

- 次のプログラムダイヤルを登録するときは、手順 4 からの操作を繰り返してください。
- 操作が終了したら、**<リセット>**を押すと、待機画面に戻ります。

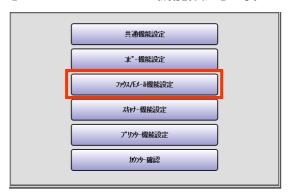
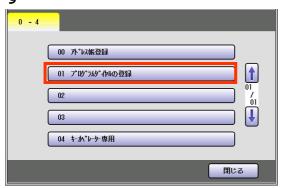
■グループダイヤルを登録する

プログラムダイヤルにグループダイヤルを登録する場合は、次の手順で操作します。

お知らせ

- ●登録したグループダイヤルを変更する操作については、「グループダイヤルを変更する」(p.223)を参照してください。
- ●登録したグループダイヤルを削除する操作については、「プログラムダイヤルを削除する」(p.225)を参照してください。
- ●グループダイヤルの登録内容は、グループダイヤルリストで確認できます。「グループダイヤルリスト」(p.256)を参照してください。

1. <ファンクション>を押す

2. [ファクス /E メール機能設定]を押す

3. [01 プログラムダイヤルの登録]を押す

4. [01 グループダイヤルの登録]を押す

5. グループダイヤルの名前を入力し、[OK]を押す

- ● 名前は、20 文字まで入力できます。
- ● 文字入力のしかたは、『取扱説明書(基本編)』の「文字入力のしかた」を参照してください。

6. グループダイヤルのボタン名を入力し、[OK] を押す

- ボタン名は、10 文字まで入力できます。

7. グループダイヤルに登録する宛先を選択し、[OK] を押す

グループダイヤルが登録されます。

- 次のグループダイヤルを登録するときは、手順 4 からの操作を繰り返してください。
- 操作が終了したら、**<リセット>**を押すと、待機画面に戻ります。

■グループダイヤルを変更する

グループダイヤルを変更する場合は、次の手順で操作します。

1. <ファンクション>を押す

2. [ファクス /E メール機能設定]を押す

3. [01 プログラムダイヤルの登録]を押す

4. [03 グループダイヤルの変更]を押す

5. 変更したいグループダイヤルを選択し、[OK]を押す

①　②

● もう一度ボタンを押すと、選択を解除できます。

6. グループダイヤルの名前を変更し、[OK]を押す

①　②

● グループ名を変更しない場合は、そのまま[OK]を押します。

7. グループダイヤルのボタン名を変更し、[OK]を押す

①　②

● ボタン名を変更しない場合は、そのまま[OK]を押します。

＜次ページへ続く＞

8. **グループダイヤルに登録する宛先を選択し、[OK] を押す**

- 宛先を変更しない場合は、そのまま[OK]を押します。
- 選択されている宛先は、もう一度ボタンを押すと、選択を解除できます。
- 他のグループダイヤルを変更するときは、手順 4 からの操作を繰り返してください。
- 操作が終了したら、**<リセット>**を押すと、待機画面に戻ります。

■プログラムダイヤルを削除する

プログラムダイヤルを削除する場合は、次の手順で操作します。

1. **<ファンクション>を押す**

2. **[ファクス /E メール機能設定] を押す**

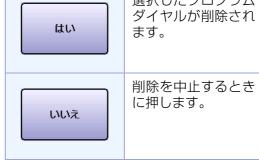
3. **[01 プログラムダイヤルの登録] を押す**

4. **[04 プログラム / グループの消去] を押す**

5. **削除したいプログラムダイヤルを選択し、[OK] を押す**

● もう一度ボタンを押すと、選択を解除できます。

6. **[はい] を押す**

はい	選択したプログラムダイヤルが削除されます。
いいえ	削除を中止するときに押します。

● 他のグループダイヤルを削除するときは、手順 5 からの操作を繰り返してください。

● 操作が終了したら、**<リセット>**を押すと、待機画面に戻ります。

■プログラムダイヤルのリストを印刷する

プログラムダイヤルのリストを印刷する場合は、次の手順で操作します。

お知らせ

- ●プログラムダイヤルのリストは、[詳細設定]の[リストプリント]から印刷することもできます。
- ●プログラムダイヤルのリストの見かたについては、「プログラムダイヤルのリストの見かた」(p.259)を参照してください。

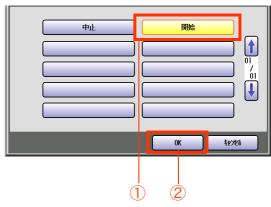
1. **<ファンクション>を押す**

2. [ファクス /E メール機能設定]を押す

3. [01 プログラムダイヤルの登録]を押す

4. [00 プログラムリスト印刷]を押す

5. [プログラムダイヤルリスト]を押す

6. [開始]を選択し、[OK]を押す

プログラムダイヤルのリストが印刷されます。

- ● リスト印刷が終了したら、**<リセット>**を押すと、待機画面に戻ります。

■プログラムボタンに E メール 受信を設定する

POP 受信サーバーに本機を接続している場合は、プログラムボタンに、本機のメールアドレス以外のメールアドレスに宛てた E メールを受信する機能を登録できます。

次の手順でメールアドレスとパスワードを入力します。

お知らせ

●手順 8 で、パスワードを設定せずにおくと、POP 受信時にパスワード入力が必要になります。
セキュリティを重視する場合は、手順 8 でパスワードを入力しないことをお勧めします。

1. <ファンクション>を押す

2. [ファクス /E メール機能設定] を押す

3. [01 プログラムダイヤルの登録] を押す

4. [5-9] を押す

5. [05 POP 手動受信登録] を押す

6. POP ユーザー名を入力し、[OK] を押す

● POP ユーザー名は、40 文字まで入力できます。

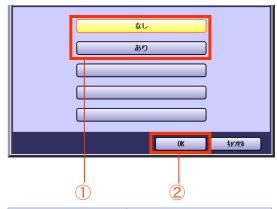
＜次ページへ続く＞

7. プログラムダイヤルのボタン名を入力し、[OK] を押す

- ボタン名は、10 文字まで入力できます。
- 文字入力のしかたは、『取扱説明書(基本編)』の「文字入力のしかた」を参照してください。

8. パスワードを入力し、[OK] を押す

- パスワードは、10 文字まで入力できます。
- パスワードを入力せずに [OK] を押すと、POP 受信時にパスワード入力が必要になります。
  セキュリティを重視する場合はパスワードを入力しないことをお勧めします。

9. POP 受信後に、POP 受信サーバーからメールを削除するかどうかを選択し、[OK] を押す

なし	POP 受信後、受信した E メールファイルは POP 受信サーバーから削除されません。
あり	POP 受信後、受信した E メールファイルは POP 受信サーバーから削除されます。

POP 手動受信用のプログラムボタンが登録されます。

- 操作が終了したら、**<リセット>**を押すと、待機画面に戻ります。
- POP 手動受信の登録を続けるときは、**<リセット>**を押さず、手順 6 の POP ユーザー名の登録から操作してください。

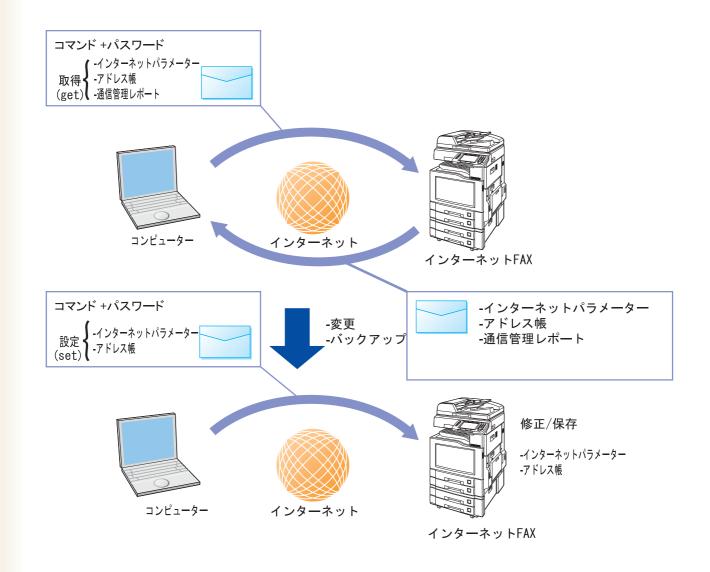
リモート登録

■リモート登録の概要

リモート登録とは、遠隔地のコンピューターから、E メールによって、本機のインターネットパラメーターやアドレス帳などの設定を変更できる機能です。

コンピューター から本機に対して E メールを送信することにより、自局情報のインターネットパラメーター、アドレス帳、通信管理レポートなどを登録したり、内容を取り出したりできます。

お知らせ

- この機能は、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]＞[04 キーオペレーター専用]＞[01 システムの登録]＞[158 メールリモート登録]が[あり]に設定されている場合に使えます。お買い上げ時は、[なし]に設定されています。
変更の操作については、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。

■使用できるコマンド

E メールの件名欄 を、コマンドラインフィールドとして使います。

本機では、次の表のコマンドを使用できます。

	件名に入力するコマンド	説明
1	#set parameters(password)#	インターネットパラメーターの登録
2	#get parameters(password)#	インターネットパラメーターの取り出し
3	#set abbr(password)#	アドレス帳の登録
4	#get abbr(password)#	アドレス帳の取り出し
5	#get jnl(password)#	現在の通信管理レポートの取り出し

- set: 登録を表します。
- get: 取り出しを表します。
- parameters: インターネットパラメーターを表します。
- abbr: アドレス帳を表します。
- jnl: 通信管理レポートを表します。
- password: 本機の自局情報の登録設定項目に登録されたリモートパスワード(例: 1234567890)を表します。
パスワードの両端はカッコ "( )" で囲みます。

●コマンドの両端は # で囲み、半角文字で入力します。

お知らせ

●本機に登録した場合、および取り出しを行なってエラーとなった場合、リモート登録を指示したアドレスへ確認の E メール ("Internet Fax Return Receipt") が送信されます。

❑ Internet Fax Return Receipt 例

■登録 / 取り出しできるインターネットパラメーター

リモート登録で登録 / 取り出しできるインターネットパラメーターは、次のとおりです。

- FROM 選択 (ユーザー名:最大 24 件まで)
- デフォルトドメイン
- セレクトドメイン(最大 10 件まで)
- 中継許可ドメイン(中継送信指示を許可するドメインを最大 10 件まで登録可能)
- 管理者メールアドレス
- 中継用パスワード (最大 5 件まで)
- ドメイン名(中継許可ドメイン名:最大 5 件、それぞれ 30 文字 まで)
- LDAP サーバー名(最大 60 文字まで)
- LDAP ログイン ユーザー名(最大 40 文字まで)
- LDAP パスワード(最大 10 文字まで)
- LDAP サーチベース(最大 60 文字まで)
- コミュニティー名
- デバイス名
- デバイスロケーション

お知らせ

- 上記以外のパラメーターは、本機のファンクション登録で自局情報の登録が必要です。
- インターネットパラメーターの登録や取り出しで入力するパスワードは、本機のインターネットパラメーター(自局情報) で設定したリモートパスワードです (例 :1234567890)。
- このコマンド(set parameters)を使用すると、現在のインターネットパラメーターの設定が上書きされます。
  念のため、「各種情報を取り出す」(p.232)で説明する取り出しを最初に実行し、そのデータを保存しておくことをお勧めします。

■各種情報を取り出す

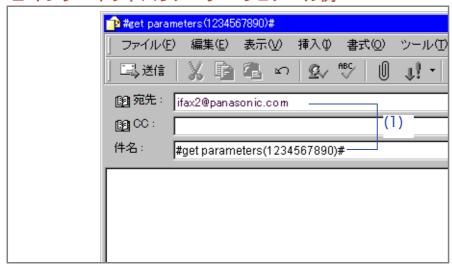
リモート登録では、インターネットパラメーター、アドレス帳、通信管理レポートを取り出しできます。

取り出しする場合は、以下に示すコマンドを[件名]欄に記述して、コンピューターから本機へ E メール(テキストメール)を送信します。

コマンド	取り出しできる情報
#get parameters(password)#	インターネットパラメーター(自局情報)
#get abbr(password)#	アドレス帳
#get jnl(password)#	通信管理レポート

お知らせ

- ここで入力するパスワードは、本機の自局情報へ登録されたリモートパスワードです。
- Cc 、Bcc などの欄は空欄で送信してください。

❑ インターネットパラメーターのＥメール例

(1)	・宛先 (To)	：	本機のメールアドレス
	・差出人 (From)	：	新規のＥメールメッセージを作成する場合、このフィールドは通常は表示されず、デフォルトのメールアドレスが入っています。このフィールドは、インターネットパラメーターの受信とエラーメッセージの通知に使用されます。
	・件名 (Subject)	：	データの取り出しをするには #get parameters(password)#、#get abbr(password)#、#get jnl(password)# のいずれかを記述します。

■通信管理レポートの扱いについて

● 通信管理レポートを取り出したら、固定幅のフォント (例：ターミナルやクーリエ) に変換し、取り出した通信管理レポートの内容をコンピューター 上で位置合わせしてください。

■取り出し／編集をしたインターネットパラメーターやアドレス帳のバックアップ／登録

取り出したインターネットパラメーターまたはアドレス帳を編集します。編集したデータは、バックアップの目的でテキスト形式 (.txt) のファイルとして保存しておきます。

各種情報を編集する場合は、次の手順で操作します。

1. **新規メッセージを作成し、宛先 、差出人 、件名 の各欄へ次のように記入します。**

●宛先 (To)　：　本機のメールアドレス

●差出人 (From)　：　新規の E メールメッセージを作成する場合、このフィールドは通常は表示されず、デフォルトのメールアドレスが入っています。このフィールドは、インターネットパラメーターの受信とエラーメッセージの通知に使用されます。

●件名 (Subject)　：　データ登録のためには、次のいずれかを記述します。
#set parameters(password)#
#set abbr(password)#

2. **取り出した各種情報のテキストファイルを開き、新規メッセージの本文へ貼り付けます。**

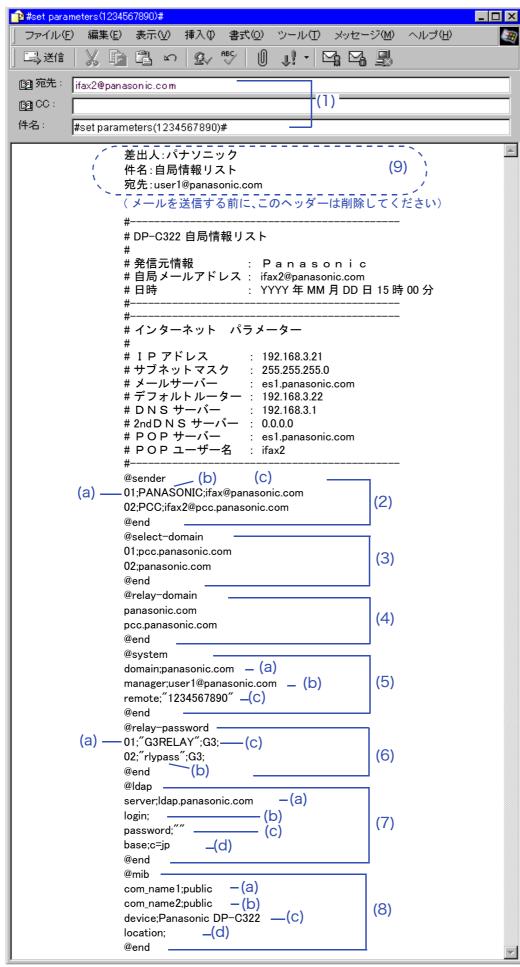
3. **エラーが発生しないように、Eメール本文にヘッダー情報がある場合は削除してください。**

お知らせ
● "#" に続く情報は、削除しても、そのまま残しておいてもかまいません。

4. **設定内容を編集します。**

5. **編集が完了したら、[ファイル] メニューの [別名で保存] を選択し、拡張子に .txt を設定してバックアップ用として保存します。**

6. **編集された各種情報を本機へ E メールとして送信します。**

❑ インターネットパラメーターのＥメール例

＜次ページへ続く＞

(1) 宛先 (To) ： 本機のメールアドレス

差出人 (From) ： 新規の E メールメッセージを作成する場合、このフィールドは通常は表示されず、デフォルトのメールアドレスが入っています。このフィールドは、インターネットパラメーターの受信とエラーメッセージの通知に使用されます。

件名 (Subject) ： データを登録するには #set parameters(password)# と記述します。

(2) @sender ～ @end ： From 選択を (2) の @sender ～ @end の間に記述します。
24 個以内で発信者選択用ユーザー名称、メールアドレスを登録します。
各データの区切りにセミコロン (;) を記入します。

各発信者選択用の記述データは、単一行で完結する必要があります。
構文は＜発信者選択番号＞ ; ＜ユーザー名称＞ ; ＜メールアドレス＞

(a) 01 ～ 24 :発信者選択番号の表示

(b) ユーザー名称:（全角かな漢字英数字で最大 20 文字）

(c) メールアドレス:（最大 60 桁）

(3) @select-domain ～ @end ： セレクトドメイン名を (3) の @select-domain ～ @end の部分へ記述します。セレクトドメイン名は最大 10 個まで登録できます。
構文は＜登録番号＞;＜セレクトドメイン＞

(4)@relay-domain ～ @end ： ドメイン名を (4) の @relay-domain ～ @end の部分へ記述します。インターネット FAX から一般のファクス へ LAN 中継送信を許可するドメイン名 (中継許可ドメイン名) を最大 10 個まで登録します。

(5)@system ～ @end ： インターネットパラメーターを (5) の @system ～ @end の部分へ設定します。
登録するインターネットパラメーターは次のとおりです。

(a) デフォルトドメイン（最大 50 桁）

構文は domain; ＜デフォルトドメイン＞

(b) 管理者メールアドレス（最大 60 桁）

構文は manager; ＜管理者のメールアドレス＞

(c) リモートパスワード（最大 10 桁）

構文は remote;"< リモートパスワード >"

例にならって " " でリモートパスワードを囲む必要があります。

(6) @relay-password ～ @end ： 中継用パスワードを(6) の@relay-password ～ @end の部分へ記述します。
5 個の中継用パスワードが登録できます。
各データの区切りにセミコロン (;) を記入します。
構文は＜中継用パスワード番号＞ ;" ＜中継用パスワード＞ "; ＜中継通信モード＞ ;

(a) 01 ～ 05: 中継用パスワード番号の表示

(b) 中継用パスワード（最大 10 桁）

例にならって " " で中継用パスワードを囲む必要があります。
中継用パスワードには、以下の特殊文字を登録しないでください。

「 (」,「) 」,「 < 」,「 > 」,「 [」,「] 」,「 : 」,「 ; 」,「 @ 」,「 \ 」,「 , 」,「 . 」,「 " 」

(c) LAN 中継時の通信モード

指定する通信モードに対して、下記の指定文字を使用する必要があります。

LAN 中継通信モード	指定文字
外線	G3
G4	G4
G3(I)	G3I

(7) @ldap ～ @end ： (a) LDAP サーバー名(1)(最大 60 文字の半角英数字)

構文は server;< サーバー名 >

(b) LDAP ログイン ; ユーザー名(最大 40 文字の半角英数字)

構文は login;< ユーザー名 >

(c) LDAP パスワード(最大 10 文字の半角英数字)

構文は password;“< パスワード >”

(d) LDAP サーチベース(最大 60 文字の半角英数字)

構文は base;< LDAP サーチベース >

(8) @mib ～ @end ： (a) コミュニティー名 1(最大 32 文字の半角英数字)

構文は com_name1;< コミュニティー名 >

(b) コミュニティー名 2(最大 32 文字の半角英数字)

構文は com_name2;< コミュニティー名 >

(c) デバイス名(最大 32 文字の半角英数字)

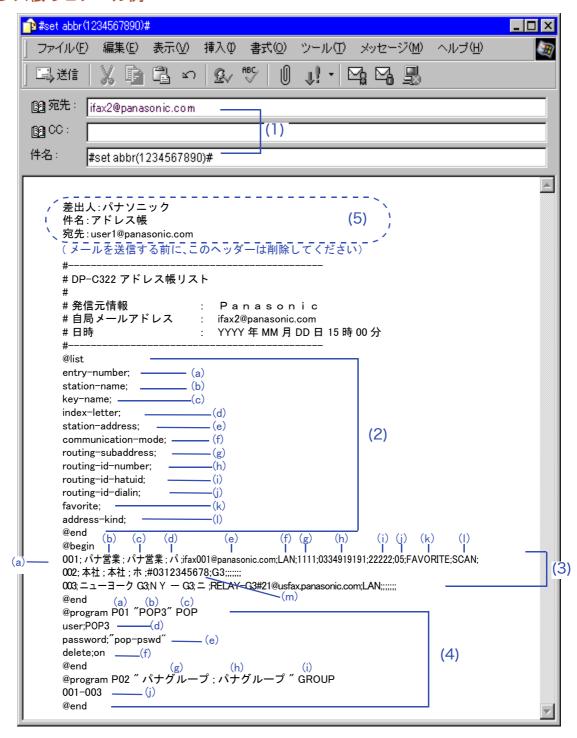
構文は device;< デバイス名 >

(d) デバイスロケーション(最大 32 文字の半角英数字)

構文は location;< デバイスロケーション >

(9)本機に E メールを送信してインターネットパラメーターを再設定する前にヘッダーを削除する必要があります。

＜次ページへ続く＞

❑ アドレス帳の E メール例

(1) 宛先 (To)	:	本機のメールアドレス
差出人 (From)	:	新規 E メールメッセージを作成するとき、通常このフィールドは表示されませんが、デフォルトのメールアドレスが入っています。このフィールドは、アドレス帳データの受信とエラーメッセージの通知に使用されます。
件名 (Subject)	:	データを登録するには、#set abbr(password)# と記述します。
(2) @list ～ @end	:	@list ～ @end の中に @begin ～ @end の中に記述する内容を指定します。

(a) entry-number	:	登録番号(必ず記述してください)
(b) station-name	:	宛先名称(必要なときに入れます)
(c) key-name	:	ボタン名称(必ず記述してください)

(d) index-letter : 検索文字(全角カタカナ)(必ず記述してください)

(e) station-address : 電子メールアドレスまたは電話番号(必ず記述してください)

(f) communication-mode : 通信モード(必要なときに入れます)

(g) routing-subaddress : ルーティングサブアドレス(必要なときに入れます)

(h) routing-id-number : ルーティング数字 ID(必要なときに入れます)

(i) routing-id-hatuid : ルーティング発番号(必要なときに入れます)

(j) routing-id-dialin : ルーティングダイヤルイン番号(必要なときに入れます)

(k) favorite : お好み (必要なときに入れます)

(l) address-kind : スキャナーE メールアドレス(必要なときに入れます)

(3) @begin ～ @end : @begin ～ @end の間にアドレス帳のデータを記述します。

情報を編集、削除します。

各データフィールドの区切りにセミコロン (;) を記入します。以降のフィールドが空白の場合は、区切りにセミコロン (;) を挿入します。

各記述データは、単一行で完結する必要があります。

@list ～ @end で記述した内容で構文を指定します。@begin の前に@list ～ @end を使って構文を指定していない場合は、デフォルトの構文は次のとおりになります。

<登録番号> ; <宛先名称> ; <ボタン名称> ; <検索文字> ; <宛先のアドレス> ; <通信モード> ; <ルーティングサブアドレス> ; <ルーティング数字 ID > ; <ルーティング数字発番号 > ; <ルーティングダイヤルイン番号> ; <お気に入り> ; <スキャナーE メール> ;

(a) 登録番号 : 登録されるアドレス帳番号

001 ～ 1000 :001 ～ 1000 のアドレス帳を示します。
(最大 1000 宛先。DP-C262/C322 は最大 200 宛先。オプションのハードディスク(DA-HD32) を装着している場合は 1000 宛先)

(b) 宛先名称 : 登録される宛先名称(全角かな漢字英数字で最大 20 文字)

(c) ボタン名称 : 登録されるボタン名称(最大 10 文字)

(d) 検索文字 : 登録される検索文字(全角カタカナで最大 10 文字)

(e) 宛先のアドレス : 電子メールアドレス(半角英数字で最大 60 桁)または電話番号(半角数字で最大 52 桁)

(f) 通信モード : 通信モードを下記指定文字で登録します。

LAN 中継通信モード	指定文字
外線	G3
G4	G4
G3(I)	G3I
LAN	LAN

＜次ページへ続く＞

(g) ルーティングサブアドレス　：ルーティングに使用されるサブアドレス
（半角数字で最大 20 桁）

(h) ルーティング数字 ID　：ルーティングに使用される数字 ID 番号
（半角数字で最大 20 桁）

(i)ルーティング発番号　：ルーティングに使用される発信者番号（半角数字で最大 20 桁）

(j)ルーティングダイヤルイン番号：ルーティングに使用されるダイヤルイン番号
（半角数字で 01 ～ 50）

（ダイヤルイン番号の登録については、『取扱説明書（ファンクション設定編）』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。）

(k)お好み　：「お好み」に登録するための構文です。登録する場合は "FAVORITE" と記述します。前後には半角ダブルクオーテーション (" ") を記述します。

(l)スキャナーE メールアドレス　：スキャナーE メールアドレスとしても登録するための構文です。登録する場合は "SCAN" と記述します。前後には半角ダブルクオーテーション (" ") を記述します。

(m) 電話番号の場合、シャープ記号 (#)のあとに入力します。

(4) @program ～ @end　：@program～@end の間に、グループダイヤル、またはPOP 手動受信キーとして登録されるプログラムのデータを記述します。
(a)(b)(c) を含む構文は
@program（半角スペース）<プログラム番号>（半角スペース）"<POP ボタン名称 >"（半角スペース)POP

(a) プログラム：P01 ～ 15

(b) POP ボタン名称　：登録される POP ボタン名称
（全角かな漢字英数字で最大 10 文字）

(c) POP　：プログラムボタンを POP 手動受信キーとして登録するための構文。
構文は
"<POP ボタン名称 >"（半角スペース）POP

(d) POP ユーザー名　：登録される POP ユーザー名
（最大 40 桁の半角英数記号）

(e) POP パスワード　：登録される POP パスワード
（最大10 桁の半角英数記号）前後には半角ダブルクオーテーション (" ") を記述します。

(f) E メールの受信後に POP サーバー上の E メールを削除するかどうかを設定します。
(off ：削除しません on ：削除します）

(g) グループダイヤル名称：
登録されるグループダイヤル名称（全角文字で最大 20 文字）

(h) ボタン名称　：　登録されるグループダイヤルのボタン名称 (全角文字で最大 10 文字)(必ず記述してください)

(i) GROUP　：　プログラムボタンをグループダイヤルとして設定するための構文。
構文は"< グループダイヤル名称>;< ボタン名称 >"GROUP

(j) 登録番号　：　登録されるアドレス帳
001 ～ 1000 :001 ～ 1000 のアドレス帳を示します。
(最大 1000 宛先。DP-C262/C322 は最大 200 宛先。オプションのハードディスク (DA-HD32) を装着している場合は 1000 宛先)

(5)本機に E メールを送信してアドレス帳を再設定する前に、このヘッダーを削除する必要があります。
"#" に続く情報は、削除しても、そのまま残しておいてもかまいません。

お知らせ

- 通信予約がある場合、E メール経由での登録はできません。
- アスタリスク"*"が先頭から5個連続するようなPOPパスワードを、Eメール経由で登録することはできません。インターネットパラメーターの取り出しを行なう場合、他人に知られないようにするため、POPパスワードが「*****」で表示されます。元の POP パスワードを上書きしたり、誤入力しないようにするため、本機では E メール経由では「*****」を登録できないようにしています。
アスタリスク"*"が先頭から5個連続するようなパスワードを登録したい場合は、本機の操作パネルから直接登録してください。

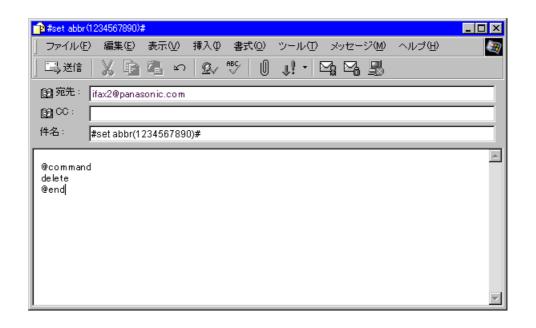
■アドレス帳全体の削除

本機のアドレス帳のデータ全体を削除する場合は、E メールの本文に以下のコマンドを入力します。

@command
delete
@end

このコマンドを @begin ～ @end ブロックの前に挿入して、アドレス帳のデータ全体を削除し、新しいデータでアドレス帳を再設定することもできます。

アドレス帳のデータ全体を削除するには、E メールの[件名]欄の行に以下のコマンドを入力します。

#set abbr(password)#: このパスワードは、本機の自局情報に登録されたリモートパスワードです。このコマンドを送信する前に、「各種情報を取り出す」(p.232)、「取り出し／編集をしたインターネットパラメーターやアドレス帳のバックアップ／登録」(p.234)で説明するデータの取り出しと編集の手順に従って、コンピューター への既存データの受信とバックアップを実行してください。

お知らせ

"delete" を行った場合、アドレス帳の内容は削除され、お買い上げ時の状態となります。

8章
レポート / リストについて

この章では、本機から印刷されるレポート / リストの印刷方法と、見かたについて説明しています。

通信管理レポート

通信管理レポートは、最新の 200 通信分の通信結果(送信・受信)が記録されたレポートです。
200 通信ごとに、自動的に印刷されます。

- ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]>[13 通信管理レポート]が[あり]に設定されている場合に自動的に印刷されます。
- ファンクション設定の通信管理レポートの設定にかかわらず、[詳細設定]の[リストプリント]から、手動で通信管理レポートを印刷できます。
- [詳細設定]の[リストプリント]の[通信管理レポート]で、[送信のみ]または[全通信]を選択すると、タッチパネルディスプレイで通信結果を確認できます。

ここでは、通信管理レポートを手動で印刷する操作、タッチパネルディスプレイで通信結果を確認する操作、および通信管理レポートの見かたを説明します。

お知らせ

●お買い上げ時、ファンクション設定の[13 通信管理レポート]は、[あり]に設定されています。
設定を変更する場合は、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。

■通信管理レポートを印刷する

通信管理レポートを印刷する場合は、次の手順で操作します。

1. **<ファクス>を押す**

2. **[詳細設定]を押す**

3. **[リストプリント]を押す**

4. **[通信管理レポート]を押す**

5. **[リストプリント]を押す**

通信管理レポートが印刷されます。

- リスト印刷が終了したら、**<リセット>**を押すと、待機画面に戻ります。

■通信結果をタッチパネルディスプレイで確認する

通信結果をタッチパネルディスプレイで確認する場合は、次の手順で操作します。

1. **<ファクス>を押す**

2. **[詳細設定]を押す**

3. **[リストプリント]を押す**

4. **[通信管理レポート]を押す**

5. **[送信のみ]または[全通信]を押す**

[送信のみ]	送信結果だけを確認する場合に押します。
[全通信]	送信結果、受信結果の両方を確認する場合に押します。

通信結果が表示されます。

6. **通信結果の確認が終了したら、[OK]を押す**

- 操作が終了したら、**<リセット>**を押すと、待機画面に戻ります。

■通信管理レポートの見かた

通信管理レポートには、次の項目が表示されます。

【レポート例】

(5) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13)

01 ページ —(1)
DP-C322 AJVO1050AZ —(2)
パナソニック —(3)
05年08月07日 14時01分 —(4)

通 信 管 理 レ ポ ー ト

＊ 送 信 ＊

No.	受付番号	通信日時	相手先	枚数	通信種別	通信時間	ﾓｰﾄﾞ	状況
001	128	08-02 19:13	経理部	00/01	送 信	00:00'00	G3(1)	停止 SW
002	158	08-03 11:37	総務部	01/01	送 信	00:00'23	G3(1)	良 好
003	164	08-03 12:03	総務部	01/01	送 信	00:00'22	G3(1)	良 好
004	004	08-03 12:07	営業部	00/01	マルチコピー通信	00:00'00	G3(1)	相手話中
005	015	08-03 12:10	営業部	01/01	マルチコピー通信	00:00'39	G3(1)	良 好
006	025	08-03 12:10	営業部	01/01	送 信	00:00'40	G3(1)	良 好
026	035	08-02 12:05	総務部	01/01	送 信	00:00'22	G3(1)	良 好

＊ 受 信 ＊

No.	受付番号	通信日時	相手先	枚数	通信種別	通信時間	ﾓｰﾄﾞ	状況
001	156	08-03 17:37	経理部	01	受 信	00:00'00	G3(1)	停止 SW
002	158	08-03 11:37	総務部	01	ポーリング受信	00:00'23	G3(1)	相手話中

No.	項目	説明
(1)	ページ番号	通信管理レポートのページ数です。
(2)	機種名と ROM No.	本機の機種名と ROM No. です。
(3)	発信元	自局の発信元情報が 20 文字まで記載されます。
(4)	印刷した日時	通信管理レポートを印刷した日時です。
(5)	No.	レポート上の番号です。
(6)	受付番号	受け付け順につけられる番号です。
(7)	通信日時	通信した日時です。
(8)	相手先	宛先名　　：アドレス帳の宛先名、または相手の文字 ID です。 番号のみ　：相手の数字 ID、またはダイヤルした電話番号です。 E メールアドレス: 相手の E メールアドレスです。
(9)	枚数	送受信したページ数です。 ●2 桁の数字の場合 ダイレクト送信、クイックメモリー送信で送信できたページ、および受信できたページ数が記載されます。 ●2 桁の数字 /2 桁の数字の場合 メモリー送信の場合に、送信できたページ数/メモリーに蓄積したページ数の形式で記載されます。 ＊が記載されている場合は、相手機が異常のときです。
(10)	通信種別	次のいずれかが記載されます。 [送信]　[宛先別一括送信]　[パラメーター送信] [ページ再送信]　[手動送信]　[短縮設定送達通知] [パスワード送信]　[手動ファイル転送]　[短縮ダイヤル送信] [受信]　[手動受信]　[パラメーター設定通知] [ポーリング受信]　[ポーリング送信]　[短縮設定受信] [メモリー転送指示]　[中継指示]　[パラメーター設定受信] [マルチプリント]　[マルチコピー通信]　[メモリー転送送信] [F コード送信]　[F 網通信] [ファイル送信]　[チェック＆コール]
(11)	通信時間	通信にかかった時間です。
(12)	モード	通信モードと使用した回線です。 [G3]　G3 モードで通信しました。 [G3(1)]　G3 モードで回線 1 を使って通信しました。 [G3(2)]　G3 モードで回線 2 を使って通信しました。 [G3I3]　G3 モードで通信しました (G 4通信ユニットオプション装着時の表示)。 [G4(2)]　G4 モードで ISDN 回線を使って通信しました。 [LAN]　インターネット FAX 送信をしました。 [MDN]　MDN(送達確認)送信、MDN(送達確認)受信をしました。

＜次ページへ続く＞

No.	項目	説明	
(13)	状況	[良好]	通信が正常に完了しました。
		[良好 1]	IP 回線で通信が正常に完了しました。
		[良好 2]	IP 回線→一般回線で、通信が正常に完了しました。
		[良好 3]	プレフィクス機能を使って通信が正常に完了しました。
		[停止 SW]	通信中に**<ストップ>**が押されました。
		[原稿確認]	原稿のセットを確認してください。
		[ドア開き]	ADF カバーを確認してください。
		[読取異常]	原稿のセットを確認してください。
		[メモリーなし]	原稿蓄積中にメモリー容量が足りなくなりました。
		[ポ原稿無]	ポーリング時、原稿がありませんでした。
		[相手確認]	相手側を確認してください。
		[停電あり]	通信中に停電しました。
		[相手話中]	回線が使用中で通信できませんでした。
		[××××]	(××××には 4 桁のエラーコードが表示されます。) 通信エラーです。「主なエラーコード」(p.268)を参照してください。
		[- -]	インターネット FAX 通信を使って送信しました。

通信結果レポート

通信結果レポートは、通信の終了時に印刷される通信結果が記録されたレポートです。

- ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]＞[04 キーオペレーター専用]＞[01 システムの登録]＞[12 通信結果レポート]が、[未通信]または[全通信]に設定されている場合に印刷されます。

  [未通信]のとき

  通信エラーなどで未通信になったときにだけ印刷されます。

  [全通信]のとき

  通信が正常に終了したとき、通信エラーなどで未通信になったとき、どちらの場合にも印刷されます。

- メモリー送信をした場合、通信エラーなどで未送信になったときは、通信結果レポートに、送信した文書の 1 ページ目の画像が記載されます。ダイレクト送信の場合は、記載されません。

ここでは、通信結果レポートの見かたを説明します。

お知らせ

●お買い上げ時、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]＞[04 キーオペレーター専用]＞[01 システムの登録]＞[12 通信結果レポート]は[未通信]に設定されています。
設定を変更する場合は、『取扱説明書（ファンクション設定編）』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。

●[12　通信結果レポート]が[なし]に設定されている場合は、タッチパネルディスプレイに通信エラーが表示されます。

●通信結果レポートには、送信したレポートのサンプル画像が印刷されます。サンプル画像は、通信相手先により、画像の向きが回転して印刷されることがあります。

通信結果レポートには、次の項目が表示されます。

【レポート例】（[全通信] を選択した場合）

No.	項目	説明
(1)	ページ番号	通信結果レポートのページ数です。
(2)	機種名と ROM No.	本機の機種名と ROM No. です。
(3)	発信元	自局の発信元情報が 20 文字まで記載されます。
(4)	印刷した日時	通信結果レポートを印刷した日時です。
(5)	No.	レポート上の番号です。
(6)	受付番号	受け付け順につけられる番号です。
(7)	通信日時	通信した日時です。
(8)	相手先	宛先名　: アドレス帳の宛先名、または相手の文字 ID です。 番号のみ　: 相手の数字 ID、またはダイヤルした電話番号です。 E メールアドレス: 相手の E メールアドレスです。
(9)	枚数	送信したページ数です。 ●2 桁の数字の場合 ダイレクト送信、クイックメモリー送信で送信できたページ、および受信できたページ数が記載されます。 ●2 桁の数字 /2 桁の数字の場合 メモリー送信の場合に、送信できたページ数/メモリーに蓄積したページ数の形式で記載されます。 ＊が記載されている場合は、相手機が異常のときです。

No.	項目	説明
(10)	通信種別	次のいずれかが記載されます。 [送信]　[宛先別一括送信] [ページ再送信]　[手動送信] [パスワード送信]　[中継指示] [ポーリング受信]　[マルチコピー通信] [メモリ転送送信]　[F 網通信] [F コード送信]　[中継送信] [ファイル送信]
(11)	通信時間	通信にかかった時間です。
(12)	モード	通信モードと使用した回線です。 [G3]　G3 モードで通信しました。 [G3(1)]　G3 モードで回線 1 を使って通信しました。 [G3(2)]　G3 モードで回線 2 を使って通信しました。 [G3I3]　G3 モードで通信しました (G 4通信ユニット装着時の表示)。 [G4(2)]　G4 モードで ISDN 回線を使って通信しました。 [LAN]　インターネット FAX 送信をしました。 [MDN]　MDN(送達確認)送信、MDN(送達確認)受信をしました。
(13)	状況	[良好]　通信が正常に完了しました。 [良好 1]　IP 回線で通信が正常に完了しました。 [良好 2]　IP 回線→一般回線で、通信が正常に完了しました。 [良好 3]　プレフィクス機能を使って通信が正常に完了しました。 [停止 SW]　通信中に**<ストップ>**が押されました。 [原稿確認]　原稿のセットを確認してください。 [ドア開き]　ADF カバーを確認してください。 [読取異常]　原稿のセットを確認してください。 [メモリーなし]　原稿蓄積中にメモリー容量が足りなくなりました。 [ポ原稿無]　ポーリング時、原稿がありませんでした。 [相手確認]　相手側を確認してください。 [停電あり]　通信中に停電しました。 [相手話中]　回線が使用中で通信できませんでした。 [××××]　(××××には 4 桁のエラーコードが表示されます。) 通信エラーです。「主なエラーコード」(p.268)を参照してください。
(14)	未通信	未通信ファイルがある場合に、未送信の宛先数と、宛先が表示されます。

アドレス帳リスト

アドレス帳の登録内容を記載したリストを印刷できます。
ここでは、アドレス帳リストを印刷する操作、およびアドレス帳リストの見かたを説明します。

■アドレス帳リストを印刷する

アドレス帳リストを印刷する場合は、次の手順で操作します。

お知らせ
アドレス帳リストは、ファンクション設定の［ファクス /E メール機能設定］>［アドレス帳登録］で印刷することもできます。

1. **<ファクス>を押す**

2. **［詳細設定］を押す**

3. **［リストプリント］を押す**

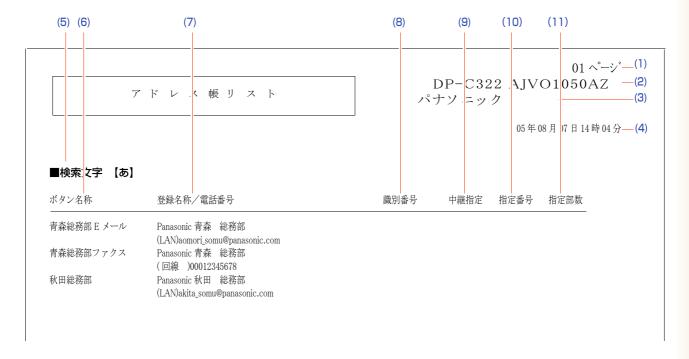
4. **［アドレス帳リスト］を押す**

アドレス帳リストが印刷されます。

- リスト印刷が終了したら、**<リセット>**を押すと、待機画面に戻ります。

■アドレス帳リストの見かた

アドレス帳リストには、次の項目が表示されます。

【リスト例】

No.	項目	説明
(1)	ページ番号	アドレス帳リストのページ数です。
(2)	機種名と ROM No.	本機の機種名と ROM No. です。
(3)	発信元	自局の発信元情報が 20 文字まで記載されます。
(4)	印刷した日時	アドレス帳リストを印刷した日時です。
(5)	検索文字	検索文字の先頭の文字です。
(6)	ボタン名称	ボタン名が、10 文字まで記載されます。
(7)	登録名称 / 電話番号	電話番号は 52 桁まで、E メールアドレスは 60 文字まで記載されます。
(8)	識別番号	中継機識別番号と 2 次中継機識別番号です。
(9)	中継指定	中継同報の設定です。
(10)	指定番号	中継同報の指定番号です。
(11)	指定部数	[送信(××)] マルチ通信部数で指定した部数です。 [受信(××)] マルチプリント部数で指定した部数です。 (××には、部数が表示されます。)

グループダイヤルリスト

グループダイヤルの登録内容を記載したリストを印刷できます。
ここでは、グループダイヤルリストを印刷する操作、およびグループダイヤルリストの見かたを説明します。

■グループダイヤルリストを印刷する

グループダイヤルリストを印刷する場合は、次の手順で操作します。

お知らせ

グループダイヤルのリストは、ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]＞[プログラムダイヤルの登録]で印刷することもできます。

1. **＜ファクス＞を押す**

2. **[詳細設定]を押す**

3. **[リストプリント]を押す**

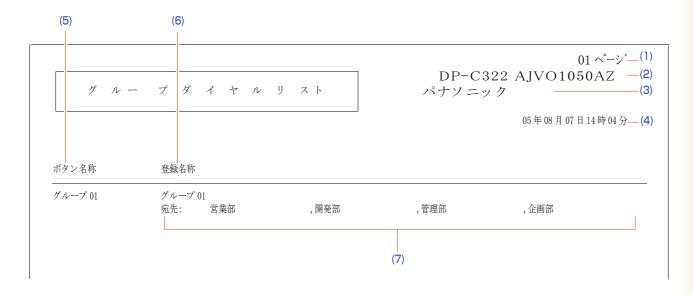
4. **[グループダイヤルリスト]を押す**

グループダイヤルリストが印刷されます。

- リスト印刷が終了したら、**＜リセット＞**を押すと、待機画面に戻ります。

■グループダイヤルリストの見かた

グループダイヤルリストには、次の項目が表示されます。

【リスト例】

No.	項目	説明
(1)	ページ番号	グループダイヤルリストのページ数です。
(2)	機種名と ROM No.	本機の機種名と ROM No. です。
(3)	発信元	自局の発信元情報が 20 文字まで記載されます。
(4)	印刷した日時	グループダイヤルリストを印刷した日時です。
(5)	ボタン名称	グループダイヤルのボタン名が、10 文字まで記載されます。
(6)	登録名称	グループダイヤルの名前が 20 文字まで記載されます。
(7)	宛先	グループダイヤルに登録したアドレス帳の名称です。

プログラムダイヤルのリスト

プログラムダイヤルの登録内容を記載したリストを印刷できます。

ここでは、プログラムダイヤルのリストを印刷する操作、およびプログラムダイヤルリストの見かたを説明します。

■プログラムダイヤルのリストを印刷する

プログラムダイヤルのリストを印刷する場合は、次の手順で操作します。

お知らせ

プログラムダイヤルのリストは、ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]＞[プログラムダイヤルの登録]で印刷することもできます。

1.　<ファクス>を押す

2.　[詳細設定]を押す

3.　[リストプリント]を押す

4.　[プログラムリスト]を押す

プログラムダイヤルのリストが印刷されます。

- リスト印刷が終了したら、**<リセット>**を押すと、待機画面に戻ります。

■プログラムダイヤルのリストの見かた

プログラムダイヤルのリストには、次の項目が表示されます。

【リスト例】

No.	項目	説明
(1)	ページ番号	プログラムダイヤルリストのページ数です。
(2)	機種名と ROM No.	本機の機種名と ROM No. です。
(3)	発信元	自局の発信元情報が 20 文字まで記載されます。
(4)	印刷した日時	プログラムダイヤルリストを印刷した日時です。
(5)	ボタン名称	プログラムダイヤルのボタン名が、10 文字まで記載されます。
(6)	登録名称	プログラムダイヤルの名前が 20 文字まで記載されます。 POP 受信の場合は、ユーザー名が記載されます。
(7)	サービス名	送信、受信の区別が記載されます。
(8)	付加サービス	通信の種類:設定状態の形式で記載されます。 POP 受信の場合は、パスワード(＊で表示)、メール削除の設定が記載されます。
(9)	宛先	宛先が記載されます。

システム登録リスト

ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]＞[04 キーオペレーター専用]＞[01 システムの登録]の設定状態を記載したリストを印刷できます。

ここでは、システム登録リストを印刷する操作、およびシステム登録リストの見かたを説明します。

■システム登録リストを印刷する

システム登録リストを印刷する場合は、次の手順で操作します。

お知らせ

システム登録リストは、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]＞[04 キーオペレーター専用]＞[01 システムの登録]で印刷することもできます。

1. <ファクス>を押す

2. [詳細設定]を押す

3. [リストプリント]を押す

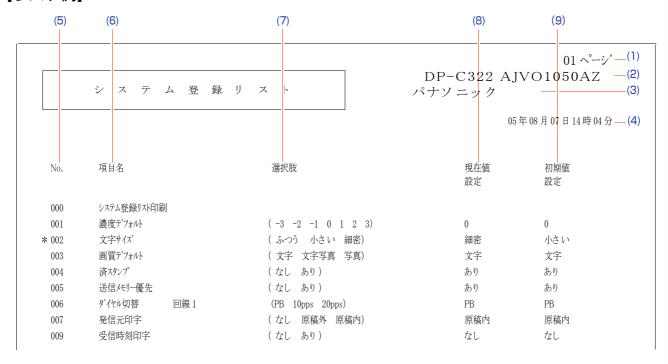
4. [システム登録リスト]を押す

システム登録リストが印刷されます。

- リスト印刷が終了したら、**<リセット>**を押すと、待機画面に戻ります。

■システム登録リストの見かた

システム登録リストには、次の項目が表示されます。

【リスト例】

No.	項目	説明
(1)	ページ番号	システム登録リストのページ数です。
(2)	機種名と ROM No.	本機の機種名と ROM No. です。
(3)	発信元	自局の発信元情報が 20 文字まで記載されます。
(4)	印刷した日時	システム登録リストを印刷した日時です。
(5)	No.	パラメーター番号です。初期値から変更されている場合は、No. の左側に「＊」が記載されます。
(6)	項目名	システムの登録の項目名です。
(7)	選択肢	選択できる値です。
(8)	現在値設定	現在の設定です。 [----]は、パスワードが設定されていないことを表します。 パスワードが設定されている場合は、パスワードが記載されます。
(9)	初期値設定	お買い上げ時の設定です。

自局情報リスト

ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]＞[04 キーオペレーター専用]＞[00 自局情報の登録]の設定状態を記載したリストを印刷できます。

ここでは、自局情報リストを印刷する操作、および自局情報リストの見かたを説明します。

■自局情報リストを印刷する

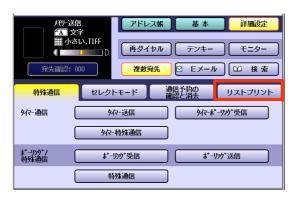
自局情報リストを印刷する場合は、次の手順で操作します。

お知らせ

自局情報リストは、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]＞[04 キーオペレーター専用]＞[00 自局情報の登録]で印刷することもできます。

1. <ファクス>を押す

2. [詳細設定]を押す

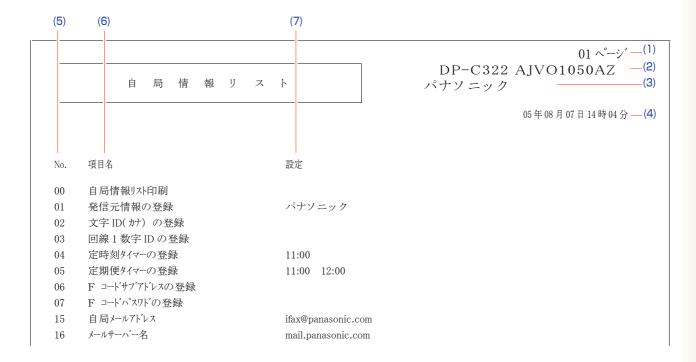
3. [リストプリント]を押す

4. [自局情報リスト]を押す

自局情報リストが印刷されます。

- リスト印刷が終了したら、**<リセット>**を押すと、待機画面に戻ります。

■自局情報リストの見かた

自局情報リストには、次の項目が表示されます。

【リスト例】

No.	項目	説明
(1)	ページ番号	自局情報リストのページ数です。
(2)	機種名と ROM No.	本機の機種名と ROM No. です。
(3)	発信元	自局の発信元情報が 20 文字まで記載されます。
(4)	印刷した日時	自局情報リストを印刷した日時です。
(5)	No.	パラメーター番号です。
(6)	項目名	自局情報の登録の項目名です。
(7)	設定	現在の設定状態です。

9章
トラブルの対処方法

この章では、トラブルが発生したときの対処方法について説明しています。

トラブルの対処方法

故障かな？と思ったときは、次の項目をチェックしてください。

こんなときには	現象	対処方法	参照先
送信中	原稿が送り込まれないか、または複数枚同時に送り込まれる	1. 原稿にステープルの針やクリップがついていないこと、また汚れや破れのないことを確認してください。 2. 原稿が正しくセットされていることを確認してください。	
	済スタンプが押されない	ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]＞[04 キーオペレーター専用]＞[01 システムの登録]＞[04 済スタンプ]、および[28 メモリー済スタンプ]の設定値を確認してください。	『取扱説明書（ファンクション設定編）』
	済スタンプが薄すぎる	済スタンプを交換してください。	「付録 A　済スタンプの交換」（p.280）
	送信した原稿に受信側で縦線が入る	本機でコピーをし、画質を確認してください。コピーに問題がない場合、本機は正常です。異常が発生している受信側に報告をしてください。 コピーに問題がある場合は、原稿読取部を清掃してください。	
	送信した原稿が、受信側で白紙として出てくる	1. 原稿が正しくセットされていることを確認してください。 2. 本機でコピーをし、画質を確認してください。コピーに問題がない場合、本機は正常です。異常が発生している受信側に報告をしてください。 コピーに問題がある場合は、原稿読取部を清掃してください。	『取扱説明書（基本編）』
	原稿づまり	1.原稿がつまった場合は、エラーコードがタッチパネルディスプレイに表示されます。つまった原稿を取り除いてください。 2.長い原稿の場合は、送信できないことがあります。下記を参照して、原稿の長さを確認してください。 ・ 解像度が[ふつう]、[小さい]で原稿の長さが 2m を超えている ・ 解像度が[細密]の場合で原稿の長さが 50cm を超えている ・ 解像度が[600dpi]の場合で原稿の長さが 30cm を超えている（A4 より大きいサイズの両面原稿は自動的に[細密]となることがあります。）	『取扱説明書（基本編）』

こんなときには	現象	対処方法	参照先
受信中	用紙切れ	用紙がなくなった場合は、エラーメッセージがタッチパネルディスプレイに表示されます。用紙を補給してください。	―――
	用紙づまり	用紙がつまった場合は、エラーコードがタッチパネルディスプレイに表示されます。つまった用紙を取り除いてください。	『取扱説明書(基本編)』
	用紙が送り込まれない	用紙カセットに用紙がセットされていることを確認してください。用紙のセット方法については、該当する指示に従ってください。	『取扱説明書(基本編)』
	印刷終了時に用紙が排出されない	用紙が本機内でつまっていないかを確認してください。	『取扱説明書(基本編)』
通信	発信音が聞こえない	1.電話回線の接続を確認してください。 2.電話回線の設定を確認してください。	「電話回線を確認する」(p.274) 『取扱説明書(セットアップ編)』
	自動受信しない	1.電話回線の接続を確認してください。 2.受信モードの設定を確認してください。 3.ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]＞[04 キーオペレーター専用]＞[01 システムの登録]＞[13 通信管理レポート]を[あり]に設定している場合、受信原稿をメモリーから印刷しているときは(200 番目の処理になる場合があります)、通信管理レポートの印刷が終了するまで自動受信は有効になりません。	『取扱説明書(ファンクション設定編)』
	送受信ができない	ディスプレイにエラーコードが表示されます。エラーコード表を参照して原因を特定してください。	「主なエラーコード」(p.268)
操作	操作を受け付けない	本機の電源をオフにし、数秒後にオンにしてください。	―――

主なエラーコード

通信できない場合などは、通信結果レポートや通信管理レポートにエラーコードが表示されます。
エラーコードが表示された場合は、次の表に従って対処してください。

- ここに記載されていないエラーコード(U、J、E が先頭につくエラーコード)については、『取扱説明書(基本編)』の「トラブルの処置」を参照してください。
- 下記以外のエラーコードが表示された場合は、もう一度通信してみてください。処置をしても同じエラーコードが表示される場合は、サービス実施会社にご連絡ください。
- ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]>[123 リルート機能]が[あり]に設定されている場合は、エラーコード先頭の番号が3~5(例:3XXX、4XXX、5XXX)となります。先頭の番号は、ルートを示します。

  「3」...... IP 電話→IP 電話発呼

  「4」...... IP 電話→一般電話発呼

  「5」...... 一般電話→一般電話発呼

お知らせ

●ISDN 回線に関するエラーコードについては、「付録 B　ISDN 回線を使うとき」(p.281)」を参照してください。

エラーコード	現象	対処方法	参照先
0400	初期手順の途中で、受信局が応答しなかったか、または通信エラーが発生しました。	1.相手先を替えて確認してください。 2.原稿をセットし直し、再送してください。	――
0401	次のいずれかが原因で、原稿を受信できません。 ・中継局に受信用パスワードが必要です。 ・中継局が送信側機器の ID 番号(電話番号)を要求しています。	中継局に確認してください。 本機の数字 ID 番号(電話番号)を登録してください。	――
0402	初期手順の途中で、エラーが発生しました。	原稿をセットし直し、再送してください。	――
0403	相手先にポーリング機能がありません。	ポーリングを[あり]に設定するように相手先に連絡してください。	――
0404 /0405	初期手順の途中で、通信エラーが発生しました。	原稿をセットし直し、再送してください。	――
0406	次のいずれかが原因で通信できません。 ・送信用/受信用パスワードが一致しません。 ・不正な相手局とセレクト送信/受信モードで通信しました。	1.送信用パスワード、受信用パスワードを確認してください。 2.アドレス帳に登録されている電話番号を確認してください。 3.相手先の数字 ID を確認してください。	「誤送信を防止する[セレクト送信]」(p.85) 「パスワードを使って送信する[パスワード送信]」(p.87) 「セレクト受信」(p.110) 「パスワード受信」(p.112)
0407	受信局からのページ送信済み確認信号が得られません。	数分後に再送してください。	――

エラーコード	現象	対処方法	参照先
0408 /0409	遠隔側からのページ送信済み確認信号が判読できません。	数分後に再送してください。	――――
0410	送信側で、通信が打ち切られました。	相手先を替えて確認してください。	――――
0411	ポーリング用パスワードが一致しません。	ポーリング(受信)用パスワードを確認してください。	「受信側からの指示で原稿を送信させる[ポーリング受信]」(p.64)
0412	送信側からのデータが得られません。	相手先を替えて確認してください。	――――
0414	ポーリング用パスワードが一致しません。	ポーリング(受信)用パスワードを確認してください。	「受信側からの指示で原稿を送信させる[ポーリング受信]」(p.64)
0415	ポーリング送信エラーが発生しました。	ポーリング(送信)用パスワードを確認してください。	「ポーリング送信原稿を蓄積する[ポーリング送信]」(p.66)
0416 /0417 /0418 /0419	受信データに含まれるエラーが多すぎます。	相手先を替えて確認してください。	――――
0420 /0421	送信側からのコマンドを受信できません。	1.相手先の間違い電話の場合があります。 2.相手先を替えて確認してください。	――――
0422 /0427	インターフェースに互換性がありません。	相手先を替えて確認してください。	――――
0430 /0434	受信中に通信エラーが発生しました。	相手先を替えて確認してください。	――――
0436 /0490	受信データに含まれるエラーが多すぎます。	相手先を替えて確認してください。	――――
0439	受信中に回線が切断されました。	相手先を替えて確認してください。	――――
0492 /0493 /0494	受信中に通信エラーが発生しました。	相手先を替えて確認してください。	――――
0495	電話回線が切断されました。	相手先を替えて確認してください。	――――
0501 /0502 /0503	内蔵 V.34 モデムで通信エラーが発生しました。	相手先を替えて確認してください。	――――
0504	ポーリング受信で送信側からデータが得られませんでした。	相手先に送信データがあるか確認してください。	――――

＜次ページへ続く＞

エラーコード	現象	対処方法	参照先
0505	ポーリング送信エラーが発生しました。	送信データが蓄積されているか確認してください。	「ポーリング送信原稿を蓄積する[ポーリング送信]」(p.66)
0540 /0541 /0542 /0543 /0544	送信中に通信エラーが発生しました。	1.原稿をセットし直し、再送してください。 2.相手先を替えて確認してください。	
0550	電話回線が切断されました。	相手先を替えて確認してください。	
0552 /0553 /0554 /0555	受信中に通信エラーが発生しました。	相手先を替えて確認してください。	
0580	F コード通信機能をもたない相手へサブアドレス送信をしました。	相手先を替えて確認してください。	「F コード(サブアドレス)を使って通信をする[F コード通信]」(p.78)
	マルチコピー通信時、相手機にマルチコピー通信の能力がありませんでした。	マルチコピー通信はできません。	「受信側で複数部数印刷させる[マルチコピー通信]」(p.82)
0581	F コード通信機能をもたない相手へサブアドレス送信をしました。	相手先を替えて確認してください。	「F コード(サブアドレス)を使って通信をする[F コード通信]」(p.78)
0623	ADF に原稿がセットされていません。	原稿をセットし直し、再送してください。	
0630	回線使用中で、再ダイヤルに失敗しました。	原稿をセットし直し、再送してください。	
0631 /0700	ダイヤル中に**<ストップ>**が押されました。	原稿をセットし直し、再送してください。	
0634	相手先が無応答、電話番号が間違っている、再ダイヤルに失敗かのいずれかです。 注:ビジートーンが検出できなかった場合、本機では、1回だけ再ダイヤルされます。	相手の電話番号を確認し、再送してください。	
0638	通信中に停電が発生しました。	電源コードとプラグを確認してください。	
0711	LDAP の設定が誤っています。	LDAP サーバー名、ログイン名、パスワードなどを確認してください。	『取扱説明書(ファンクション設定編)』

エラーコード	現象	対処方法	参照先
0712	メールアドレスが誤っています。	登録されているメールアドレスを確認してください。 メールサーバー(SMTPサーバー)のIPアドレスをネットワーク管理者にお問い合わせください。	『取扱説明書(セットアップ編)』
0714	LANにログオンできません。	10Base-T/100Base-TXケーブルの接続を確認してください。 予期できない問題が発生しました。ネットワーク管理者にお問い合わせください。	『取扱説明書(セットアップ編)』
0715	TCP/IP接続がタイムアウトしました。	インターネットFAXのファンクション設定を確認してください。 (IPアドレス、ゲートウエイIPアドレスの初期値、メールサーバー(SMTP サーバー)のIPアドレス)	『取扱説明書(セットアップ編)』
0716	指定したメールサーバー(SMTP サーバー)にログオンできません。	メールサーバー(SMTPサーバー)のIPの設定を確認してください。ネットワーク管理者にお問い合わせください。	『取扱説明書(セットアップ編)』
0717	SMTPプロトコル伝送が不完全です。 メールサーバー(SMTPサーバー)のハードディスクが一杯の可能性があります。	メールサーバー(SMTP サーバー)に障害があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。	―――
0718	プリントデータ受信時にページメモリーオーバーフローが発生しました。 アプリケーションソフトで、本機の用紙カセットの用紙サイズよりも大きいサイズが選択されています。	原稿サイズと解像度を確認してください。本機で対応している原稿サイズと解像度で再送してもらうように送信側に連絡してください。	―――
0719	LAN 経由で受信したデータ形式が対応していません。	以下に示すような、対応するファイル形式で添付し、再送してもらうように送信側に連絡してください。 ・TIFF-F形式。 ・用紙のサイズに合う画像データ	―――
0720	POP 受信サーバーに接続できません。	POP受信サーバーのIPアドレスに誤りがある場合があります。POP 受信サーバーのIPアドレスを確認してください。 POP受信サーバーがダウンしている場合があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。	『取扱説明書(セットアップ編)』
0721	POP 受信サーバーに接続できません。	POP 受信サーバーのユーザー名やパスワードの設定に誤りがある場合があります。 POP ユーザー名とパスワード、またはAPOP設定値を確認してください。 ネットワーク管理者にお問い合わせください。	『取扱説明書(セットアップ編)』

＜次ページへ続く＞

エラーコード	現象	対処方法	参照先
0722	DHCP サーバーからのネットワークパラメーター(例:IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトのゲートウエイ IP アドレス)の取得に失敗しました。	1.LAN ケーブルの接続を確認してください。 2.ネットワーク管理者に問い合わせて、お手元のネットワークで DHCP が使用できるか確認してください。	『取扱説明書(セットアップ編)』
0725	DNS サーバー接続がタイムアウトしました。	DNS サーバーの IP アドレスを確認してください。 ネットワーク管理者にお問い合わせください。	『取扱説明書(セットアップ編)』
0726	DNS サーバーからエラー応答を受信しました。	POP 受信サーバー名を確認してください。 メールサーバー(SMTP サーバー)名を確認してください。	『取扱説明書(セットアップ編)』
0728	ダイレクト SMTP を使用した送信でエラーが発生しました。	相手先の設定を確認してください。	―――
0729	メールサーバー(SMTP サーバー)との接続時に SMTP 認証を失敗しました。	SMTP 認証ユーザー名とパスワードを確認してください。ネットワーク管理者にお問い合わせください。	―――
0730	コンピューターからの E メール送信によるリモート登録で、通信管理レポートを取り出せません。 また、インターネットパラメーターやアドレス帳も登録できません。	ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]＞[04 キーオペレーター専用]＞[01 システムの登録]＞[158 メールリモート登録]が[あり]に設定されているかを確認してください。	『取扱説明書(ファンクション設定編)』
0731	中継送信要求を受けたときに、手動ダイヤル用ダイアラーバッファが一杯(50 宛先まで)になりました。	予約通信終了後に中継送信要求を送信し直してもらうように送信元に連絡してください。	―――
0800 /0814 /0816 /0825	相手先が中継機能をもっていません。	相手先の設定を確認してください。	―――
0826	アドレス帳に受信したサブアドレスが登録されていません。	アドレス帳の登録を確認してください。 相手先のサブアドレス登録を確認してください。	「アドレス帳にメールアドレスを登録する」(p.212)
0870	送信原稿を蓄積中にメモリーフルとなりました。	1.ダイレクト送信してください。 2.本体内部に設置するオプションの増設 SD メモリーカードを装着してください。	「メモリーに蓄積せずに送信する[ダイレクト送信]」(p.42)

停電時の対応について

ファクスのディスプレイは消えています。ファクスを送ったり受けたりすることはできません。

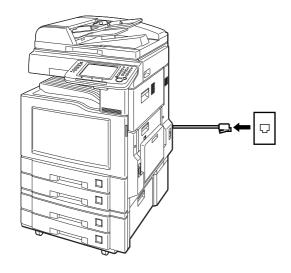
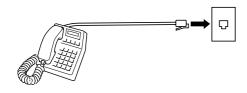
<table>
<tr><th colspan="3">項目</th><th>本機の状態</th></tr>
<tr><td rowspan="5">ファクス</td><td rowspan="2">・停電になったとき
・停電中</td><td>ファクス送信</td><td>・ファクス送信は中止されます。停電復旧後、もう一度送信してください。
・停電中は送信できません。</td></tr>
<tr><td>ファクス受信</td><td>・ファクス受信は中止されます。停電復旧後、相手の方にもう一度送信を依頼してください。
・停電中は受信できません。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">停電から復旧したとき</td><td>ファクス送信</td><td>未送信のデータがある場合は、すぐに再送されます。</td></tr>
<tr><td>メモリーの内容</td><td>メモリーに蓄積されている送信および受信データは保持されています。</td></tr>
<tr><td>ファクスに登録/設定した内容</td><td>ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルなどの登録内容、その他各種登録は、停電中も消えることなく保持されています。</td></tr>
<tr><td>外部電話接続時</td><td>・停電になったとき
・停電中</td><td>・相手の方と通話中
・電話をかける、受ける</td><td>お使いの電話機の仕様をご確認ください。</td></tr>
</table>

お知らせ

- ●原稿を読み取り中に停電した場合は、読み取りは中断されます。停電復旧後、もう一度読み取りをしてください。ファクス送信時、原稿読み取り後のメモリー送信中に停電した場合は、停電復旧後、直ちに再送信されます。
- ●記載の内容は一般回線(公衆回線)に接続されている場合です。電話交換機(PBX)などに接続されている場合は、お使いの機器の仕様をご確認ください。

電話回線を確認する

ファクス機能の[モニター]を押しても「ツー」という電話回線上の音が聞こえない場合や、受信できない場合は、次の手順で電話回線を確認してください。

1. **回線コンセントから電話線を抜く**

2. **一般の電話機に接続されている電話線を回線コンセントに差し込む**

3. **受話器を上げ、「ツー」という電話回線上の音が聞こえるかどうかを確認する**

- 電話回線上の音が聞こえない場合は、最寄りの NTT などにお問い合わせいただくか、サービス実施会社にご連絡ください。

リモート登録時のエラーメッセージ

アドレス帳やプログラムダイヤルのリモート登録時にエラーが発生した場合は、本機から送信元に対して E メールでエラーメッセージが送信されます。

❑ システムエラーメッセージ

- アドレス帳やプログラムダイヤルのリモート登録時にエラーが発生した場合は E メールで下記のエラーメッセージが、送信元に対して送信されます。

No.	エラーメッセージ	原因と対処方法
1	554 Data transfer error (broken header)	ヘッダーまたはサブヘッダーの解析中にエラーが発生したため処理できませんでした。再送してください。
2	554 Data transfer error (broken data)	データ解析中にエラーが発生したため処理できませんでした。再送してください。
3	554 Data transfer error (FAX module)	LAN モジュールとの通信中に FAX モジュールでデータ転送エラーが発生しました。再送してください。
4	554 MIME attachment not supported(message/file)	サポートしていない MIME の添付ファイルが送られました。テキストデータだけの添付ファイルで再送してください。
5	554 MIME format not supported	サポートしていない MIME タイプが送られました。テキストデータだけで再送してください。
6	554 FAX relay permission denied	中継要求のあったドメイン名は登録されていません。
7	554 Relay address unknown	中継要求のあった最終受信局の電話番号が不明です。
8	554 Memory fully (FAX module)	ファクスメモリーが一杯です。 あとで再送してください。
9	554 Data transfer error	リストに記載されていないエラーです。あとで再送してください。

❑ リモート登録失敗時のエラーメッセージ

- アドレス帳やプログラムダイヤルのリモート登録に失敗した場合は、送信元に対し、E メールで下記のエラーメッセージが、送信されます。

No.	エラーメッセージ	原因と対処方法
1	@command ブロックにエラーがあります。	ブロック終了コマンド「@end 」が「@command 」ブロックで記述されていません。「@end 」コマンドを加えて再送してください。
2	@begin コマンドがありません。	ブロック開始コマンド「@begin 」が「@begin 」ブロックで記述されていません。「@begin 」コマンドを加えて再送してください。
3	@begin ブロックにエラーがあります。	ブロック終了コマンド「@end 」が「@begin 」ブロックで記述されていません。「@end 」コマンドを加えて再送してください。
4	@system ブロックにエラーがあります。	ブロック終了コマンド「@end 」が「@system 」ブロックで記述されていません。「@end 」コマンドを加えて再送してください。
5	@sender ブロックにエラーがあります。	ブロック終了コマンド「@end 」が「@sender 」ブロックで記述されていません。「@end 」コマンドを加えて再送してください。
6	@domain ブロックにエラーがあります。	ブロック終了コマンド「@end 」が「@domain 」ブロックで記述されていません。「@end 」コマンドを加えて再送してください。
7	@program ブロックにエラーがあります。	ブロック終了コマンド「@end 」が「@program 」ブロックで記述されていません。「@end 」コマンドを加えて再送してください。
8	「@system 」コマンドがありません。	システムブロック開始コマンド「@system」が「@system 」ブロックで記述されていません。「@system 」コマンドを加えて再送してください。
9	FAX 動作中のためリモート登録できません。	ファクス通信が予約されている場合は、ファクス動作終了後に再送してください。 予約レポートを確認し、予約がない状態にして再送してください。
10	リモート登録パスワードチェックエラー	パスワードを修正して再送してください。
11	リモート登録が許可されていません。	ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]＞[04 キーオペレーター専用]＞[01 システムの登録]＞[158 メールリモート登録]を[あり]に設定してください。
12	Format　Error:＜エラー行＞	入力したフォーマットが正しくないか、または各宛先選択用の記述データが一行で完結していないため不完全となっています。修正して再送してください。
13	Warning:＜エラー行＞	入力したフォーマットが正しくないか、または入力した文字数が最大桁数を超えています。修正して再送してください。
14	データが長すぎます。	宛先名、ドメイン名、送信元名、プログラム名などの文字数が最大桁数を超えています。修正して再送してください。

No.	エラーメッセージ	原因と対処方法
15	@list ブロックにエラーがあります。	ブロック終了コマンド「@end」が「@list」ブロックで記述されていません。「@end」コマンドを加えて再送してください。
16	@select-domain ブロックにエラーがあります。	ブロック終了コマンド「@end」が「@ select-domain」ブロックで記述されていません。「@end」コマンドを加えて再送してください。
17	以下のデータに上書きされました。<(上書きされたデータ)>	データが上書きされた場合に返送されます。
18	ダイヤルインデータの登録がありません。<(エラー行)>	設定しようとしたダイヤルイン番号に該当するダイヤルが登録されていません。装置のダイヤル設定を確認してください。

10章
付録

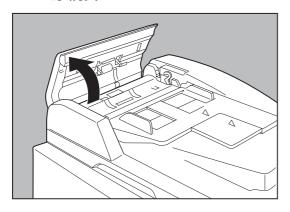
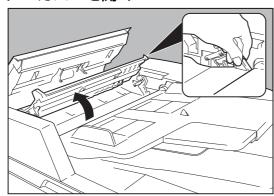
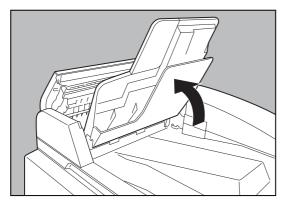
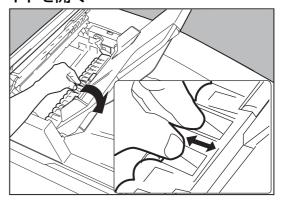
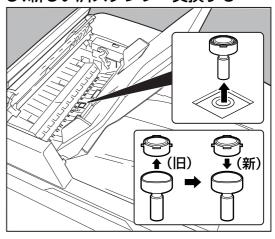
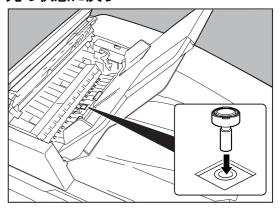
この章では、済スタンプの交換について説明しています。
また、文字を入力するときに必要な、区コード一覧、熟語・記号一覧を掲載しています。

付録 A　済スタンプの交換

済スタンプを交換する場合は、次の手順で操作します。

お知らせ

●済スタンプは当社指定品をご使用ください。（品番　UG-4105-2）

1. ADF 原稿台を上げる

2. 緑色のラベルのタブをつかみ、インナーカバーを開く

3. ADF トレイを上げる

4. 緑色のラベルのタブをつかみ、排出ガイドを開く

5. 済スタンプを上に引き抜いて取り外し、新しい済スタンプへ交換する

6. 済スタンプを取り付け、カバーなどを元の状態に戻す

付録 B　ISDN 回線を使うとき

オプションの G4 通信ユニット(DA-FG323)を装着している場合、本機は ISDN 回線に接続し、G4 モードで送受信できます。

ここでは、ISDN 回線に接続する場合の、セットアップ方法、ファクス送信の操作、トラブルが発生した場合の対処について説明します。

■セットアップ方法

本機を ISDN 回線に接続する場合は、ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[00 自局情報の登録]で、次の項目を設定する必要があります。

お知らせ

- 詳しくは、サービス実施会社にお問い合わせください。
- ファンクション設定の項目については、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。
- 下記の項目は、オプションの G4 通信ユニット(DA-FG323)を装着している場合に表示されます。

ファンクション設定の[ファクス /E メール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[00 自局情報の登録]での設定項目

タブ／No.		項目	設定内容
0-19	11	ISDN　基本番号の登録	ISDN 回線の電話番号を設定します。 (例)　5551214
	12	ISDN　ダイヤルインの登録	ISDN 回線のダイヤルインを設定します。 (例)　5551214
	13	ISDN　数字 ID の登録	ISDN 回線の数字 ID を設定します。 (例)　5551214
	14	ISDN　文字 ID(英字)の登録	ISDN 回線の文字 ID を設定します。 (例)　5551214

■G4 ファクス送信の操作

ISDN 回線を選択して G4 で送信する場合は、次の手順で操作します。

1.　原稿をセットする

- 詳しくは、『取扱説明書（基本編）』の「原稿セットのしかた（ファクス / インターネット FAX のとき）」を参照してください。

2.　<ファクス>を押す

3.　[テンキー] を押す

4.　[回線選択] を押し、ISDN 回線を選択する

画面右上に「G4」と表示されます。

5.　テンキーやアドレス帳で宛先を設定する

- 詳しくは、「宛先を指定する」（p.18）を参照してください。

6.　<スタート>を押す

原稿の読み取りが開始され、受付番号と共にメモリーに蓄積されます。
読み取りが完了すると、ファクス送信が開始されます。

お知らせ

- 送信を中止したいときは、「通信を中止する」（p.44）を参照してください。
- 原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、セットした原稿が最終原稿かどうかを確認する画面が表示されます。画面のメッセージに従って操作してください。
- 相手先が話し中などで送信できなかった場合は、通信結果レポートが排出されます。詳しくは、「通信結果レポート」（p.250）を参照してください。
- 操作が終了したら、操作パネルの**<リセット>**を押します。操作前の画面に戻ります。

■サブアドレスを設定する

サブアドレスを入力する場合は、次の手順で操作します。

お知らせ

- この機能は、オンフックダイヤルでは使えません。
（オンフックダイヤルについては、「相手と電話機で話してから送信する［手動送信］」（p.30）を参照してください。）
- あらかじめ、受信側とサブアドレスの使いかたについて決めておいてください。
- この方法で頻繁にサブアドレスを指定する場合は、アドレス帳登録時に、相手の電話番号と共にサブアドレスを登録しておくと便利です。操作については、「アドレス帳に電話番号を登録する」（p.203）を参照してください。

1.　原稿をセットする

- 詳しくは、『取扱説明書（基本編）』の「原稿セットのしかた（ファクス / インターネット FAX のとき）」を参照してください。

2.　<ファクス>を押す

3.　[画質設定] などの機能を設定する

- 「画質を設定する［画質設定］」（p.31）を参照してください。

4.　電話番号をテンキーで入力する

5.　[回線選択] を押し、ISDN 回線を選択する

- 電話番号とサブアドレスは、合わせて 52 桁まで入力できます。ただし、サブアドレスは 20 桁までです。
- 誤って入力した場合は、画面内の［クリアー］を押すと、1 文字ずつ削除できます。

6.　[サブアドレス] を押す

- タッチパネルディスプレイに s が表示されます。

7.　サブアドレスを入力し、[OK] を押す

8.　<スタート>を押す

通信が開始されます。

■トラブルが発生した場合の対処

ISDN 回線を使用している場合にトラブルが発生すると、通信結果レポートや通信管理レポートにエラーコードが表示されます。
エラーコードが表示された場合は、次の表に従って対処方法をしてください。

エラーコード	現象	処置	参照先
0901/1901	ISDN 回線に正しく接続されていない	ISDN 回線接続を確認し、もう一度操作してください	――――
0902/1902/0908/1908	本商品側で通信中に回線が抜けた	ISDN 回線接続を確認し、もう一度操作してください。	――――
0926/1926	相手先から応答がないため、通信できない	下記の確認後、もう一度操作してください 1. 回線は正しく接続されているか 2. 相手先の電話番号は正しいか（相手先がファクスでない可能性もあります） 3. 相手先のファクスが通信できる状態になっているか	――――
0970/1970	ISDN 回線から通信を拒否された	ISDN の回線契約を確認し、契約に合った使い方で操作してください	――――
1416	相手先が通信を中止した	相手先に確認して、もう一度送信してください	――――
1432	ポーリング受信時、相手先にポーリング機能がない	ポーリング受信できません	「受信側からの指示で原稿を送信させる［ポーリング受信］」(p.64)
	ポーリング受信時、相手先がポーリング送信をセットしていない	相手先にポーリング送信をセットしてもらってください	
1437	パスワード通信時、相手機とのパスワードが一致しない	相手機に確認して、通信し直してください	「パスワードを使って送信する［パスワード送信］」(p.87)
	セレクト通信時、相手機から送られてくるID 番号が、本機のダイヤル番号に登録されていない	相手機に確認して、通信し直してください	
1440	マルチコピー通信時、相手機にマルチコピー通信の能力がない	マルチコピー通信できません。	「受信側で複数部数印刷させる［マルチコピー通信］」(p.82)

付録 C　区コード一覧

文字入力の画面で、[区コード] を使って文字を入力する場合は、次のコード一覧を参照してください。

■第 1 水準

01	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0～			、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
20～	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／	＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’
40～	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
60～	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
80～	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇					

02	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0～		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓					
20～							∈	∋	⊆	⊇	⊂	⊃	∪	∩						
40～			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃											
60～	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√	∽	∝	∵	∫	∬					
80～			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶					◯					

03	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0～																	0	1	2	3
20～	4	5	6	7	8	9								A	B	C	D	E	F	G
40～	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
60～						a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
80～	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z									

＜次ページへ続く＞

04	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
20~	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
40~	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
60~	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
80~	ゐ	ゑ	を	ん																

05	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
20~	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
40~	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
60~	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
80~	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ													

06	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
20~	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω									α	β	γ	δ	ε	ζ	η
40~	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
60~																				
80~																				

07	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
20~	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э	Ю	Я						
40~										а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
60~	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
80~	ю	я																		

08	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
20~	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰	┥	┸	╂							
40~																				
60~																				
80~																				

16	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
0~		ア 亜	唖	娃	阿	アイ 哀	愛	挨	あい 姶	逢	あおい 葵	あかね 茜	あき 穐	アク 悪	握	渥	あさひ 旭	あし 葦	芦	あじ 鯵	あ
20~	あずさ 梓	アツ 圧	斡	あつかい 扱	あて 宛	あね 姐	あぶ 虻	あめ 飴	あや 絢	綾	あゆ 鮎	ある 或	あわ 粟	あわせ 袷	アン 安	庵	按	暗	案	闇	
40~	鞍	あんず 杏	イ 以	伊	位	依	偉	囲	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	い
60~	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医	い 井	亥	イキ 域	イク 育	郁	いそ 磯	イチ 一	壱	イツ 溢	逸	
80~	いね 稲	いばら 茨	いも 芋	いわし 鰯	イン 允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭						

17	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		院	陰	隠	韻	吋(いんち)	右(う)	宇	烏	羽	迂	雨	卯(う)	鵜	窺(うかがい)	丑(うし)	碓(うす)	臼	渦(うず)	嘘(うそ)
20~	唄(うた)	欝(ウツ)	蔚	鰻(うなぎ)	姥(うば)	厩(うまや)	浦(うら)	瓜(うり)	閏(うるう)	噂(うわさ)	云(ウン)	運	雲	荏(え)	餌	叡(エイ)	営	嬰	影	映
40~	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英	衛	詠	鋭	液(エキ)	疫	益	駅	悦(エツ)	謁	越
60~	閲	榎(えのき)	厭(エン)	円	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
80~	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩	於(オ)	汚	甥(おい)	凹(オウ)	央	奥	往	応					

18	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬	鴎	黄	岡(おか)	沖(おき)	荻(おぎ)	億(オク)	屋	憶	臆	桶(おけ)
20~	牡(おす)	乙(オツ)	俺(おれ)	卸(おろし)	恩(オン)	温	穏	音	下(カ)	化	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
40~	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
60~	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊(か)	俄(ガ)	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
80~	介(カイ)	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔	恢	懐	戒	拐	改					

19	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝(かい)	凱(ガイ)	劾	外	咳	害	崖
20~	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬(かいり)	馨(かおり)	蛙(かえる)	垣(かき)	柿	蛎	鈎(かぎ)	劃(カク)	嚇	各	廓
40~	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角	赫	較	郭	閣	隔	革	学(ガク)	岳	楽	額
60~	顎	掛(かけ)	笠(かさ)	樫(かし)	橿	梶(かじ)	鰍(かじか)	潟(かた)	割(カツ)	喝	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且(かつ)	鰹(かつお)
80~	叶(かない)	椛(かば)	樺	鞄(かばん)	株(かぶ)	兜(かぶと)	竃(かま)	蒲	釜	鎌	噛(かみ)	鴨(かも)	栢(かや)	茅	萱					

20	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		粥(かゆ)	刈(かり)	苅	瓦(かわら)	乾(カン)	侃	冠	寒	刊	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
20~	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
40~	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
60~	舘	丸(ガン)	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫	贋	雁	頑	顔	願	企(キ)	伎	危	喜	器
80~	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄					

＜次ページへ続く＞

21	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
20~	鬼	亀	偽(ギ)	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬(キク)	菊	鞠
40~	吉(キチ)	吃(キツ)	喫	桔	橘	詰	砧(きぬた)	杵(きね)	黍(きび)	却(キャク)	客	脚	虐(ギャク)	逆	丘(キュウ)	久	仇	休	及	吸
60~	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛(ギュウ)	去(キョ)	居
80~	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁(ギョ)	禦	魚	亨(キョウ)	享	京					

22	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
20~	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰(キョウ)	凝	尭	暁
40~	業	局(キョク)	曲	極	玉(ギョク)	桐(きり)	粁(きろ)	僅(キン)	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
60~	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟(ギン)	銀	九(ク)	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
80~	駒	具(グ)	愚	虞	喰(くい)	空(くう)	偶(グウ)	寓	遇	隅	串(くし)	櫛	釧(くしろ)	屑(くず)	屈(クツ)					

く

23	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		掘	窟	沓(くつ)	靴	轡(くつわ)	窪(くぼ)	熊(くま)	隈	粂(くめ)	栗(くり)	繰	桑(くわ)	鍬	勲(クン)	君	薫	訓	群(グン)	軍
20~	郡	卦(ケ)	袈	祁	係(ケイ)	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
40~	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
60~	鶏	芸(ゲイ)	迎	鯨	劇(ゲキ)	戟	撃	激	隙	桁(けた)	傑(ケツ)	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月(ゲツ)	件(ケン)
80~	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲					

け

24	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
20~	鹸	元(ゲン)	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現	絃	舷	言	諺	限	乎(こ)	個	古	呼	固
40~	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
60~	顧	鼓	五(ゴ)	互	伍	午	呉	吾	娯	後	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
80~	乞(こい)	鯉	交(コウ)	佼	侯	候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向					

こ

25	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0～		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
20～	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
40～	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
60～	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛（ゴウ）	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹（こうじ）	克（コク）	刻
80～	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄（ゴク）	漉（こし）	腰	甑（こしき）	忽（コツ）	惚	骨	狛（こま）	込（こみ）					

26	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0～		此（これ）	頃（ころ）	今（コン）	困	坤	墾	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	些（サ）
20～	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂	詐	鎖	裟	坐（ザ）	座	挫	債（サイ）	催	再	最
40～	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
60～	載	際	剤（ザイ）	在	材	罪	財	冴（さえ）	坂（さか）	阪	堺（さかい）	榊（さかき）	肴（さかな）	咲（さき）	崎	埼	碕	鷺（さぎ）	作（サク）	削
80～	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜（さくら）	鮭（さけ）	笹（ささ）	匙（さじ）	冊（サツ）	刷					

さ

27	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0～		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑（ザツ）	皐（さつき）	鯖（さば）	捌（さばき）	錆（さび）	鮫（さめ）	皿（さら）	晒（さらし）	三（サン）	傘	参	山
20～	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕	讃	賛	酸	餐	斬（ザン）	暫	残	仕（シ）	仔	伺
40～	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
60～	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
80～	諮	資	賜	雌	飼	歯	事（ジ）	似	侍	児	字	寺	慈	持	時					

し

28	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0～		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辞	汐（しお）	鹿（しか）	式（シキ）	識	鴫（しぎ）	竺（ジク）
20～	軸	宍（しし）	雫（しずく）	七（シチ）	叱（シツ）	執	失	嫉	室	悉	湿	漆	疾	質	実（ジツ）	蔀（しとみ）	篠（しの）	偲（しのび）	柴（しば）	芝
40～	屡（しばしば）	蕊（しべ）	縞（しま）	舎（シャ）	写	射	捨	赦	斜	煮	社	紗	者	謝	車	遮	蛇（ジャ）	邪	借（シャク）	勺
60～	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若（ジャク）	寂	弱	惹	主（シュ）	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
80～	腫	趣	酒	首	儒（ジュ）	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚（シュウ）	収	周					

29	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0～		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
20～	輯	週	酋	酬	集	醜	什（ジュウ）	住	充	十	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔（シュク）
40～	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾（ジュク）	熟	出（シュツ）	術（ジュツ）	述	俊（シュン）	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准（ジュン）	循
60～	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処（ショ）	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
80～	署	書	薯	藷	諸	助（ジョ）	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷（ショウ）	償					

＜次ページへ続く＞

30	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
0~		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠	
20~	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦	
40~	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔	
60~	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	ジョウ 上	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常	
80~	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲	醸	錠	ショク 嘱	埴	飾						

31	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
0~		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	ジョク 辱	しり 尻	シン 伸	信	侵	唇	娠	寝	審	
20~	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	
40~	身	辛	進	針	震	ジン 人	仁	刃	塵	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭	ス 笥	諏	す
60~	須	す 酢	ズ 図	厨	逗	スイ 吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	ズイ 随	
80~	瑞	髄	スウ 崇	嵩	数	枢	趨	雛	すえ 据	すぎ 杉	椙	すげ 菅	すこぶる 頗	すずめ 雀	すそ 裾						

32	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
0~		すみ 澄	すり 摺	スン 寸	せ 世	せ 瀬	畝	是	セイ 凄	制	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲	せ
20~	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	ゼイ 税	
40~	脆	セキ 隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	セツ 切	拙	
60~	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	ゼツ 絶	舌	せみ 蝉	セン 仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦	
80~	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線						

33	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
0~		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践	選	遷	銭	銑	閃	鮮	ゼン 前	善	漸	然	
20~	全	禅	繕	膳	せんち 糎	ソ 噌	塑	岨	措	曾	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	そ
40~	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	ソウ 僧	創	双	叢	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想	
60~	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡	
80~	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗	霜	騒	ゾウ 像	増	憎						

34	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
0~		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	ゾク 俗	属	賊	族	続	
20~	ソツ 卒	そで 袖	それ 其	そろい 揃	ゾン 存	孫	尊	損	村	遜	タ 他	多	太	汰	詑	ダ 唾	堕	妥	惰	打	た
40~	柁	舵	楕	陀	駄	騨	タイ 体	堆	対	耐	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎	
60~	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	たい 鯛	ダイ 代	台	大	第	醍	題	たか 鷹	たき 滝	瀧	タク 卓	啄	
80~	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	ダク 濁	諾	たけ 茸	たこ 凧	蛸	ただ 只						

35	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
0~		叩(たたき)	但(ただし)	達(タツ)	辰	奪(ダツ)	脱	巽(たつみ)	竪(たて)	辿(たどり)	棚(たな)	谷(たに)	狸(たぬき)	鱈(たら)	樽(たる)	誰(だれ)	丹(タン)	単	嘆	坦	
20~	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛(ダン)	団	壇	弾	断	
40~	暖	檀	段	男	談	値(チ)	知	地	弛	恥	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築(チク)	ち
60~	畜	竹	筑	蓄	逐	秩(チツ)	窒	茶(チャ)	嫡(チャク)	着	中(チュウ)	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷	
80~	註	酎	鋳	駐	樗(チョ)	瀦	猪	苧	著	貯	丁(チョウ)	兆	凋	喋	寵						

36	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
0~		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶	
20~	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅(チョク)	捗	直	朕(チン)	沈	珍	賃	鎮	陳	津(ツ)	墜(ツイ)	椎	つ
40~	槌	追	鎚	痛(ツウ)	通	塚(つか)	栂(つが)	掴(つかみ)	槻(つき)	佃(つくだ)	漬(つけ)	柘(つげ)	辻(つじ)	蔦(つた)	綴(つづり)	鍔(つば)	椿(つばき)	潰(つぶ)	坪(つぼ)	壷	
60~	嬬(つま)	紬(つむぎ)	爪(つめ)	吊(つり)	釣	鶴(つる)	亭(テイ)	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟	て
80~	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	逓						

37	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
0~		邸	鄭	釘	鼎	泥(デイ)	摘(テキ)	擢	敵	滴	的	笛	適	鏑	溺(デキ)	哲(テツ)	徹	撤	轍	迭	
20~	鉄	典(テン)	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	転	顛	点	伝(デン)	殿	澱	田	電	兎(ト)	吐	と
40~	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟	賭	途	都	鍍	砥(と)	砺	努(ド)	度	土	奴	
60~	怒	倒(トウ)	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟	
80~	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等	答	筒	糖	統	到						

38	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
0~		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	闘	働(ドウ)	動	同	堂	導	
20~	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠(とうげ)	鴇(とき)	匿(トク)	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒(ドク)	
40~	独	読	栃(とち)	橡	凸(トツ)	突	椴(とど)	届(とどけ)	鳶(とび)	苫(とま)	寅(とら)	酉(とり)	瀞(とろ)	噸(トン)	屯	惇	敦	沌	豚	遁	
60~	頓	呑(ドン)	曇	鈍	奈(ナ)	那	内(ナイ)	乍(なかい)	凪(なぎ)	薙	謎(なぞ)	灘(なだ)	捺(なつ)	鍋(なべ)	楢(なら)	馴(なれ)	縄(なわ)	畷(なわさ)	南(ナン)	楠	な
80~	軟	難	汝(なんじ)	二(ニ)	尼	弐	迩	匂(におい)	賑(にぎわい)	肉(ニク)	虹(にじ)	廿(にじゅう)	日(ニチ)	乳(ニュウ)	入						に

39	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
0~		如(ニョ)	尿(ニョウ)	韮(にら)	任(ニン)	妊	忍	認	濡(ぬれ)	禰(ネ)	祢	寧(ネイ)	葱(ねぎ)	猫(ねこ)	熱(ネツ)	年(ネン)	念	捻	撚	燃	ぬね
20~	粘	乃(ノ)	廼	之(の)	埜	嚢(ノウ)	悩	濃	納	能	脳	膿	農	覗(のぞき)	蚤(のみ)	巴(ハ)	把	播	覇	杷	のは
40~	波	派(バ)	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳(ハイ)	廃	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	
60~	倍(バイ)	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠	陪	這(はい)	蝿(はえ)	秤(はかり)	矧(はぎ)	萩	伯(ハク)	剥	博	拍	
80~	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝(バク)	漠	爆	縛	莫	駁	麦						

<次ページへ続く>

40	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
0~		函(はこ)	箱	硲(はざま)	箸(はし)	肇(はじめ)	筈(はず)	櫨(はぜ)	幡(はた)	肌(はだ)	畑(はたけ)	畠	八(ハチ)	鉢	溌(ハツ)	発	醗	髪	伐(バツ)	罰	
20~	抜	筏	閥	鳩(はと)	噺(はなし)	塙(はなわ)	蛤(はまぐり)	隼(はやぶさ)	伴(ハン)	判	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版	
40~	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩	頒	飯	挽(バン)	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	匪(ヒ)	ひ
60~	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被	
80~	誹	費	避	非	飛	樋(ひ)	簸	備(ビ)	尾	微	枇	毘	琵	眉	美						

41	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
0~		鼻	柊(ひいらぎ)	稗(ひえ)	匹(ヒキ)	疋	髭(ひげ)	彦(ひこ)	膝(ひざ)	菱(ひし)	肘(ひじ)	弼(ひつ)	必	畢	筆	逼	桧(ひのき)	姫(ひめ)	媛	紐(ひも)	
20~	百(ヒャク)	謬(ビュウ)	俵(ヒョウ)	彪	標	氷	漂	瓢	票	表	評	豹	廟(ビョウ)	描	病	秒	苗	錨	鋲(ビョウ)	蒜(ひる)	
40~	蛭	鰭(ひれ)	品(ヒン)	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻	敏(ビン)	瓶	不(フ)	付	埠	夫	婦	富	冨	布	ふ
60~	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮(ブ)	撫	
80~	武	舞	葡	蕪	部	封(フウ)	楓	風	葺(ふき)	蕗	伏(フク)	副	復	幅	服						

42	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
0~		福	腹	複	覆	淵(ふち)	弗(フツ)	払	沸	仏(ブツ)	物	鮒(ふな)	分(フン)	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮	
20~	粉	糞	紛	雰	文(ブン)	聞	丙(ヘイ)	併	兵	塀	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米(ベイ)	頁(ぺいじ)	へ
40~	僻(ヘキ)	壁	癖	碧	別(ベツ)	瞥	蔑	箆(へら)	偏(ヘン)	変	片	篇	編	辺	返	遍	便(ベン)	勉	娩	弁	
60~	鞭	保(ホ)	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔	穂(ほ)	募(ボ)	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣(ホウ)	ほ
80~	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋						

43	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
0~		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏(ボウ)	
20~	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	
40~	鉾	防	吠(ほえ)	頬(ほお)	北(ホク)	僕(ボク)	卜	墨	撲	朴	牧	睦	穆	釦(ぼたん)	勃(ボツ)	没	殆(ほとんど)	堀(ほり)	幌(ほろ)	奔(ホン)	
60~	本	翻	凡(ボン)	盆	摩(マ)	磨	魔	麻	埋(マイ)	妹	昧	枚	毎	哩(まいる)	槙(まき)	幕(マク)	膜	枕(まくら)	鮪(まぐろ)	柾(まさ)	ま
80~	鱒(ます)	桝	亦(また)	俣	又	抹(マツ)	末	沫	迄(まで)	侭(まま)	繭(まゆ)	麿(まろ)	万(マン)	慢	満						

44	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
0~		漫	蔓	味(ミ)	未	魅	巳(み)	箕	岬(みさき)	密(ミツ)	蜜	湊(みなと)	蓑(みの)	稔(みのり)	脈(ミャク)	妙(ミョウ)	粍(みり)	民(みん)	眠	務(ム)	みむ
20~	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋(むく)	婿(むこ)	娘(むすめ)	冥(メイ)	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪(めい)	牝(めす)	滅(メツ)	め
40~	免(メン)	棉	綿	緬	面	麺	摸(モ)	模	茂	妄(モウ)	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲(もうけ)	木(モク)	黙	も
60~	目	杢(もく)	勿(モチ)	餅(もち)	尤(もっと)	戻(もとり)	籾(もみ)	貰(もらい)	問(モン)	悶	紋	門	匁(もんめ)	也(ヤ)	冶	夜	爺	耶	野	弥(や)	や
80~	矢	厄(ヤク)	役	約	薬	訳	躍	靖(やす)	柳(やなぎ)	薮(やぶ)	鑓(やり)	愉(ユ)	愈	油	癒						ゆ

45	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
0~		諭	輸	ユイ 唯	ユウ 佑	優	勇	友	宥	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由	
20~	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	ゆう 夕	ヨ 予	余	与	誉	輿	預	ヨウ 傭	幼	妖	容	庸	よ
40~	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽	
60~	養	ヨク 慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	よど 淀	ラ 羅	螺	裸	ライ 来	莱	頼	雷	ラク 洛	絡	落	酪	ら
80~	ラン 乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧	リ 利	吏	履	李	梨	理	璃						り

46	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
0~		痢	裏	裡	里	離	リク 陸	リツ 律	率	立	葎	リャク 掠	略	リュウ 劉	流	溜	琉	留	硫	粒	
20~	隆	竜	龍	リョ 侶	慮	旅	虜	リョウ 了	亮	僚	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜	
40~	糧	良	諒	遼	量	陵	領	リョク 力	緑	リン 倫	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟	
60~	ル 瑠	ルイ 塁	涙	累	類	レイ 令	伶	例	冷	励	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗	るれ
80~	齢	レキ 暦	歴	レツ 列	劣	烈	裂	レン 廉	恋	憐	漣	煉	簾	練	聯						

47	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
0~		蓮	連	錬	ロ 呂	魯	櫓	炉	賂	路	露	ロウ 労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏	ろ
20~	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	ロク 六	麓	禄	肋	録	ロン 論	ワ 倭	和	話	ワイ 歪	賄	わき 脇	ワク 惑	わ
40~	わく 枠	わし 鷲	わたり 亙	亘	わに 鰐	わび 詫	わら 藁	わらび 蕨	ワン 椀	湾	碗	腕									
60~																					
80~																					

■第 2 水準

48	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
20~	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
40~	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
60~	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
80~	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸	傀	傚	傅	傴	傲					

49	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
20~	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
40~	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
60~	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
80~	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔	劒	剱	劈	劑	辨					

＜次ページへ続く＞

50	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
20~	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
40~	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
60~	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
80~	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸	咥	咬	哄	哈	咨					

51	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
20~	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
40~	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
60~	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
80~	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮	囹	圀	囿	圄	圉					

52	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
20~	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
40~	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
60~	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
80~	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘	奢	奠	奧	奬	奩					

53	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
20~	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
40~	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
60~	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
80~	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸	尹	屁	屆	屎	屓					

54	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
20~	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
40~	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
60~	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
80~	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠	廁	廂	廈	廐	廏					

55	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
20~	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
40~	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
60~	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
80~	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙	悁	悍	惧	悃	悚					

56	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
20~	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
40~	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
60~	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
80~	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈	戉	戍	戌	戔	戛					

57	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
20~	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
40~	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
60~	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
80~	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕	撓	撥	撩	撈	撼					

58	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
20~	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
40~	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
60~	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
80~	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝	曁	暹	曉	暾	暼					

59	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
20~	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
40~	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
60~	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
80~	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘	椢	椦	棡	椌	棍					

60	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
20~	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
40~	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
60~	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
80~	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐	檍	檠	檄	檢	檣					

61	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
20~	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
40~	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
60~	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
80~	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗	泅	泝	沮	沱	沾					

＜次ページへ続く＞

62	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
20~	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
40~	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
60~	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
80~	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿	滲	漱	滯	漲	滌					

63	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
20~	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
40~	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
60~	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
80~	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎	燠	燬	燧	燵	燼					

64	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
20~	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
40~	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
60~	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
80~	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞	璧	瓊	瓏	瓔	珱					

65	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
20~	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
40~	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
60~	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
80~	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨	癩	癪	癧	癬	癰					

66	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
20~	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
40~	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
60~	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
80~	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔	碾	碼	磅	磊	磬					

67	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
20~	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
40~	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
60~	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
80~	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙	笞	笵	笨	笶	筐					

68	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		筐	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
20~	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
40~	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
60~	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
80~	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯	糲	糴	糶	糺	紆					

69	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
20~	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
40~	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
60~	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
80~	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖	纎	纛	纜	缸	缺					

70	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
20~	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
40~	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
60~	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
80~	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱	脛	脩	脣	脯	腋					

71	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
20~	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
40~	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
60~	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
80~	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹	苞	茆	苜	茉	苙					

72	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
20~	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
40~	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
60~	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
80~	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					

73	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
20~	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
40~	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
60~	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
80~	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					

＜次ページへ続く＞

74	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
20~	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
40~	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
60~	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
80~	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶	褸	襌	褝	襠	襞					

75	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
20~	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
40~	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
60~	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
80~	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎	證	譖	譛	譚	譫					

76	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
20~	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
40~	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
60~	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
80~	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟	蹂	踵	踰	踴	蹊					

77	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
20~	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
40~	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
60~	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
80~	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋	逧	逶	逵	逹	迸					

78	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
20~	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
40~	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
60~	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
80~	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷	鋩	錏	鋺	鍄	錮					

79	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
20~	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
40~	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
60~	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
80~	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌	陏	陋	陷	陜	陞					

80	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		陜	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
20~	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
40~	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
60~	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
80~	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆	顏	顋	顫	顯	顰					

81	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
20~	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
40~	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
60~	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
80~	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯	髫	髮	髴	髱	髷					

82	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
20~	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
40~	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
60~	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
80~	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					

83	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
20~	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
40~	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
60~	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
80~	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷	齲	齶	龕	龜	龠					

84	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0~		堯	槇	遙	瑤	凜	熙													
20~																				
40~																				
60~																				
80~																				

付録 D　熟語・記号一覧

文字入力の画面で、[熟語]、[数字 / 記号] を押して表示される文字は次のとおりです。

■熟語

画面番号	熟語				画面番号	熟語			
1/14	東北	関東	東海	北陸	8/14	都	道	府	県
	中部	関西	近畿	中国		区	市	郡	町
	山陽	山陰	四国	九州		村	地方		
	北海道	秋田	青森	岩手		日本	東洋	国	
2/14	宮城	山形	福島	茨城	9/14	株式	有限	相互	会社
	群馬	栃木	山梨			銀行	保険	役所	
	東京	神奈川	千葉	埼玉		物産	商事	商会	貿易
	新潟	富山	石川	福井		産業	工業	製作所	
3/14	長野	岐阜	愛知	静岡	10/14	化学	化成		
	京都	奈良	滋賀	三重		電気	電機	通信	機械
	大阪	兵庫	和歌山	鳥取		運輸	運送	輸送	配送
	岡山	広島	山口	島根		物流	倉庫	工場	
4/14	香川	徳島	高知	愛媛	11/14	会館	商店		
	福岡	大分	佐賀	長崎		本社	支社	本店	支店
	熊本	宮崎	鹿児島	沖縄		営業所	事務所	出張所	駐在
	旭川	釧路	帯広	函館		部長	室長	課長	係長
5/14	札幌	盛岡	仙台	郡山	12/14	事業部	本部	中央	
	前橋	高崎	水戸	宇都宮		部	室	課	係
	横浜	川崎	小田原	成田		人事	総務	管理	
	甲府	松本				経理	会計	財務	業務
6/14	名古屋	豊橋	金沢		13/14	営業	販売	計画	通信
	津	大津				企画	渉外	広報	宣伝
	神戸	姫路	徳山			購買	資材	製造	
	松江	高松	松山			研究	開発	技術	商品
7/14	博多	北九州	小倉	下関	14/14	相談役	会長	社長	副社長
	鳥栖	那覇				専務	常務	取締役	役員
						理事	担当	執行	
	東	西	南	北		様	殿	御中	気付

■数字 / 記号

画面番号	記号				画面番号	記号			
1/24	1	2	3	4	13/24	S	T	U	V
	5	6	7	8		W	X	Y	Z
	9	0				a	b	c	d
						e	f	g	h
2/24		、	。	，	14/24	i	j	k	l
	．	・	：	；		m	n	o	p
	？	！	゛	゜		q	r	s	t
	´	｀	¨	＾		u	v	w	x
3/24	￣	＿	ヽ	ヾ	15/24	y	z		
	ゝ	ゞ	〃	仝		Α	Β	Γ	Δ
	々	〆	〇	ー		Ε	Ζ	Η	Θ
	―	‐	／	＼		Ι	Κ	Λ	Μ
4/24	～	∥	｜	…	16/24	Ν	Ξ	Ο	Π
	‥	‘	’	“		Ρ	Σ	Τ	Υ
	”	（	）	〔		Φ	Χ	Ψ	Ω
	〕	［	］	｛		α	β	γ	δ
5/24	｝	〈	〉	《	17/24	ε	ζ	η	θ
	》	「	」	『		ι	κ	λ	μ
	』	【	】	＋		ν	ξ	ο	π
	－	±	×	÷		ρ	σ	τ	υ
6/24	＝	≠	＜	＞	18/24	φ	χ	ψ	ω
	≦	≧	∞	∴		А	Б	В	Г
	♂	♀	°	′		Д	Е	Ё	Ж
	″	℃	￥	＄		З	И	Й	К
7/24	¢	£	％	＃	19/24	Л	М	Н	О
	＆	＊	＠	§		П	Р	С	Т
	☆	★	○	●		У	Ф	Х	Ц
	◎	◇	◆	□		Ч	Ш	Щ	Ъ
8/24	■	△	▲	▽	20/24	Ы	Ь	Э	Ю
	▼	※	〒	→		Я			
	←	↑	↓	〓		а	б	в	г
	∈	∋	⊆	⊇		д	е	ё	ж
9/24	⊂	⊃	∪	∩	21/24	з	и	й	к
	∧	∨	￢	⇒		л	м	н	о
	⇔	∀	∃	∠		п	р	с	т
	⊥	⌒	∂	∇		у	ф	х	ц
10/24	≡	≒	≪	≫	22/24	ч	ш	щ	ъ
	√	∽	∝	∵		ы	ь	э	ю
	∫	∬	Å	‰		я			
	♯	♭	♪	†					
11/24	‡	¶	◯		23/24	─	│	┌	┐
	0	1	2	3		┘	└	├	┬
	4	5	6	7		┤	┴	┼	━
	8	9	A	B		┃	┏	┓	┛
12/24	C	D	E	F	24/24	┗	┣	┳	┫
	G	H	I	J		┻	╋	┠	┯
	K	L	M	N		┨	┷	┿	┝
	O	P	Q	R		┰	┥	┸	╂

付録 E　用語集

用語	意味
10Base-T/100Base-TX	イーサーネット規格の一種のことです。 「10/100」はバンド幅が 10/100 Mbps の意味で、このバンド幅は単一チャンネル･ベースバンドのベースとなっています。「T」は撚り(Twisted)対の意味で、この規格のケーブルは2対の非シールド撚り線からなります。
ADF (自動原稿送り装置)	複数枚の原稿をセットして、1 枚ずつ読み取る装置のことです。
BPS (Bit Per Second)	電話回線を経由して送信されるデータ量の単位のことです。 本機では、常に最大の伝送速度で動作が開始されます。その後、電話回線の状況や受信側ファクスの能力に応じて、自動的に速度が落とされます。
DTMF (Dual Tone Multi Frequency)	電話機のボタンの各数字を表わす2つの周波数を組み合わせた信号です。一般に、プッシュホン式ダイヤル呼出しのことをいいます。
ECM (Error Correction Mode)	G3 モードでファクス通信をするときに、通信エラーを自動的に訂正する機能のことです。
FROM 選択	あらかじめファンクション設定で登録されている、メールアドレスを選択すると、本機のメールアドレス以外のメールアドレスで E メールを送信できます。
G3 モード (Group 3)	現在、最も普及している、G3 規格に準拠したアナログ電話回線用のファクシミリ手順のことです。
IP アドレス	インターネット上に存在するコンピューターなどの住所にあたる数列のことです。
ISP (Internet Service Provider)	インターネットへの接続サービスを提供する組織のことです。
ITU-T (C.C.I.T.T.)	国際電信電話諮問委員会 (旧 C.C.I.T.T) の略称です。 この機構では、現在、ファクシミリ互換性を保証する4グループの業界標準を推進しています。
ITU-T Image No.1	送信速度と機器能力との比較などに使用する標準原稿です。
LAN (Local Area Network)	オフィス、工場、大学などのように、隣接エリアに限定された、データの統合や交換のためのコンピューターネットワークシステムのことです。
LAN 中継パスワード	LAN 中継通信を行うときに、パスワードとして使うメールアドレスのことです。LAN 中継送信の宛先を表すメールアドレスの、ユーザー名(@ の左側)の部分と比較して、一致した場合に LAN 中継通信が行われます。
LCD	操作パネルにある液晶ディスプレイのことです。
MAC アドレス	装置に割り当てられるハードウエアアドレスのことで、MAC (メディア･アクセス･コントロール) アドレスともいいます。 MAC アドレスは設定不可能で、コロン(:)で区切られた6つの 16 進数からなります。 例:00:00:c0:34:f1:50

用語	意味
MAPI (Messaging Application Program Interface)	メッセージ送信のための Windows 標準インタフェースのことです。 ワープロソフトや表計算ソフトなどのメニューから、編集中の文書を直接 E メールで送信するなどの操作ができます。
MDN (Message Disposition Notifications)	メールが読まれたかどうかを確認するために、送信側から送信する要求のことです。MDN 要求を付加してメールを送信すると、受信側がそのメールを読んだときに、受信確認を戻します。
MIME (Multipurpose Internet Mail Extension)	インターネット上で、テキストデータ(文字情報)以外のマルチメディア情報も扱えるように拡張した、E メールの通信手順のことです。
POP (Post Office Protocol)	POP 受信サーバーにアクセスして自分宛のメールを取り出すための通信手順のことです。
PSTN (Public Switched Telephone Network)	公衆電話交換ネットワークのことです。相互に接続された交換機と送信施設からなるネットワークのことです。
SMTP (Simple Mail Transfer Protocol)	インターネット上でメールを送受信するための、主な通信プロトコルのことです。
TCP/IP (Transmission Control Protocol/Internet Protocol)	インターネットで使用されているプロトコルのことです。 最も基本的な集合体(プロトコルスイート)であり、インターネット端末と別の端末との間のデータ転送を可能にします。
TIFF (Tagged Image File Format)	異機種間でのグラフィックデータの交換ができるようデータの前のタグと呼ばれる部分を設け、データの記述形式を記載したデータファイルのことです。本製品の TIFF ファイルは、MH 方式によりデータを圧縮しています。
TIFF イメージビューワー	TIFF ファイルの中身を閲覧するための機能を持ったプログラムのことです。市販のTIFFビューワーでは、本製品から送られたTIFF ファイルを表示できない場合があります。
宛先名	アドレス帳やプログラムダイヤルの登録名のことです。
イーサーネット	LAN 上のコンピューターおよび装置をネットワーク化する最も一般的な通信規格のことです。ほとんどのタイプのコンピューターが対応しています。
イメージメモリー容量	読み取った原稿を記憶するためのメモリー容量のことです。 本機では、ITU-T 勧告の Image No. 1 原稿を基準にして、読み取り可能枚数を規定しています。
インターネット	相互に接続された、TCP/IP プロトコルを使用するさまざまなネットワークの巨大な集合体のことです。個々のネットワークが接続され、全世界をつなぐ巨大なインターネットを形成しています。
イントラネット	会社内部または組織内部にある非公開のネットワークのことです。 イントラネットでは、公開されているインターネット上と同じ種類のソフトウェアを使用しますが、その用途は内部的なものに限定されます。
エラーコード	通信エラー、トラブルなど発生時に表示するコードのことです。
クライアント	クライアント (端末) コンピューターのことです。LAN 上でデータベース共用、グループ作業や通信を行うときに使用します。
グループダイヤル	複数宛先を登録したプログラムダイヤルのことです。1 回の操作で複数宛先の指定ができます

用語	意味
最終宛先	LAN 中継通信時の最終送信宛先のことです。
サーバー	クライアントに対して、データ資源、通信接続、データ保存空間、その他のサービスを提供するコンピューター(または装置)のことです。 例えば、メールサーバーソフトウェアはネットワーククライアントがメールアカウントを保有してメールの送受信を行なうことを可能にしています。
サブアドレス	受信文書のルーティング、転送、または中継をするための ITU-T 勧告です。
サブアドレスパスワード	サブアドレスに対応する追加機密保護のための ITU-T 勧告です。
サブネットマスク	ネットワーク ID で定義されたネットワークのサブセグメントを管理するためのマスクビット列です。
自局	ファンクション設定で登録しておく、本機の名前のことです。自局を登録をしておくと、通信のときに相手機に自局の情報を表示できます。自局の情報には、発信元名、文字 ID、数字 ID があります。
ファクスパラーメーターリスト	ファクスのファンクション設定の設定値を確認できるリストのことです。
自動受信	着信すると、自動的にファクス受信を開始する受信方式のことです。
受信側パスワード	受信前に照合される 4 桁のパスワードのことです。
手動受信	着信すると、呼び出し音が鳴り続け、受信の操作をしてからファクス受信を開始する受信方式のことです。
数字 ID	ファンクション設定で登録しておく本機の電話番号のことです。通信時に、相手のディスプレイやレポートに表示されます。
済スタンプ	送信が完了した、またはメモリーへ読み取ったことを確認するために、押すスタンプのことです。済スタンプの「あり」、「なし」 は必要に応じて切り替えできます。
セレクト受信	アドレス帳に登録されている電話番号の下4 桁と、送信側の数字IDの下 4 桁を照合し、一致した場合にだけ受信する機能のことです。
セレクト送信	アドレス帳に登録されている電話番号の下4 桁と、受信側の数字IDの下 4 桁を照合し、一致した場合にだけ送信する機能のことです。
送信側パスワード	送信時に照合される 4 桁のパスワードのことです。
送信予約	本機が別の機能を実行しているときに、次の送信を予約しておくことです。
送信通知	送信側のインターネットFAX から受信側のインターネットFAX へ送られるメッセージで送信通知 (MDN) 要求のことです。 受信側のインターネットFAX は、メッセージ(メール)を読むと送達確認メッセージを返送します。
タイマー送信	送信する時刻を指定する機能のことです。
タイマーポーリング	ポーリング受信をする時刻を指定する機能のことです。
ダイレクト SMTP	メールサーバー(SMTP サーバー)を経由せず、ファイアーウォール(イントラネット)内でインターネット FAX が互いに直接通信をする機能のことです。

用語	意味
蓄積原稿	送信するために読み取り、メモリーに蓄積されている原稿のことです。
中継アドレス	LAN 中継通信をするために登録している、3 桁のアドレス帳番号です。
LAN 中継ファクス	中継同報をするときに、指定された宛先へ受信文書を順次同報をする役割をするファクスのことです。
中継発信ファクス	中継ファクスに対して、原稿を送信するファクスのことです。 中継発信ファクスから LAN 中継ファクスへ原稿を送信すると、LAN 中継局では、その原稿を最終受信側端末ファクスへ同報送信します。
中継同報	中継ファクスとなるファクスを中心にして、同報を行う機能のことです。 中継発信ファクスから LAN 中継局に原稿を送信すると、LAN 中継局では、最終受信ファクスへ原稿を同報送信します。
中継ネットワーク	中継局経由で通信する機器のネットワークのことです。
最終受信ファクス	LAN 中継ファクスで、最後に原稿を受信する端末のファクスのことです。
重複印刷	縮小できないくらい大きな原稿は、約 10 mm 重ね合わせて２つのページに分割して自動的に出力されます。
直接ダイヤル	電話番号または E メールアドレスを、テンキーや文字ボタンで入力することです。
通信管理レポート	最新の通信結果が記載されたレポートのことです。通信管理レポートは、印刷したり、ディスプレイ上で確認したりできます。
低電力モード	設定した時間を経過すると、本機内部の定着器を OFF にして、待機モードよりもさらに消費電力を抑えてエネルギーを節約するモードのことです。
デフォルトルーターIP アドレス	ルーターのアドレスです。インターネットFAX との通信時に他のネットワークがどのルートをとったらよいか判断するときに使用します。
テンキー	操作パネルにある数字キーのことです。
同報送信	複数の宛先に同じ原稿を送信する機能のことです。
ドメイン名	インターネットに接続された個々のコンピューターを識別するための名前のことです。 ドメイン名は DNS サーバーによって IP アドレスから翻訳されます。これは、IP アドレスが変更された場合でも、ユーザーに親しみやすい（記憶されやすい）名称を保持することが目的です。
ネットワーク	２台以上のコンピューターを相互に接続し、リソースを共有すると、コンピューターネットワークになります。さらに２つ以上のコンピューターネットワークをつなぐと、インターネットが形成されます。
濃度	送信する原稿に合わせ、読み取りの濃度を設定する機能のことです。
パナソニックスーパースムージング	画質を向上するため、パナソニック独自の画像処理技術のことです。
ハーフトーン	黒と白の中間色（グレー）のことです。ハーフトーンは、階調で表現します（例：256 階調）。

用語	意味
ハンドシェーキング	送信側と受信側が通信するために、双方の通信方法、条件、プロトコルなどを、実際にデータを転送する前にやり取りしておく手順のことです。
ビューモードー通信管理	通信管理レポートを印刷せずに、通信管理の簡単な内容をディスプレイに表示する機能のことです。
ビューモードー通信予約ファイル	通信予約レポートを印刷せずに、通信予約ファイルの簡単な内容をディスプレイに表示する機能のことです。
ファイル	メモリーを使った送受信を行なったとき作成されるメモリー内の文書と通信の指示のことです。
ファンクションキー	コピー、スキャナー、ファクスの各機能を使うときに押すキーのことです。
符号化方式	ファクス通信をするときに、送受信するデータを圧縮する方式のことです。本機では、Modified Huffman (MH)、ModifiedRead (MR)、Modified Modified Read (MMR) 符号化方式を採用しています。
印刷縮小モード	本機にセットされた用紙に収まるように縮小して印刷する機能のことです。
プログラム	複雑な機能の操作をプログラムボタンとして登録したり、複数の宛先を登録してグループボタンをとして使う機能のことです。
プロトコル	複数のコンピューターなどが通信をするための、決め事や言語のことです。 業界には多くの種類のプロトコルが存在し、IC やコンピューターを内蔵している製品は、どれもある種のプロトコルを利用しています。 インターネットでは、100 を越える標準が共同して TCP/IP プロトコルを構成し、インターネット通信を滑らかで信頼できるものにしています。
ヘッダー	送信側ファクスが送信する、また受信側ファクスが各ページの先頭に印刷する部分のことです。ヘッダーには、送信側ファクスの発信元情報(日時など)が印刷されます。
ホスト	ネットワーク上の他のコンピューターを集中管理するコンピューターのことです。ホストはドメイン内で唯一のホスト名を持ちます。ホストは全ドメイン名(FQDN)の最初(左端)の部分となります。例:本機のメールアドレスが Fax@fax01.panasonic.com であるとすると、「fax01」はホストに、「panasonic.com」はドメインに相当します。
ホームページ	ブラウザー起動時に最初に表示されるページ、あるいは会社、組織などの主要なウェブページのことです。
ポーリング受信	別のファクスから原稿を取り出す機能のことです。
ポーリングパスワード	ポーリングが行なわれている原稿に対しパスワード(4 桁)で、機密保護をする機能のことです。
メモリー送信	原稿をメモリーに読み取ってから送信する機能のことです。
メモリー代行受信	用紙またはトナーがなくなったときに受信した原稿をメモリーに蓄積する機能のことです。
メモリー転送	全ての受信文書を設定しておいた宛先へ転送する機能のことです。
メールアドレス	メールでデータを送受信するためのアドレスのことです。メールアドレスは、ユーザー名、サブドメイン名、ドメイン名で構成されています。

用語	意味
メールゲートウェイ IP アドレス	メールサーバーのアドレスのことです。
メーリングリスト	あるアドレスにメールを送信すると、自動的にメーリングリストに登録されている複数の人にEメールのコピーを送信するためのE メールアドレスのことです。
文字 ID	ファンクション設定で登録しておく本機の名前(カタカナ)のことです。相手のディスプレイやレポートに表示されます。会社名などの情報を登録します。
モデム	電話回線経由で伝送できる信号に変換する装置のことです。
ルーター(ゲートウェイ)	複数のLAN 間の通信を可能にするネットワーク装置のことです。インターネットでは、それぞれの LAN のルーターが、インターネットを経由して転送するデータの経路を管理しています。